

令和6年度 第1回市民意識調査 報告書

調査期間：令和6年6月21日(金)～7月7日(日)

テーマ

- 1 札幌市民の自転車利用について
- 2 住民票の写し等の証明発行サービスについて
- 3 障がい者コミュニケーション条例等について
- 4 雪対策に関する取り組みについて
- 5 豊平川緑地幌平橋エリアの利活用について

札幌市

目 次

1	調査実施の概要	
(1)	目 的	3
(2)	項 目	3
(3)	設 計	3
(4)	回収結果	3
(5)	回答者の特性	3
(6)	集計・分析上の注意事項	4
2	調査結果の詳細	
(1)	札幌市民の自転車利用について	
	自転車利用時の交通ルールで知っているもの	7
	自転車を利用する頻度	8
	自転車の利用目的	9
	自転車利用時の様子について	10
ア	自転車利用時に走行する機会の多い場所	10
イ	自転車で車道を走る時の走行位置	11
ウ	自転車で歩道を走る時の走行位置	12
エ	自転車で歩道を走る時、歩行者がいた時の自転車のスピード	13
	自転車利用時の歩行者との接触経験の有無	14
	自転車損害賠償保険の加入の有無	15
	自転車利用時のヘルメット着用の有無	16
	ヘルメットを着用する理由	17
	ヘルメットを着用しない理由	18
	歩道を走行する自転車利用者について	19
ア	自転車のスピードについて	19
イ	歩行者への配慮について	20
(2)	住民票の写し等の証明発行サービスについて	
	直近3年以内に取得した証明書について	21
	主に誰が証明書の取得手続きを行ったか	22
	取得した証明書の利用目的	23
	マイナンバーカードの取得状況	24
	マイナンバーカードを取得していない理由	25
	コンビニ交付サービスの認知度	26
	コンビニ交付サービスを知ったきっかけ	27
	コンビニ交付サービスを利用したいかどうか	28
	コンビニ交付サービスを利用したいと思わない理由	29
	今後の証明発行サービスに求めること	30
(3)	障がい者コミュニケーション条例等について	
	障がい者コミュニケーション条例の認知度	31

障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけ-----	32
障がい者手帳の保有状況-----	33
障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で知っているもの-----	34
障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について学んでみたい・知りた いと思うか-----	35
障がいのある方が使用するコミュニケーション手段についてどの程度学んでみた い・知りたと思うか-----	36
コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、 何かに取り組みたいと思うか-----	37
コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために 取り組みたいこと-----	38
コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために 何か取り組みたいと思わない理由-----	39
 (4) 雪対策に関する取り組みについて	
札幌市による道路の除排雪作業への認知度について	40
ア 「かき分け除雪」の認知度-----	40
イ 除雪作業の時間についての認知度-----	41
ウ 自宅玄関、車庫前に寄せられた雪の処理に関する認知度-----	42
エ 排雪は住宅街の生活道路では行っていないことへの認知度-----	43
排雪支援制度の認知度-----	44
冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点-----	45
今後除排雪に力を入れてほしい道路-----	46
大雪時や大雪が想定される時の行動-----	47
取り組んだことのある除雪ボランティア-----	48
自宅敷地内の雪置き場の有無-----	49
雪の処理のために設置・購入を検討している設備-----	50
有料除排雪サービス利用の有無-----	51
冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体-----	52
 (5) 豊平川緑地幌平橋エリアの利活用について	
公園をどのような時に利用するか-----	53
豊平川緑地に対して求める機能-----	54
豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりに関する取組をどう思うか-----	55
豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組を良いと思う理由-----	56
豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組をあまり良くないと思う理 由-----	57
幌平橋エリアで希望する利活用方法-----	58
ウォーターガーデンエリアに望む利活用方法-----	59
ウォーターガーデンエリアにおいて販売してほしい飲食物-----	60
資料：令和6年度第1回市民意識調査票-----	61

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和49年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和6年度第1回調査では、「札幌市民の自転車利用について」「住民票の写し等の証明発行サービスについて」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

札幌市民の自転車利用について
 住民票の写し等の証明発行サービスについて
 障がい者コミュニケーション条例等について
 雪対策に関する取り組みについて
 豊平川緑地幌平橋エリアの利活用について

(3) 設計

調査地域 札幌市内
 調査対象 満18歳以上の男女個人
 標本数 5,000人
 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
 調査期間 令和6年(2024年)6月21日(金)～7月7日(日)
 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
 (対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
 回収数(率) 2,533 (50.7%)

(5) 回答者の特性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,533	100.0	1,048	41.4	1,452	57.3	6	0.2	27	1.1	2,533	100.0
【性別】												
男性	1,048	41.4	1,048	100.0	-	-	-	-	-	-	1,048	100.0
女性	1,452	57.3	-	-	1,452	100.0	-	-	-	-	1,452	100.0
その他	6	0.2	-	-	-	-	6	100.0	-	-	6	100.0
無回答	27	1.1	-	-	-	-	-	-	27	100.0	27	100.0
【年代】												
29歳以下	176	6.9	81	46.0	92	52.3	3	1.7	-	-	176	100.0
30～39歳	230	9.1	92	40.0	138	59.1	1	0.4	1	0.4	230	100.0
40～49歳	336	13.3	157	46.7	177	52.7	1	0.3	1	0.3	336	100.0
50～59歳	459	18.1	189	41.2	269	58.6	-	-	1	0.2	459	100.0
60～69歳	512	20.2	204	39.8	307	60.0	-	-	1	0.2	512	100.0
70歳以上	793	31.3	324	40.9	467	58.9	1	0.1	1	0.1	793	100.0
無回答	27	1.1	1	3.7	4	14.8	-	-	22	81.5	27	100.0
【居住区】												
中央区	303	12.0	122	40.3	180	59.4	-	-	1	0.3	303	100.0
北区	370	14.6	163	44.1	207	55.9	-	-	-	-	370	100.0
東区	301	11.9	116	38.5	184	61.1	-	-	1	0.3	301	100.0
白石区	265	10.5	109	41.1	155	58.5	1	0.4	-	-	265	100.0
厚別区	181	7.1	71	39.2	107	59.1	2	1.1	1	0.6	181	100.0
豊平区	289	11.4	130	45.0	157	54.3	1	0.3	1	0.3	289	100.0
清田区	138	5.4	59	42.8	77	55.8	1	0.7	1	0.7	138	100.0
南区	185	7.3	76	41.1	109	58.9	-	-	-	-	185	100.0
西区	285	11.3	121	42.5	163	57.2	1	0.4	-	-	285	100.0
手稲区	191	7.5	81	42.4	110	57.6	-	-	-	-	191	100.0
無回答	25	1.0	-	-	3	12.0	-	-	22	88.0	25	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全員	2,533	100.0	1,048	41.4	1,452	57.3	6	0.2	27	1.1	2,533	100.0
【職業】												
会社員	730	28.8	438	60.0	289	39.6	2	0.3	1	0.1	730	100.0
公務員	82	3.2	56	68.3	26	31.7	-	-	-	-	82	100.0
自営業	134	5.3	96	71.6	37	27.6	1	0.7	-	-	134	100.0
パート・アルバイト	396	15.6	71	17.9	323	81.6	2	0.5	-	-	396	100.0
主婦・主夫	403	15.9	5	1.2	397	98.5	-	-	1	0.2	403	100.0
学生	47	1.9	24	51.1	23	48.9	-	-	-	-	47	100.0
無職	591	23.3	304	51.4	285	48.2	-	-	2	0.3	591	100.0
その他	109	4.3	49	45.0	58	53.2	1	0.9	1	0.9	109	100.0
無回答	41	1.6	5	12.2	14	34.1	-	-	22	53.7	41	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,531	60.4	707	46.2	822	53.7	-	-	2	0.1	1,531	100.0
乳幼児（0～2歳程度）	77	3.0	29	37.7	48	53.7	-	-	-	-	77	100.0
就学前児童（3～5歳程度）	93	3.7	34	36.6	59	63.4	-	-	-	-	93	100.0
小学生（6～12歳程度）	167	6.6	62	37.1	104	62.3	1	0.6	-	-	167	100.0
中学生（13～15歳程度）	112	4.4	49	43.8	63	56.3	-	-	-	-	112	100.0
高校生（16～18歳程度）	116	4.6	39	33.6	76	65.5	1	0.9	-	-	116	100.0
大学（院）・専門学校生	122	4.8	44	36.1	78	63.9	-	-	-	-	122	100.0
65歳以上の高齢者	340	13.4	142	41.8	195	57.4	2	0.6	1	0.3	340	100.0
上記「1」～「8」以外の方	489	19.3	168	34.4	320	65.4	1	0.2	-	-	489	100.0
いない	465	18.4	180	38.7	281	60.4	2	0.4	2	0.4	465	100.0
無回答	40	1.6	3	7.5	15	37.5	-	-	22	55.0	40	100.0
【居住形態】												
戸建住宅	1,196	47.2	521	43.6	672	56.2	1	0.1	2	0.2	1,196	100.0
集合住宅（アパート、マンション等）	1,268	50.1	513	40.5	748	59.0	5	0.4	2	0.2	1,268	100.0
その他	33	1.3	9	27.3	24	72.7	-	-	-	-	33	100.0
無回答	36	1.4	5	13.9	8	22.2	-	-	23	63.9	36	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合（「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など）は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

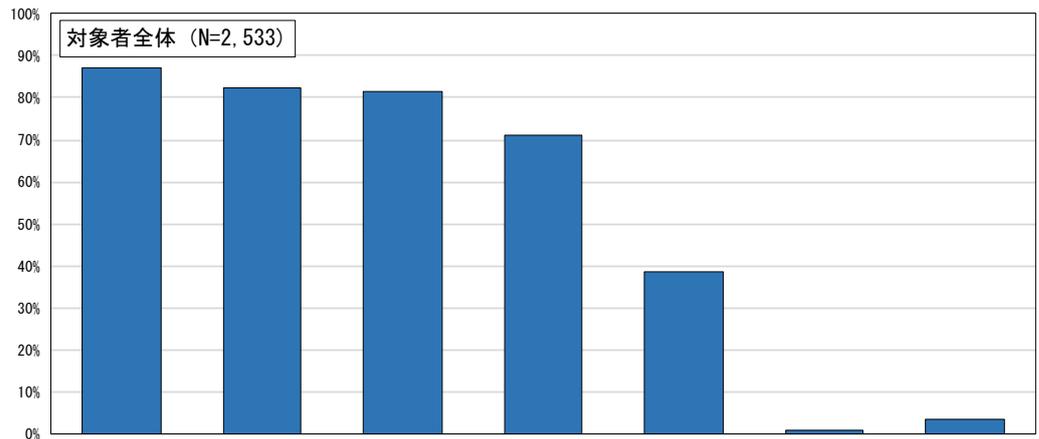
2 調査結果の詳細

(1)札幌市民の自転車利用について

◇自転車利用時の交通ルールで知っているもの

問1 自転車利用時の交通ルールについてお聞きします。以下に示した正しいルールのうち、あなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

自転車利用時の交通ルールで知っているものは、「原則として、自転車は車道の左側を走る」と回答した人が87.2%



対象者数 (%)		の原則として、自転車は車道を走る	歩行者が優先	全年齢の自転車利用者がヘルメットの着用を努めなければならない	自転車は歩道を走る時は、歩道側を走る	歩行者が優先	知っているものはない	無回答
対象者全体	2,533	87.2	82.4	81.6	71.1	38.5	0.8	3.6
性別								
男性	1,048	90.9	83.7	81.8	73.7	42.4	0.7	3.3
女性	1,452	85.1	81.8	81.8	69.6	36.0	0.8	3.6
その他	6	83.3	66.7	83.3	50.0	33.3	-	-
年代別								
29歳以下	176	85.2	86.9	75.0	75.0	64.2	1.1	2.8
30~39歳	230	87.8	85.2	81.3	69.1	40.4	1.3	0.9
40~49歳	336	89.6	83.6	76.8	65.5	35.7	0.6	2.1
50~59歳	459	92.2	86.3	85.0	73.9	38.6	0.4	1.5
60~69歳	512	91.4	80.9	83.8	73.0	36.5	-	3.7
70歳以上	793	82.0	79.2	82.3	70.6	34.9	1.3	5.9

対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】自転車利用時の交通ルールで知っているものは、「原則として、自転車は車道の左側を走る」が87.2%、「自転車は歩道を走る際には歩行者が優先」が82.4%、「全年齢の自転車利用者が自転車乗車用ヘルメットの着用を努めなければならない」が81.6%となっている。

【性別】「原則として、自転車は車道の左側を走る」「自転車は歩道を走る時は、歩道側を走る」は、男性が女性より5.8ポイント以上高くなっている。

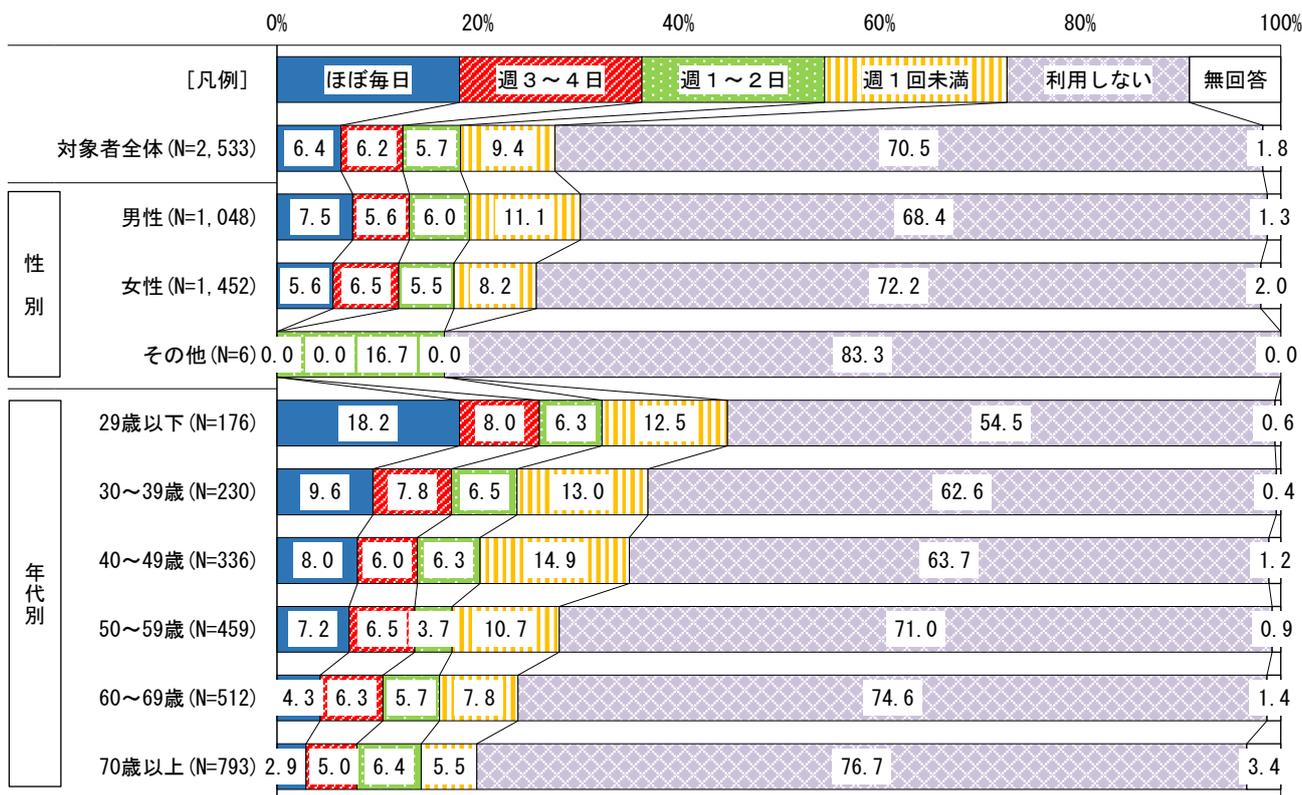
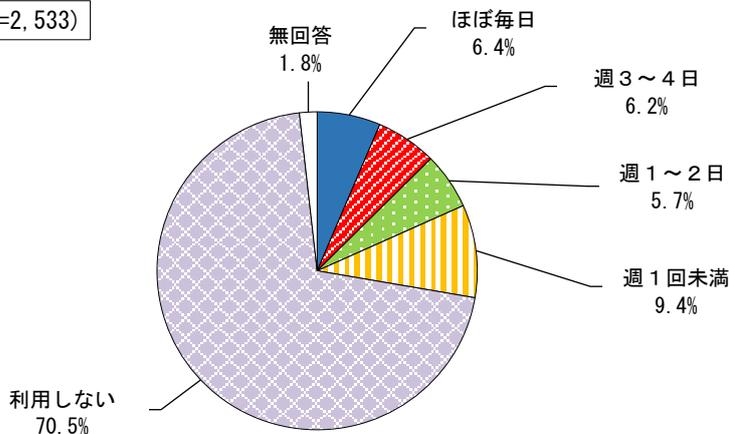
【年代別】「自転車は歩道を走る時は、歩道側を走る」が29歳以下(64.2%)で最も高く、最も低い70歳以上(34.9%)と比べると29.3ポイントの差となっている。

◇自転車を利用する頻度

問2 あなたが自転車を利用する頻度はどのくらいですか。夏期（4月～10月）の状況について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自転車を利用する頻度は、「利用しない」人が70.5%

対象者全体 (N=2,533)



【全体】 自転車を利用する頻度は、「利用しない」が70.5%、「週1回未満」が9.4%、「ほぼ毎日」が6.4%になっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

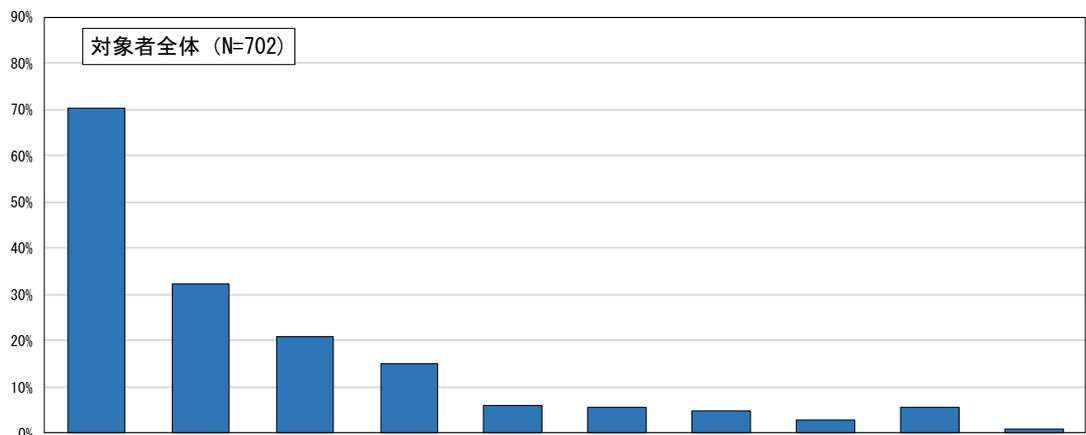
【年代別】 「ほぼ毎日」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。また、「利用しない」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇自転車の利用目的

「問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。」

問3 あなたの自転車の利用目的について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自転車の利用目的は、「買い物」が70.4%



		対象者数	買い物	通勤	レジャー	通院	仕事・業務	習い事	通学	送迎	その他	無回答
		(%)										
対象者全体		702	70.4	32.3	20.8	15.0	6.1	5.6	4.8	3.0	5.4	0.7
性別	男性	317	59.0	31.2	33.1	12.3	7.3	3.5	6.3	0.9	6.0	-
	女性	375	79.2	33.6	10.9	16.5	5.3	7.5	3.7	4.8	5.1	1.3
	その他	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	79	57.0	32.9	13.9	3.8	10.1	3.8	40.5	1.3	3.8	-
	30~39歳	85	67.1	47.1	20.0	16.5	7.1	3.5	-	16.5	4.7	1.2
	40~49歳	118	64.4	47.5	21.2	9.3	7.6	5.9	0.8	5.1	5.9	-
	50~59歳	129	62.8	42.6	18.6	10.1	6.2	4.7	0.8	-	3.1	1.6
	60~69歳	123	76.4	26.0	24.4	15.4	8.1	5.7	-	-	5.7	1.6
	70歳以上	158	82.9	9.5	24.7	25.9	1.3	8.2	-	-	8.2	-

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】自転車の利用目的は、「買い物」が70.4%、「通勤」が32.3%、「レジャー」が20.8%となっている。

【性別】「レジャー」は、男性が33.1%と、女性の10.9%より22.2ポイント高くなっている。また、「買い物」は、女性が79.2%と、男性の59.0%より20.2ポイント高くなっている。

【年代別】「買い物」が70歳以上(82.9%)で最も高く、最も低い29歳以下(57.0%)と比べると25.9ポイントの差となっている。

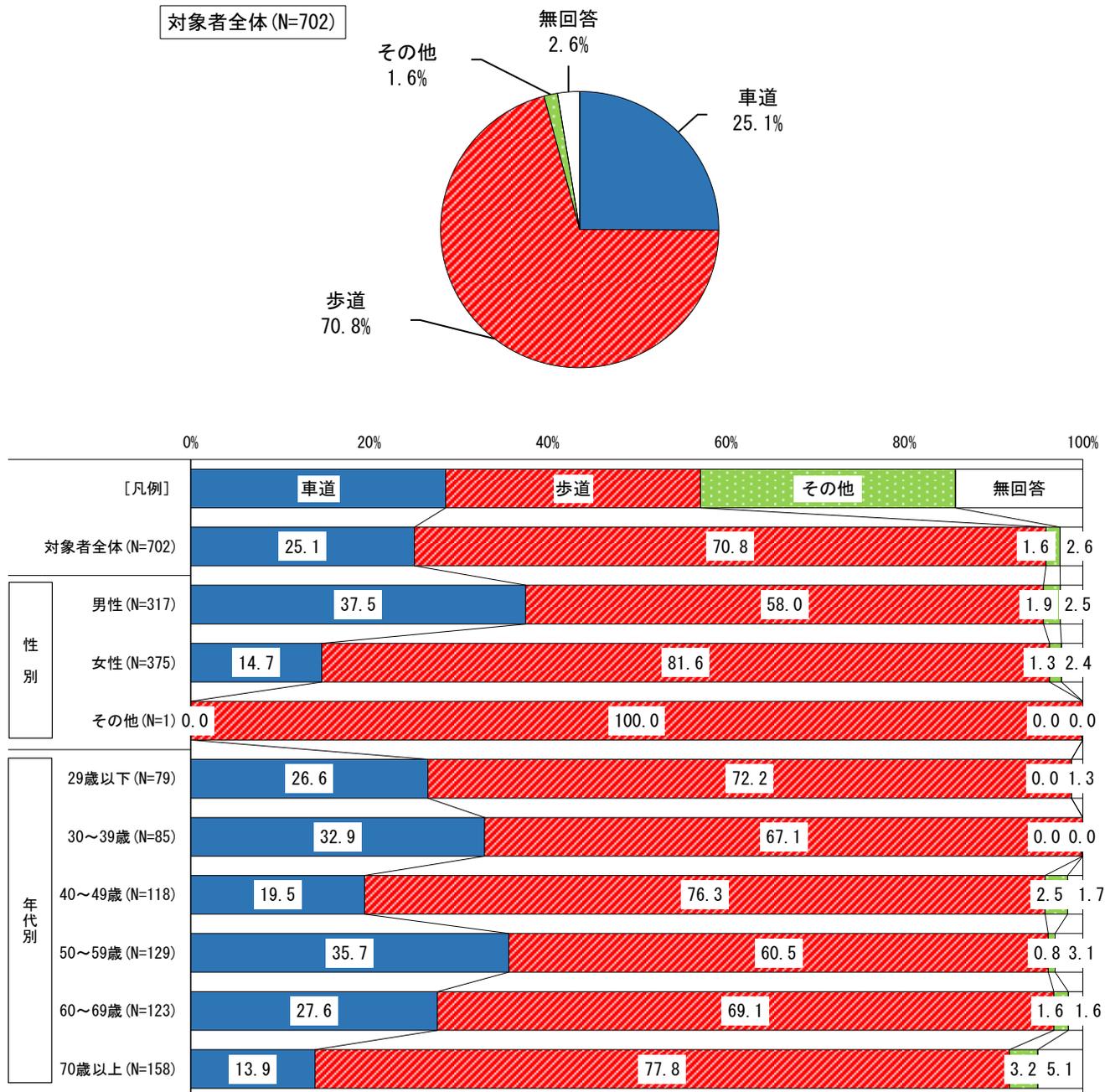
◇自転車利用時の様子について

「問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。」

問4 あなたの自転車利用時の様子について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ア あなたが自転車利用時に、実際に走行する機会の多い場所

自転車利用時に走行する機会の多い場所は、「歩道」が70.8%



【全体】自転車利用時に走行する機会の多い場所は、「歩道」が70.8%、「車道」が25.1%となっている。

【性別】「車道」は、男性が37.5%と、女性の14.7%よりも22.8ポイント高くなっている。また、「歩道」は、女性が81.6%と、男性の58.0%より23.6ポイント高くなっている。

【年代別】「車道」が50歳代(35.7%)で最も高く、最も低い70歳以上(13.9%)と比べると21.8ポイントの差となっている。

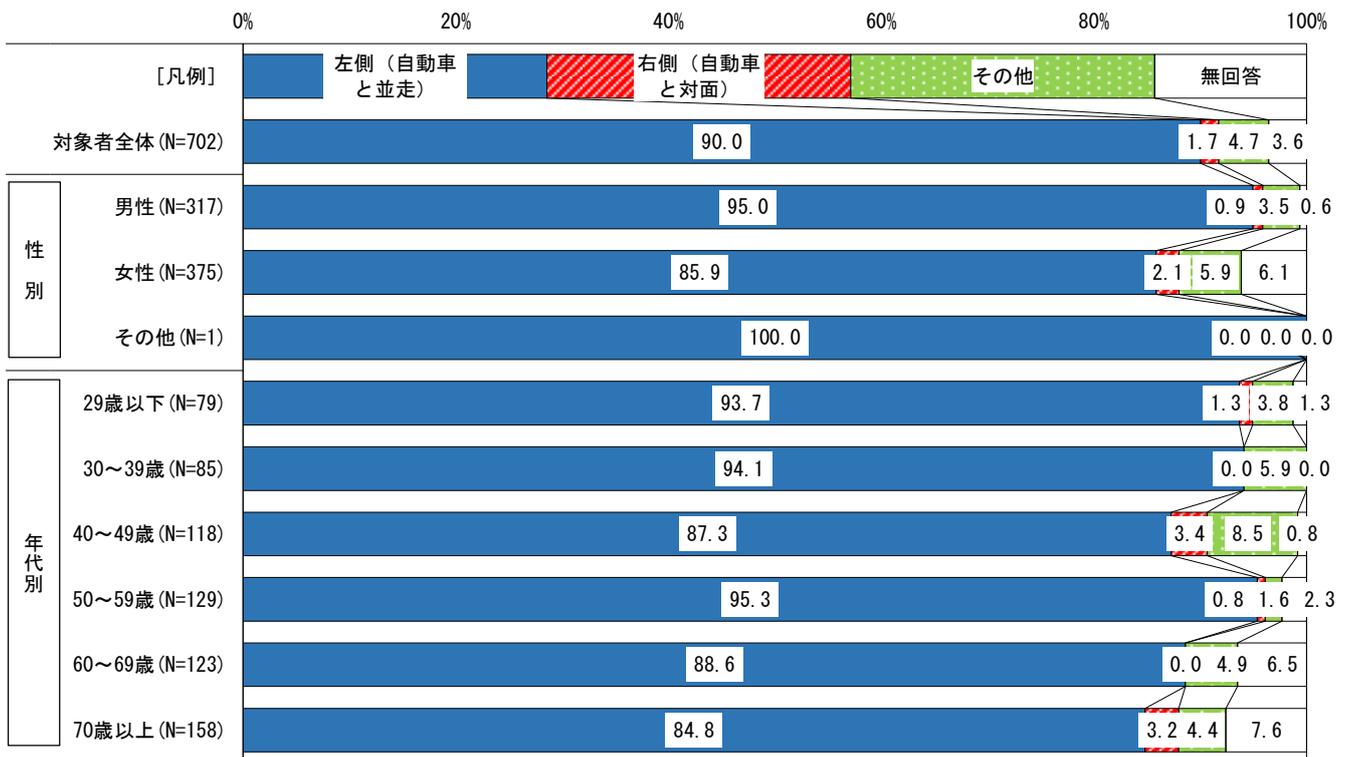
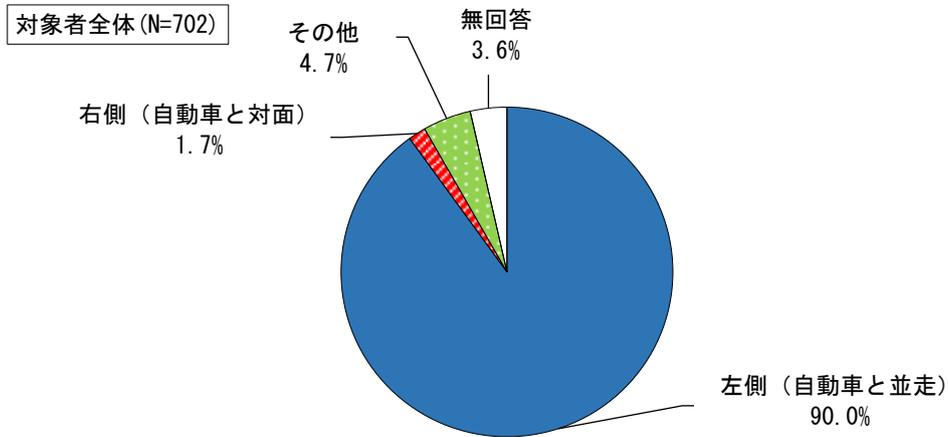
◇自転車利用時の様子について

「問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。」

問4 あなたの自転車利用時の様子について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

イ あなたが自転車で車道を走る時の走行位置

自転車で車道を走る時の走行位置は、「左側（自動車と並走）」が90.0%



【全体】自転車で車道を走る時の走行位置は、「左側（自動車と並走）」が90.0%、「右側（自動車と対面）」が1.7%となっている。

【性別】「左側（自動車と並走）」は、男性が95.0%と、女性の85.9%よりも9.1ポイント高くなっている。

【年代別】「左側（自動車と並走）」が50歳代（95.3%）で最も高く、次いで30歳代（94.1%）、29歳以下（93.7%）となっている。

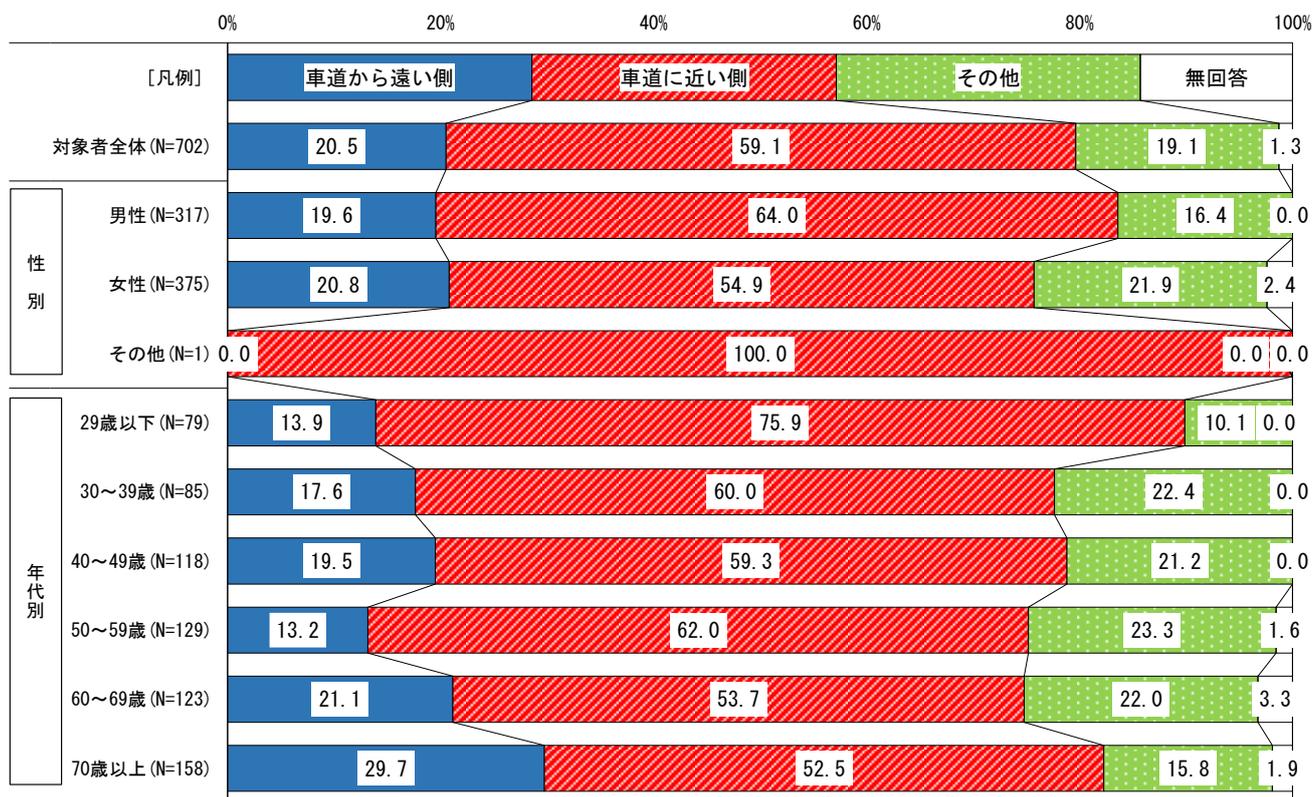
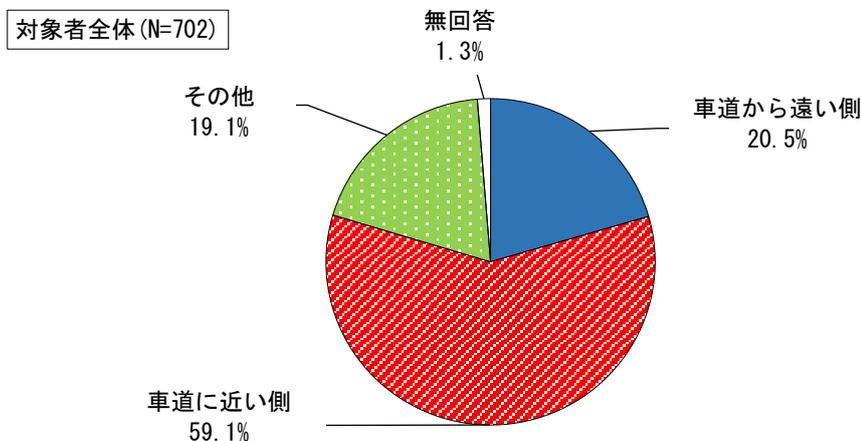
◇自転車利用時の様子について

「問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。」

問4 あなたの自転車利用時の様子について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ウ あなたが自転車で歩道を走る時の走行位置

自転車で歩道を走る時の走行位置は、「車道に近い側」が59.1%



【全体】自転車で歩道を走る時の走行位置は、「車道に近い側」が59.1%、「車道から遠い側」が20.5%となっている。

【性別】「車道に近い側」は、男性が64.0%と、女性の54.9%よりも9.1ポイント高くなっている。

【年代別】「車道に近い側」が29歳以下(75.9%)で最も高く、最も低い70歳以上(52.5%)と比べると23.4ポイントの差となっている。

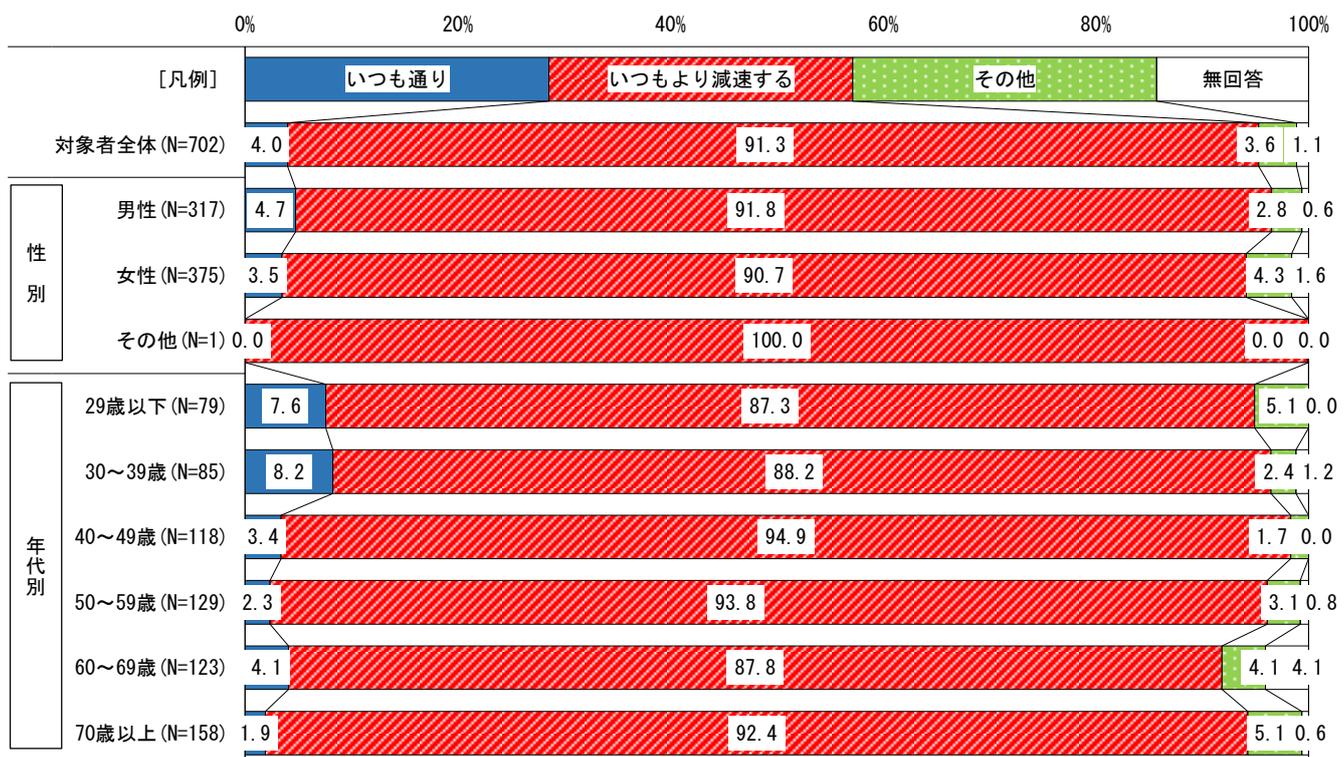
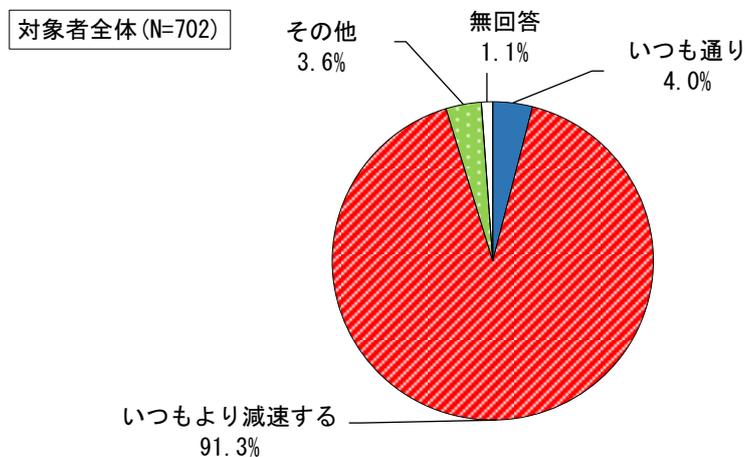
◇自転車利用時の様子について

「問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。」

問4 あなたの自転車利用時の様子について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

エ あなたが自転車で歩道を走る時、歩行者がいた場合のスピード

自転車で歩道を走る時、歩行者がいた場合のスピードは、「いつもより減速する」人が91.3%



【全体】自転車で歩道を走る時、歩行者がいた場合の自転車のスピードは、「いつもより減速する」が91.3%、「いつも通り」が4.0%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「いつもより減速する」が40歳代(94.9%)で最も高く、次いで50歳代(93.8%)、70歳以上(92.4%)となっている。

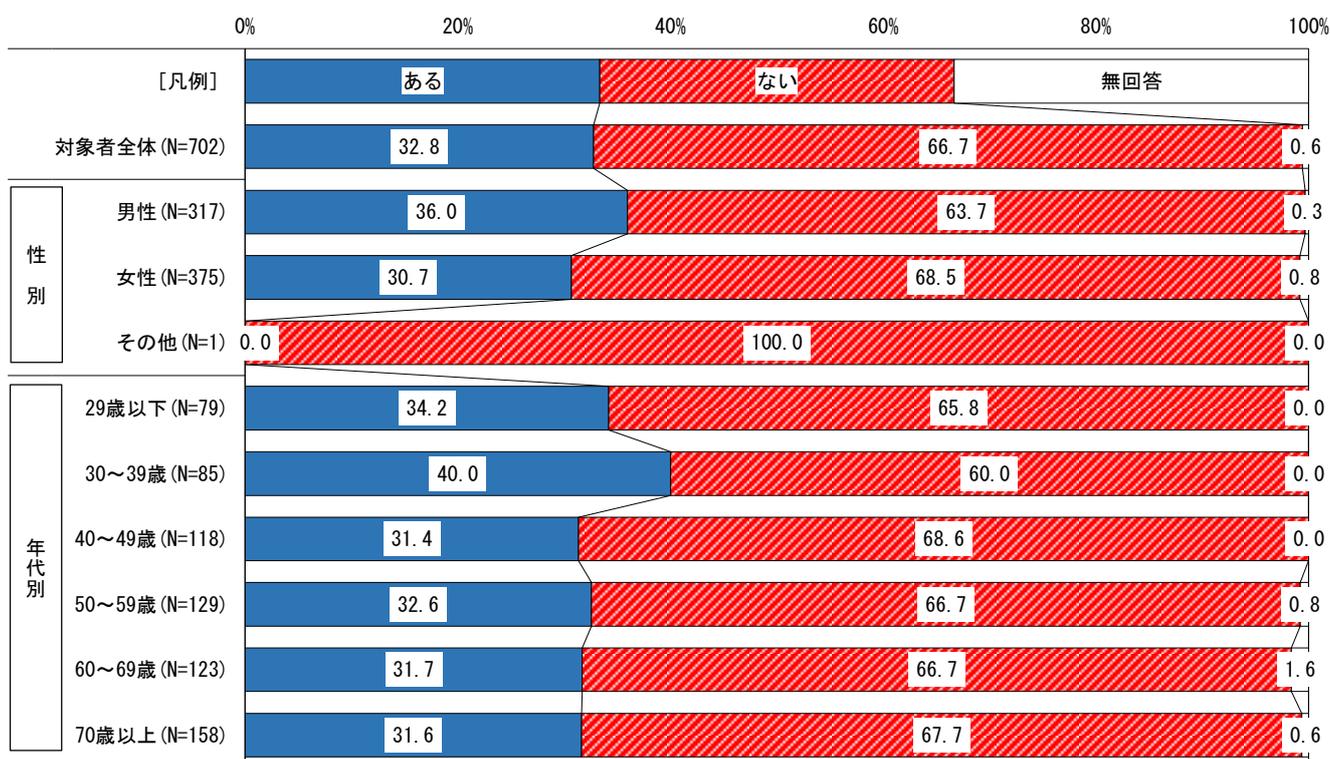
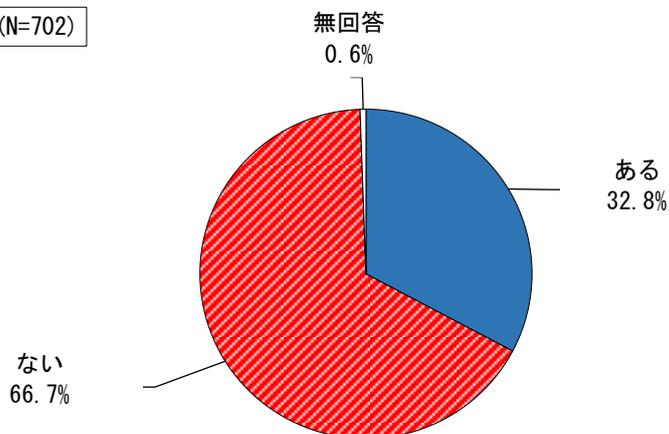
◇自転車利用時の歩行者との接触経験の有無

≪問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。≫

問5 あなたは、自転車の利用中に歩行者と接触したり、接触しそうになったことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自転車の利用中に歩行者と接触したり、接触しそうになったことが「ない」人が66.7%

対象者全体 (N=702)



【全体】 自転車の利用中に歩行者と接触したり、接触しそうになったことがあるかは、「ない」が66.7%、「ある」が32.8%となっている。

【性別】 「ある」は、男性が36.0%と、女性の30.7%より5.3ポイント高くなっている。

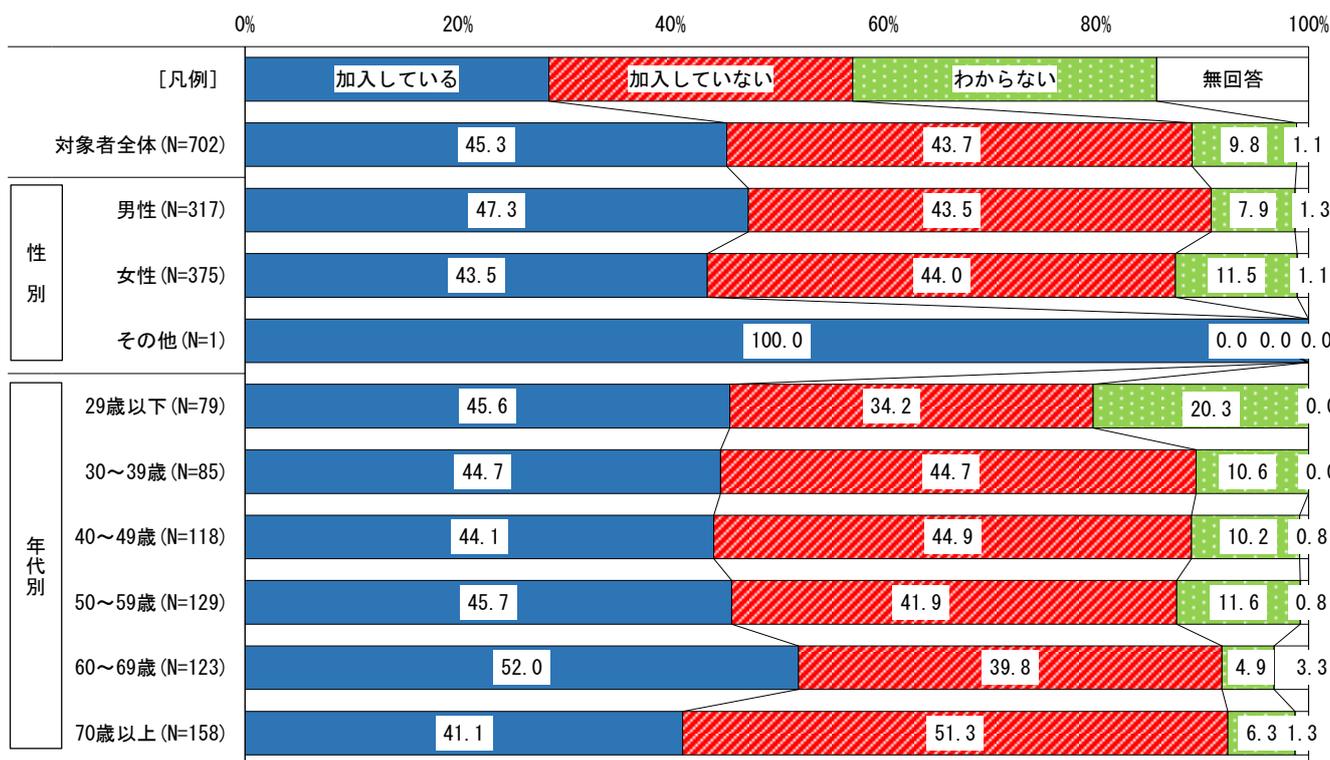
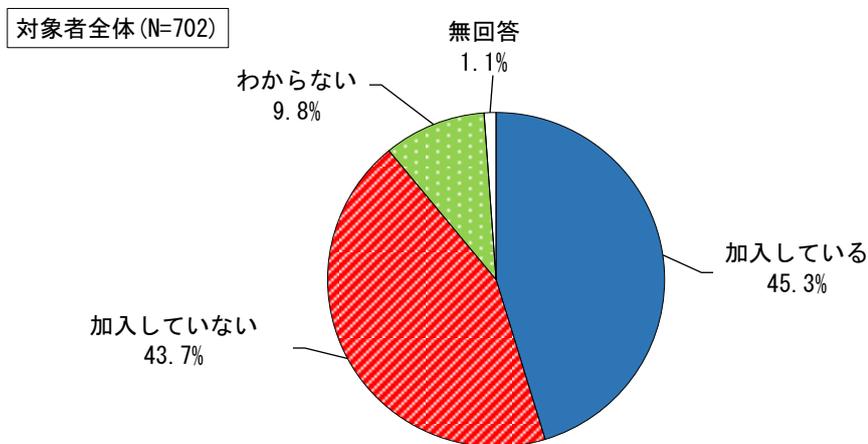
【年代別】 「ある」が30歳代(40.0%)で最も高く、次いで29歳以下(34.2%)、50歳代(32.6%)となっている。

◇自転車損害賠償保険の加入の有無

≪問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。≫

問6 あなたは、自転車損害賠償保険（他の保険に付帯されているものも含む）に加入していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自転車損害賠償保険の加入の有無は、「加入している」人が45.3%



【全 体】自転車損害賠償保険に加入の有無は、「加入している」が45.3%、「加入していない」が43.7%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「加入していない」が70歳以上（51.3%）で最も高く、最も低い29歳以下（34.2%）と比べると17.1ポイントの差となっている。

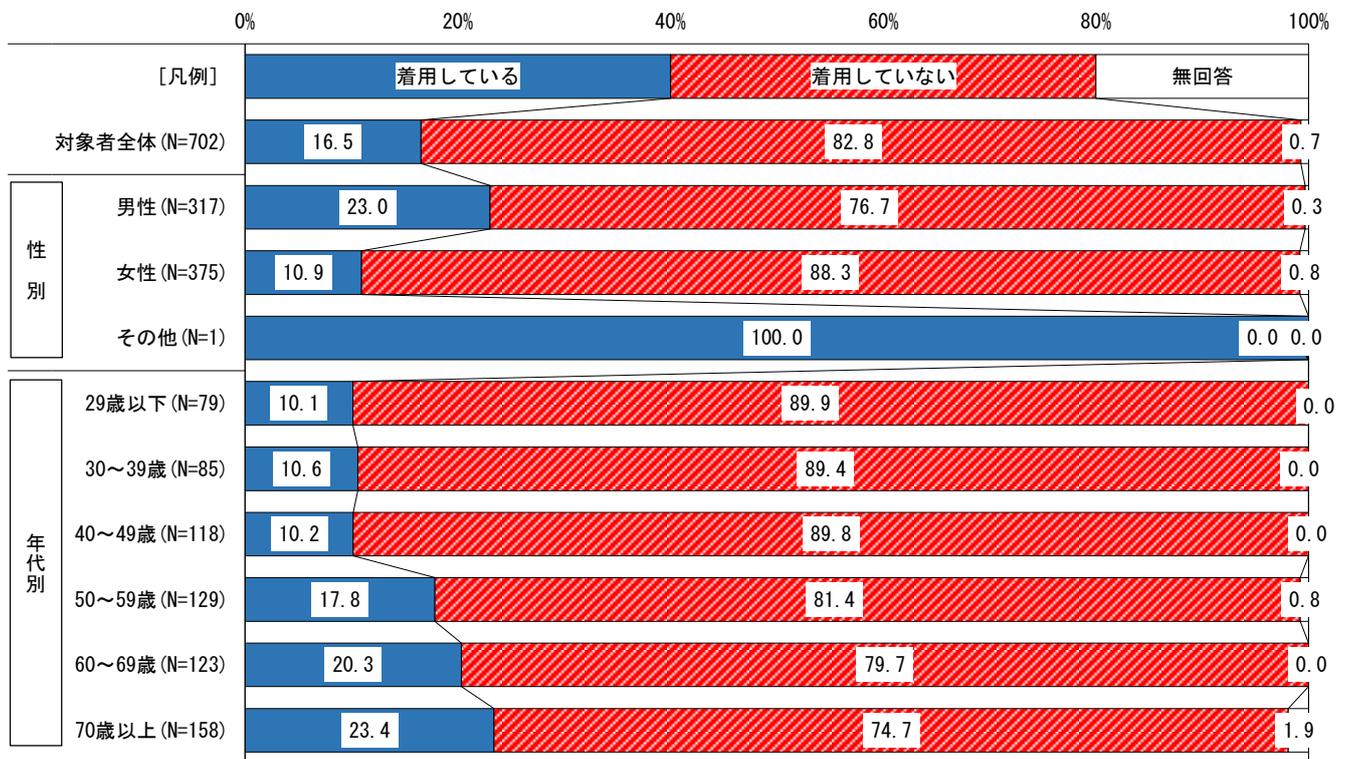
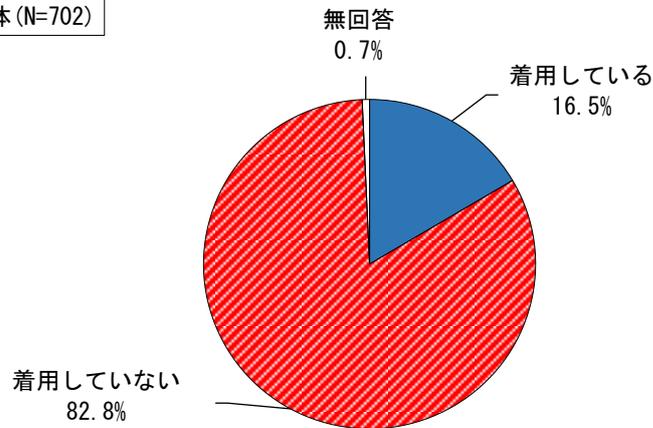
◇自転車利用時のヘルメット着用の有無

「問2で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。」

問7 あなたは、自転車の利用時にヘルメットを着用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

自転車利用時のヘルメット着用の有無は、「着用している」人が16.5%

対象者全体 (N=702)



【全 体】自転車利用時のヘルメット着用の有無は、「着用していない」が82.8%、「着用している」が16.5%となっている。

【性 別】「着用している」は、男性が23.0%と、女性の10.9%より12.1ポイント高くなっている。また、「着用していない」は、女性が88.3%と、男性の76.7%より11.6ポイント高くなっている。

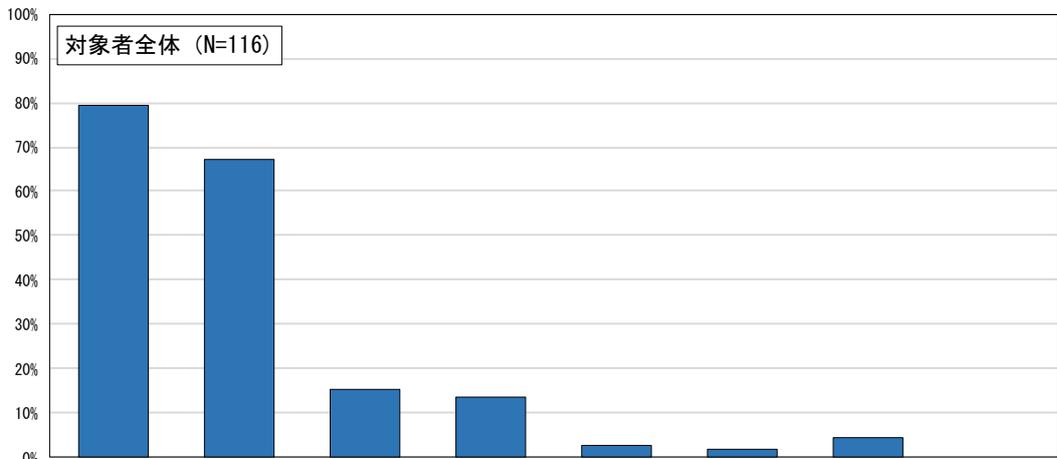
【年代別】「着用している」が70歳以上(23.4%)で最も高く、次いで60歳代(20.3%)、50歳代(17.8%)となっている。

◇ヘルメットを着用する理由

「問7で「1 着用している」と答えた方にお聞きします。」

問7-1 あなたがヘルメットを着用している理由としてあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

ヘルメットを着用する理由は、「交通事故の被害を軽減させるため」と回答した人が79.3%



対象者数 (%)		交通事故の被害を軽減させるため	着用が努力義務化されたため	子どもの見本になるため	テレビや新聞で話題になったため	学校・会社等から指示されたため	なんとなく	その他	無回答	
対象者全体		116	79.3	67.2	15.5	13.8	2.6	1.7	4.3	-
性別	男性	73	82.2	63.0	16.4	13.7	2.7	1.4	6.8	-
	女性	41	73.2	78.0	12.2	14.6	2.4	2.4	-	-
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	8	50.0	75.0	25.0	12.5	-	-	-	-
	30～39歳	9	77.8	66.7	11.1	-	-	11.1	22.2	-
	40～49歳	12	66.7	91.7	33.3	8.3	8.3	-	8.3	-
	50～59歳	23	91.3	56.5	17.4	21.7	4.3	4.3	4.3	-
	60～69歳	25	80.0	64.0	4.0	4.0	-	-	-	-
	70歳以上	37	81.1	67.6	16.2	16.2	-	-	2.7	-

 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】ヘルメットを着用する理由は、「交通事故の被害を軽減させるため」が79.3%、「着用が努力義務化されたため」が67.2%、「子どもの見本になるため」が15.5%となっている。

【性別】「交通事故の被害を軽減させるため」は、男性が82.2%と、女性の73.2%より9.0ポイント高くなっている。また、「着用が努力義務化されたため」は、女性が78.0%と、男性の63.0%より15.0ポイント高くなっている。

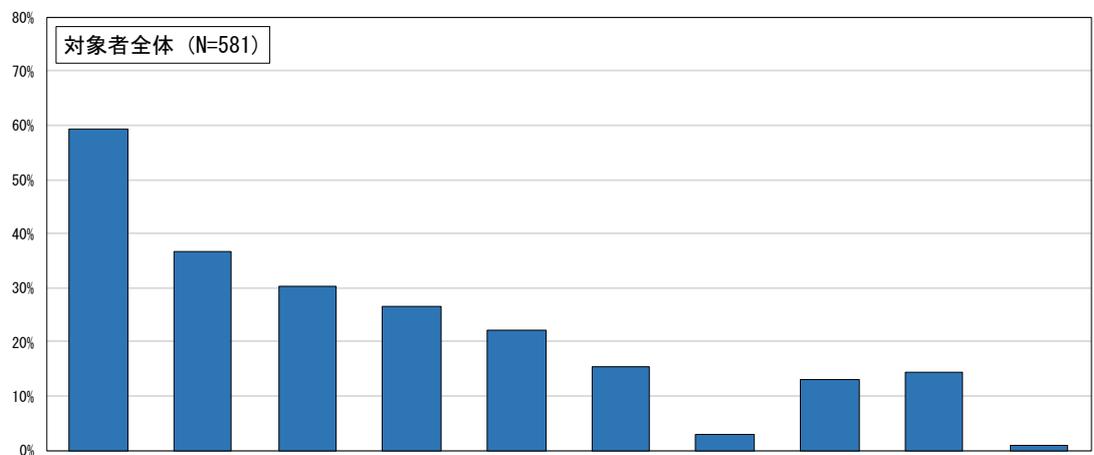
【年代別】29歳以下、40歳代では「着用が努力義務化されたため」が、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「交通事故の被害を軽減させるため」が最も高くなっている。

◇ヘルメットを着用しない理由

「問7で「2 着用していない」と答えた方にお聞きします。」

問7-2 あなたがヘルメットを着用していない理由としてあてはまるものいくつかを○をつけてください。

ヘルメットを着用しない理由は、「持ち歩くのが面倒なため」と回答した人が59.4%



対象者数 (%)		持ち歩くのが面倒なため	販売価格が高いため	頭髪が乱れるため	周りの人が着用していないため	必要性を感じないため	気に入ったデザインがないため	着用の努力義務化を知らないため	なんとなく	その他	無回答	
対象者全体	581	59.4	36.7	30.1	26.7	22.0	15.5	2.8	13.1	14.5	0.7	
性別	男性	243	58.8	33.3	22.2	21.8	31.7	8.6	2.1	16.9	10.7	0.4
	女性	331	59.8	39.3	36.3	30.5	15.1	20.5	3.3	10.3	17.5	0.3
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	71	67.6	29.6	47.9	36.6	28.2	7.0	4.2	11.3	11.3	-
	30~39歳	76	64.5	39.5	32.9	36.8	25.0	25.0	3.9	13.2	17.1	-
	40~49歳	106	59.4	22.6	33.0	25.5	22.6	10.4	3.8	10.4	12.3	-
	50~59歳	105	69.5	46.7	33.3	27.6	24.8	16.2	1.9	12.4	16.2	1.0
	60~69歳	98	57.1	36.7	31.6	14.3	16.3	21.4	-	10.2	17.3	-
	70歳以上	118	44.1	43.2	11.9	25.4	18.6	13.6	3.4	19.5	13.6	0.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】ヘルメットを着用しない理由は、「持ち歩くのが面倒なため」が59.4%、「販売価格が高いため」が36.7%、「頭髪が乱れるため」が30.1%となっている。

【性別】「必要性を感じないため」、「なんとなく」は、男性が女性より6.6ポイント以上高くなっている。また、「販売価格が高いため」、「頭髪が乱れるため」、「周りの人が着用していないため」、「気に入ったデザインがないため」は、女性が男性より6.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「持ち歩くのが面倒なため」が50歳代(69.5%)で最も高く、次いで29歳以下(67.6%)、30歳代(64.5%)となっている。

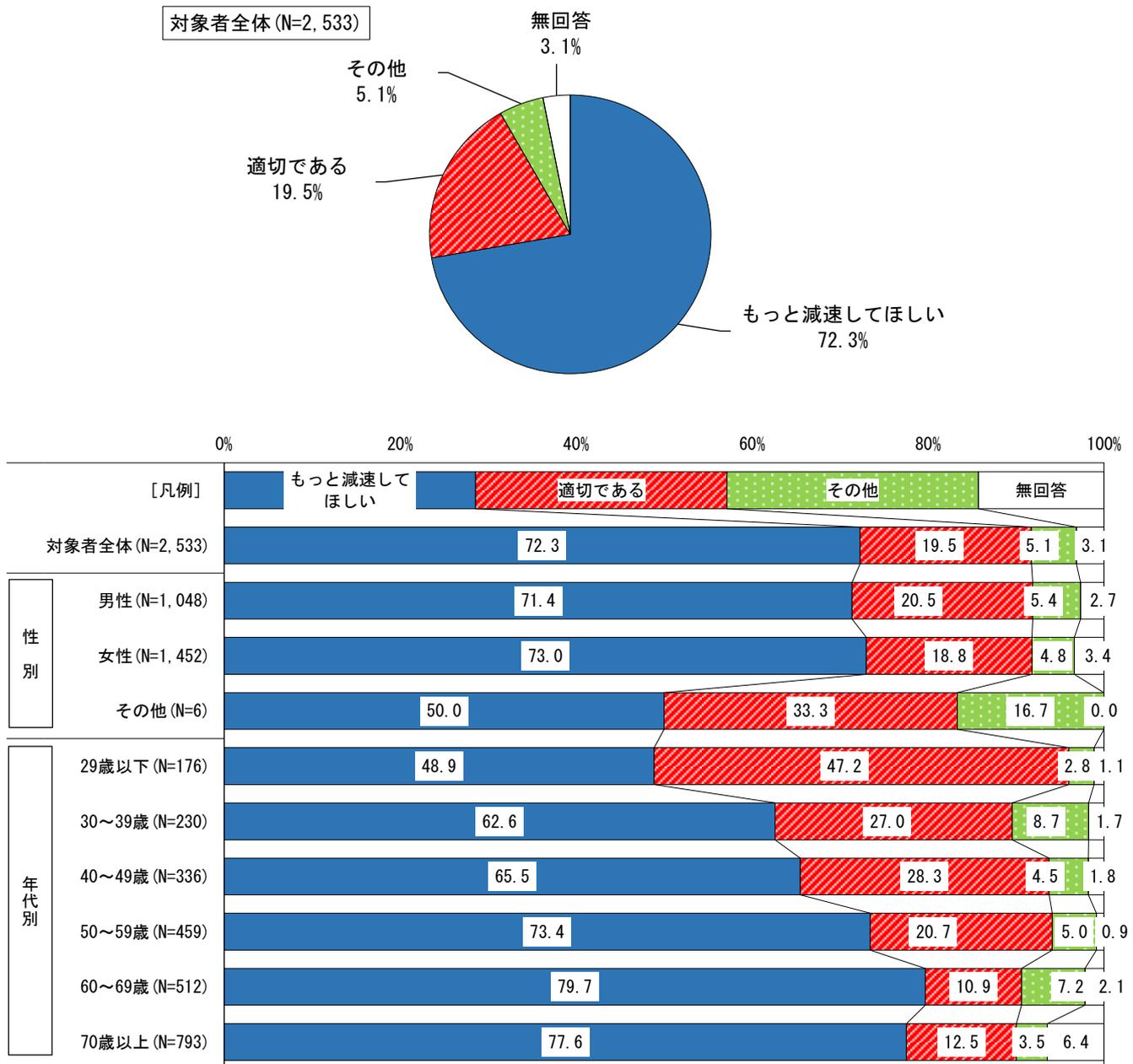
◇歩道を走行する自転車利用者について

《皆さまにお聞きします。》

問8 あなたが歩道を歩いているとき、歩道を走行する自転車利用者についてどのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ア 自転車のスピードについて

歩道を走行する自転車のスピードについては、「もっと減速してほしい」と回答した人が72.3%



【全体】歩道を走行する自転車のスピードについては、「もっと減速してほしい」が72.3%、「適切である」が19.5%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「もっと減速してほしい」が60歳代（79.7%）で最も高く、最も低い29歳以下（48.9%）と比べると30.8ポイントの差となっている。

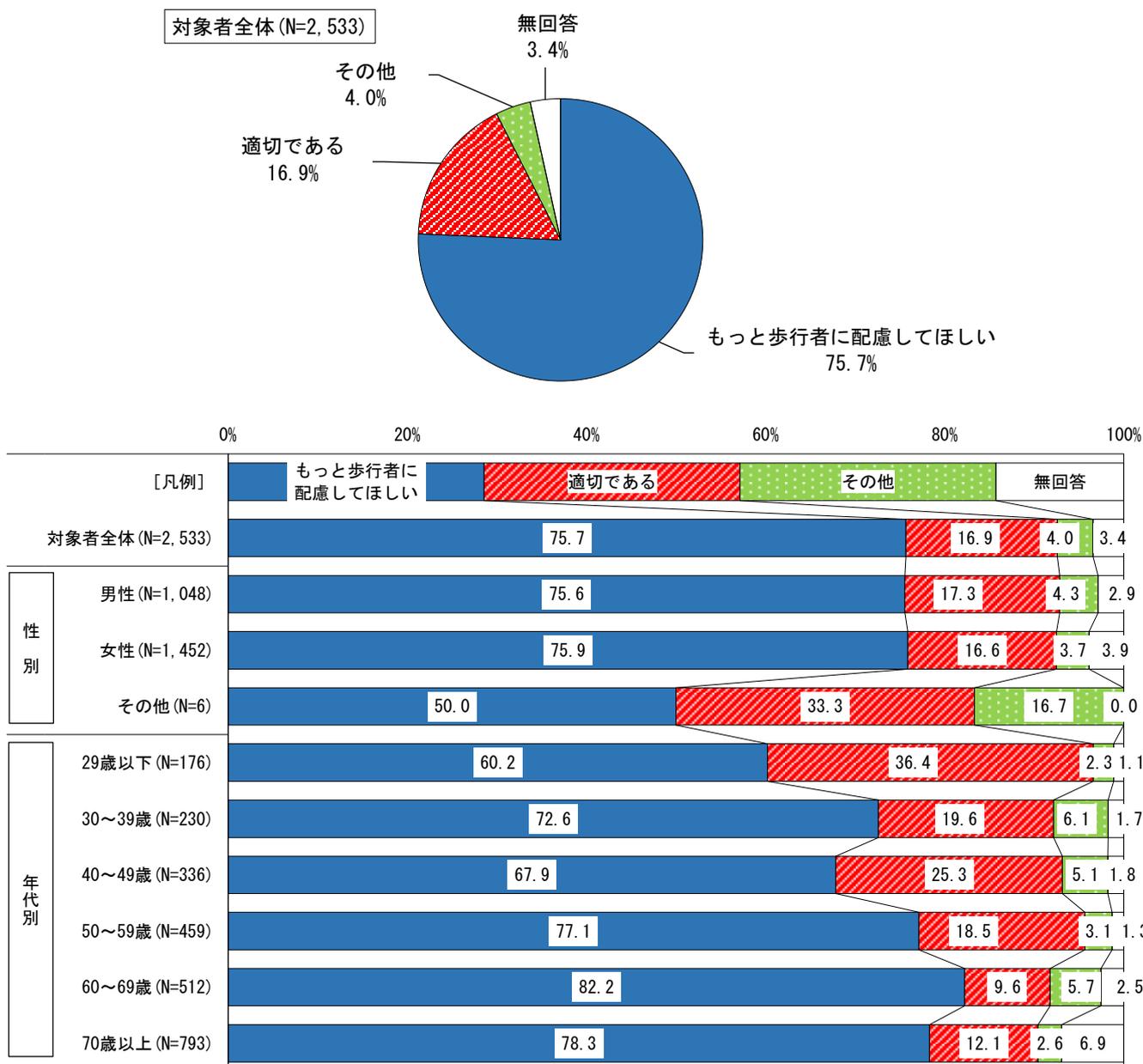
◇歩道を走行する自転車利用者について

「皆さまにお聞きします。」

問8 あなたが歩道を歩いているとき、歩道を走行する自転車利用者についてどのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

イ 歩行者への配慮について

歩道を走行する自転車の歩行者への配慮については、「もっと歩行者に配慮してほしい」と回答した人が75.7%



【全体】歩道を走行する自転車の歩行者への配慮については、「もっと歩行者に配慮してほしい」が75.7%、「適切である」が16.9%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

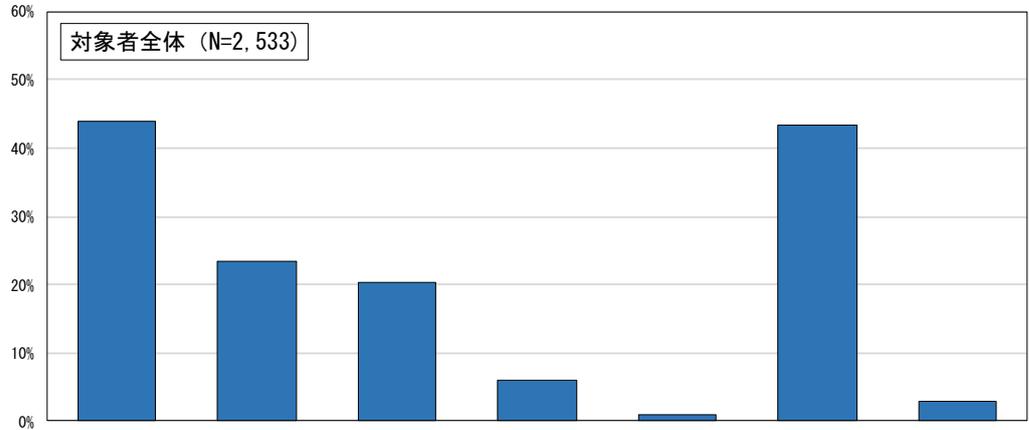
【年代別】「もっと歩行者に配慮してほしい」が60歳代（82.2%）で最も高く、次いで70歳以上（78.3%）、50歳代（77.1%）となっている。

(2)住民票の写し等の証明発行サービスについて

◇直近3年以内に取得した証明書について

問9 区役所の窓口等やコンビニエンスストアで発行している証明書のうち、直近3年以内に取得したことがある証明書はどれですか（家族のものも含む）。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

直近3年以内に取得した証明書は、「住民票の写し」が43.9%



		対象者数	住民票の写し	印鑑登録証明書	戸籍謄抄本・戸籍の附票（市内に本籍のある方のみ）	納税・課税証明書	その他	取得していない・わからない	無回答
		(%)							
対象者全体		2,533	43.9	23.4	20.3	6.0	1.1	43.4	3.0
性別	男性	1,048	49.1	28.6	20.6	6.8	0.8	39.4	2.1
	女性	1,452	40.9	20.0	20.4	5.6	1.3	45.5	3.5
	その他	6	-	16.7	16.7	-	-	83.3	-
年代別	29歳以下	176	55.7	12.5	25.6	4.0	1.1	36.9	0.6
	30～39歳	230	66.5	23.0	23.0	9.6	-	29.6	1.3
	40～49歳	336	51.8	26.8	19.3	7.4	1.2	39.9	0.3
	50～59歳	459	56.6	30.3	21.4	7.8	0.4	34.6	0.9
	60～69歳	512	44.9	28.9	27.0	6.4	1.2	41.0	2.1
	70歳以上	793	24.1	17.4	14.1	3.5	1.6	56.2	6.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】直近3年以内に取得した証明書は、「住民票の写し」が43.9%、「取得していない・わからない」が43.4%、「印鑑登録証明書」が23.4%となっている。

【性別】「住民票の写し」、「印鑑登録証明書」は、男性が女性より8.2ポイント以上高くなっている。また、「取得していない・わからない」は、女性が45.5%と、男性の39.4%より6.1ポイント高くなっている。

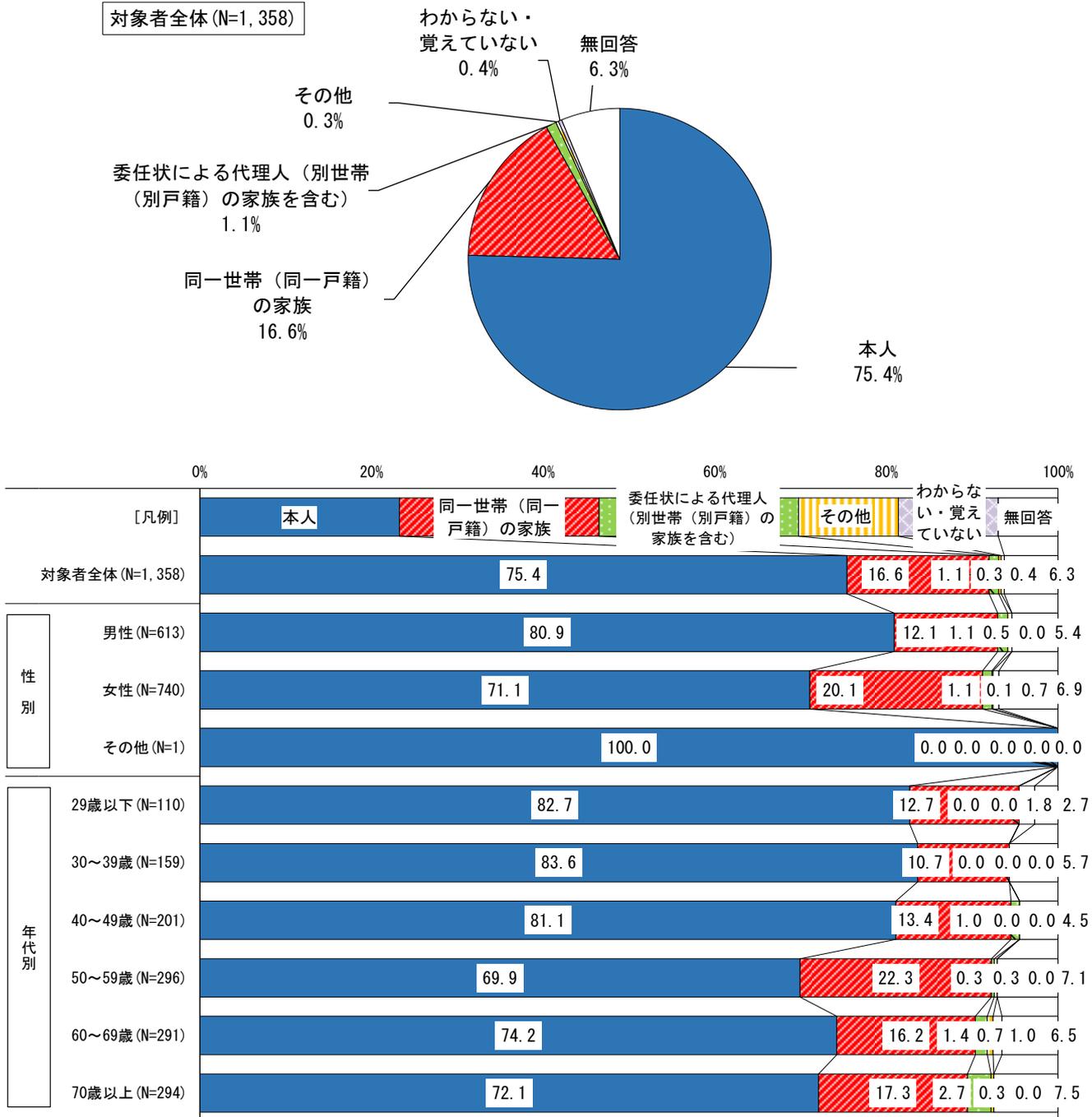
【年代別】「住民票の写し」が30歳代（66.5%）で最も高く、次いで50歳代（56.6%）、29歳以下（55.7%）となっている。

◇主に誰が証明書の取得手続きを行ったか

「問9で「1」から「5」のうち、1つでも○をつけた方にお聞きします。」

問9-1 証明書を取得するにあたり、主にどなたが手続きを行いましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

主に誰が証明書の取得手続きを行ったかは、「本人」が75.4%



【全体】主に誰が証明書の取得手続きを行ったかは、「本人」が75.4%、「同一世帯 (同一戸籍)の家族」が16.6%、「委任状による代理人 (別世帯 (別戸籍)の家族を含む)」が1.1%となっている。

【性別】「本人」は、男性が80.9%と、女性の71.1%より9.8ポイント高くなっている。また、「同一世帯 (同一戸籍)の家族」は、女性が20.3%と、男性の12.1%より8.2ポイント高くなっている。

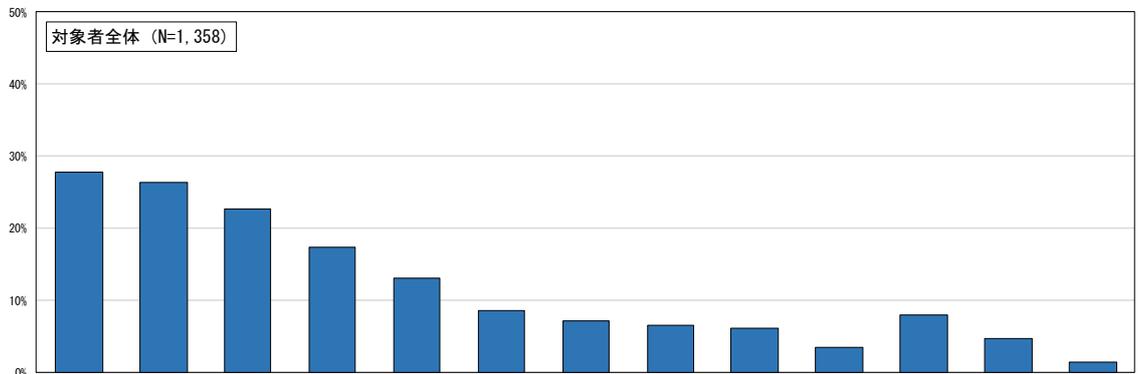
【年代別】「本人」が30歳代 (83.6%)で最も高く、次いで29歳以下 (82.7%)、40歳代 (81.1%)となっている。

◇取得した証明書の利用目的

「問9で「1」から「5」のうち、1つでも○をつけた方にお聞きします。」

問9-2 取得した証明書の利用目的は何ですか。あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

取得した証明書の利用目的は、「住居関係（引っ越し、不動産購入等）」が27.8%



対象者数		住居関係（引っ越し、不動産購入等）	会社関係（就職、転職、社内手続等）	自動車関係（購入、車庫証明、廃車等）	税務関係（相続、確定申告等）	社会保険関係（年金、健康保険等）	免許、資格関係（取得・変更等）	銀行手続（ローン、口座開設等）	教育関係（入学、進学、奨学金等）	パスポートの取得	保険関係（生命保険等）	その他	わからない・覚えていない	無回答
対象者全体 (N=1,358)		27.8	26.4	22.8	17.4	13.1	8.5	7.1	6.5	6.2	3.4	8.0	4.7	1.4
性別	男性	25.4	28.7	30.8	16.8	12.6	10.8	8.5	6.0	5.4	3.3	6.7	3.8	1.0
	女性	29.6	24.7	15.9	17.8	13.5	6.8	6.1	6.9	6.8	3.5	9.2	5.4	1.8
	その他	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	40.0	39.1	16.4	7.3	9.1	22.7	8.2	12.7	18.2	1.8	3.6	1.8	-
	30～39歳	50.0	41.1	17.7	8.9	12.7	12.0	8.9	5.1	7.6	1.9	4.4	7.0	0.6
	40～49歳	24.4	30.8	28.9	16.4	5.0	8.5	8.0	10.4	5.0	1.5	9.5	4.0	0.5
	50～59歳	24.0	29.4	26.4	14.9	7.8	7.8	7.1	13.5	7.1	2.7	6.1	4.4	1.0
	60～69歳	21.9	26.7	20.5	25.0	24.7	5.8	7.2	1.0	4.1	2.4	8.2	6.2	1.0
	70歳以上	23.1	7.5	22.4	21.8	14.3	4.8	5.4	0.7	2.7	7.5	12.6	3.7	3.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】取得した証明書の利用目的は、「住居関係（引っ越し、不動産購入等）」が27.8%、「会社関係（就職、転職、社内手続等）」が26.4%、「自動車関係（購入、車庫証明、廃車等）」が22.8%となっている。

【性別】「自動車関係（購入、車庫証明、廃車等）」は、男性が30.8%と、女性の15.9%より14.9ポイント高くなっている。

【年代別】「免許、資格関係（取得・変更等）」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

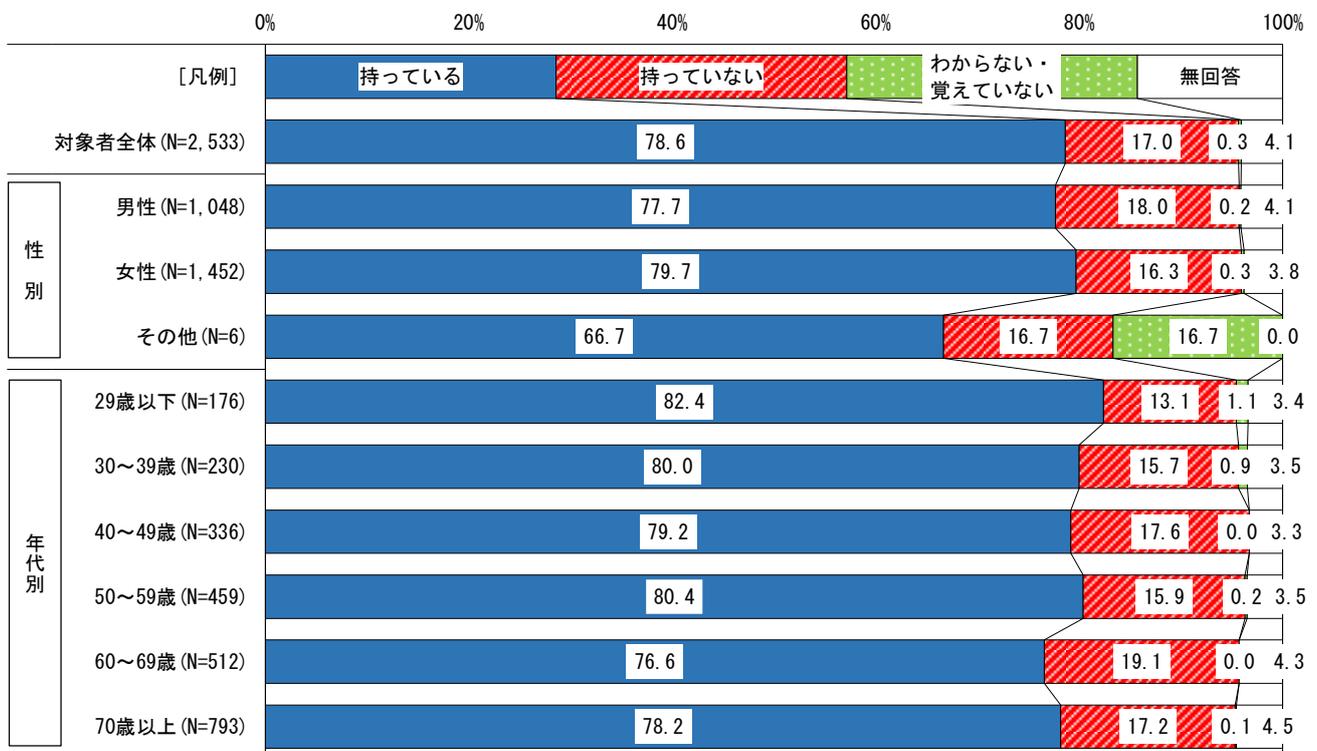
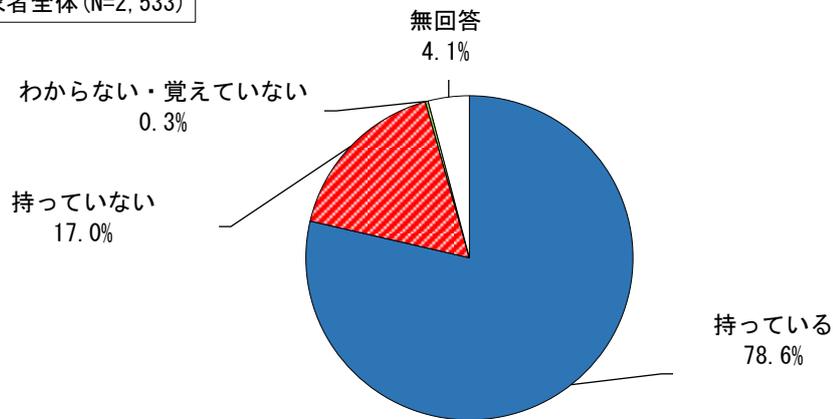
◇マイナンバーカードの取得状況

《皆さまにお聞きします。》

問10 あなたはマイナンバーカードを持っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

マイナンバーカードの取得状況は、「持っている」人が78.6%

対象者全体 (N=2,533)



【全体】マイナンバーカードの取得状況は、「持っている」が78.6%、「持っていない」が17.0%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

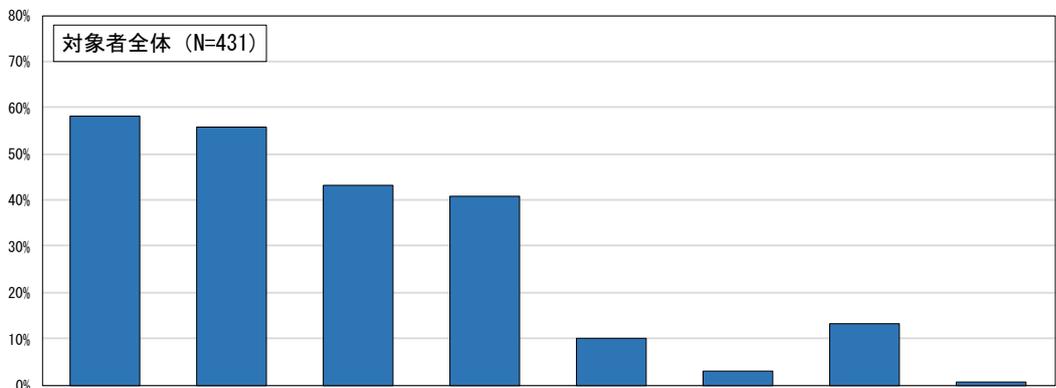
【年代別】「持っている」が29歳以下(82.4%)で最も高く、次いで50歳代(80.4%)、30歳代(80.0%)となっている。

◇マイナンバーカードを取得していない理由

《問10で「2 持っていない」と答えた方にお聞きします。》

問10-1 あなたがマイナンバーカードを取得していない理由は何ですか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

マイナンバーカードを取得していない理由は、「紛失等による個人情報の漏洩や、悪用されないか心配であるため」と回答した人が58.2%



対象者数 (%)	対象者数	た紛や、紛失等による個人情報の漏洩や、悪用されないか心配であるため	他に身分証明書を持っており取得する必要がないため	取得しても、使う機会やメリットがないと感じているため	申請の手続が面倒、または手続をする時間がないため	交付手続をしたが、やり方が分からないため	交付手続をしたが、まだ受け取りに行っていないため	その他	無回答
対象者全体	431	58.2	55.9	43.2	40.8	10.2	3.0	13.2	0.7
性別									
男性	189	52.9	61.9	50.3	43.9	12.7	4.2	13.2	0.5
女性	236	63.1	50.8	37.7	38.6	8.5	1.7	13.1	0.8
その他	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
年代別									
29歳以下	23	30.4	39.1	56.5	43.5	8.7	13.0	8.7	-
30~39歳	36	44.4	58.3	41.7	72.2	8.3	2.8	11.1	-
40~49歳	59	49.2	57.6	44.1	47.5	6.8	3.4	23.7	-
50~59歳	73	67.1	60.3	42.5	47.9	6.8	1.4	15.1	-
60~69歳	98	64.3	59.2	43.9	44.9	14.3	2.0	12.2	1.0
70歳以上	136	62.5	52.9	41.2	23.5	11.8	2.2	9.6	1.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】マイナンバーカードを取得していない理由は、「紛失等による個人情報の漏洩や、悪用されないか心配であるため」が58.2%、「他に身分証明書を持っており取得する必要がないため」が55.9%、「取得しても、使う機会やメリットがないと感じているため」が43.2%となっている。

【性別】「他に身分証明書を持っており取得する必要がないため」、「取得しても、使う機会やメリットがないと感じているため」、「申請の手続が面倒、または手続をする時間がないため」は、男性が女性より5.3ポイント以上高くなっている。また、「紛失等による個人情報の漏洩や、悪用されないか心配であるため」は、女性が63.1%と、男性の52.9%より10.2ポイント高くなっている。

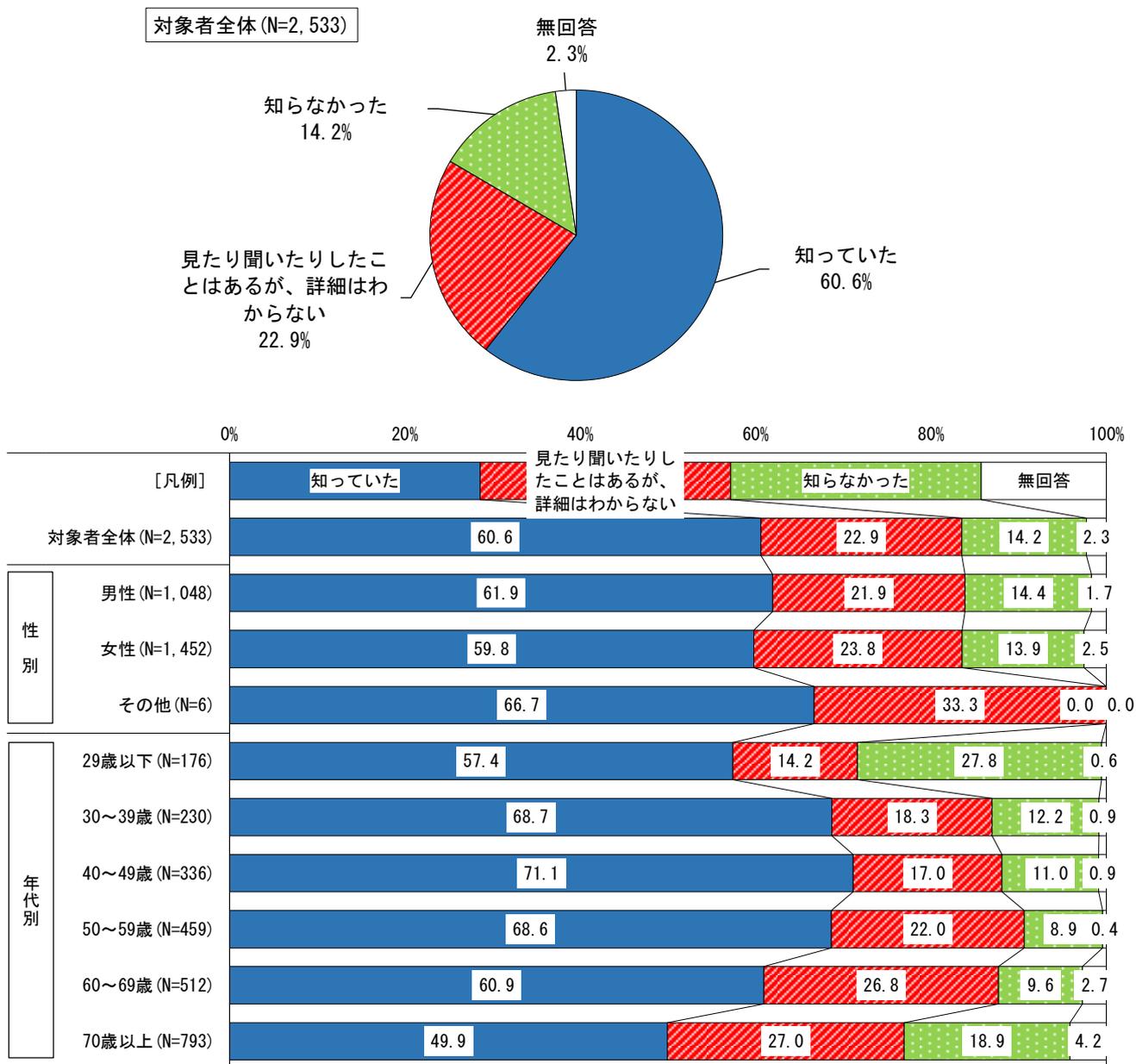
【年代別】29歳以下では「取得しても、使う機会やメリットがないと感じているため」が、30歳代では「申請の手続が面倒、または手続をする時間がないため」が、40歳代では「他に身分証明書を持っており取得する必要がないため」が、50歳代、60歳代、70歳以上では「紛失等による個人情報の漏洩や、悪用されないか心配であるため」が最も高くなっている。

◇コンビニ交付サービスの認知度

《皆さまにお聞きします。》

問11 あなたはコンビニ交付サービスを知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

コンビニ交付サービスの認知度は、「知っていた」人が60.6%



【全体】コンビニ交付サービスの認知度は、「知っていた」が60.6%、「見たり聞いたりしたことはあるが、詳細はわからない」が22.9%、「知らなかった」が14.2%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

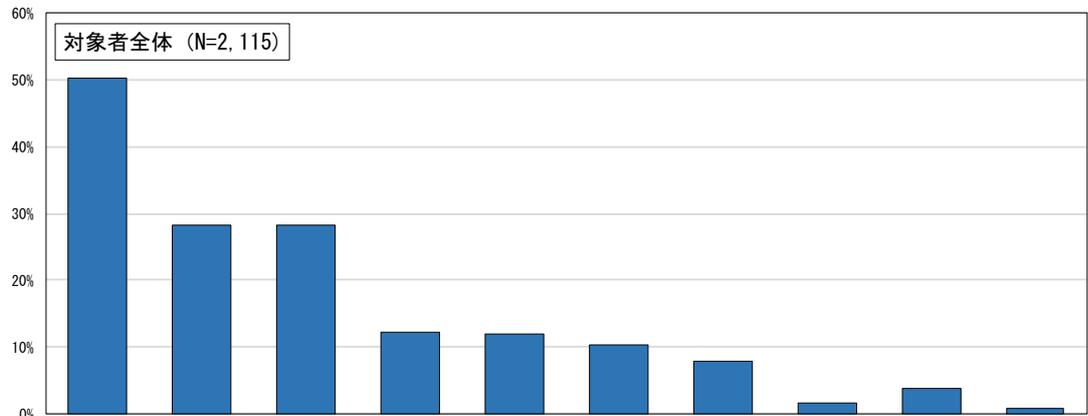
【年代別】「知っていた」が40歳代(71.1%)で最も多く、次いで30歳代(68.7%)、50歳代(68.6%)となっている。

◇コンビニ交付サービスを知ったきっかけ

「問11」で「1 知っていた」または「2 見たり聞いたりしたことはあるが、詳細はわからない」と答えた方にお聞きします。」

問11-1 あなたはコンビニ交付サービスをどのように知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

コンビニ交付サービスを知ったきっかけは、「新聞・テレビ」が50.1%



対象者数		新聞・テレビ	広報さっぽろ	家族・友人・知人からのクチコミ	ポスター・チラシ	区役所窓口での案内	市ホームページ	SNS	街中のビジョン	その他	無回答	
		(%)										
対象者全体		2,115	50.1	28.4	28.3	12.3	12.1	10.2	7.9	1.5	3.8	0.9
性別	男性	879	49.6	28.7	24.1	12.3	12.1	12.1	9.7	1.0	5.0	1.3
	女性	1,213	50.7	28.4	31.2	12.3	12.0	8.9	6.5	1.9	2.9	0.7
	その他	6	33.3	-	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-
年代別	29歳以下	126	23.0	4.8	40.5	9.5	14.3	12.7	23.0	2.4	5.6	0.8
	30~39歳	200	39.0	12.0	26.0	17.0	14.5	15.5	15.0	3.5	6.0	1.0
	40~49歳	296	40.9	18.9	30.7	16.2	12.2	12.2	11.8	1.7	6.4	0.7
	50~59歳	416	52.9	24.5	30.0	14.2	10.6	13.2	8.9	1.9	3.1	0.2
	60~69歳	449	55.9	29.6	26.9	13.6	12.5	8.9	5.1	1.6	3.6	0.4
	70歳以上	610	57.9	44.9	25.2	7.2	11.1	6.1	1.8	0.3	2.1	1.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】コンビニ交付サービスを知ったきっかけは、「新聞・テレビ」が50.1%、「広報さっぽろ」が28.4%、「家族・友人・知人からのクチコミ」が28.3%となっている。

【性別】「家族・友人・知人からのクチコミ」は、女性が31.2%と、男性の24.1%より7.1ポイント高くなっている。

【年代別】「新聞・テレビ」、「広報さっぽろ」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

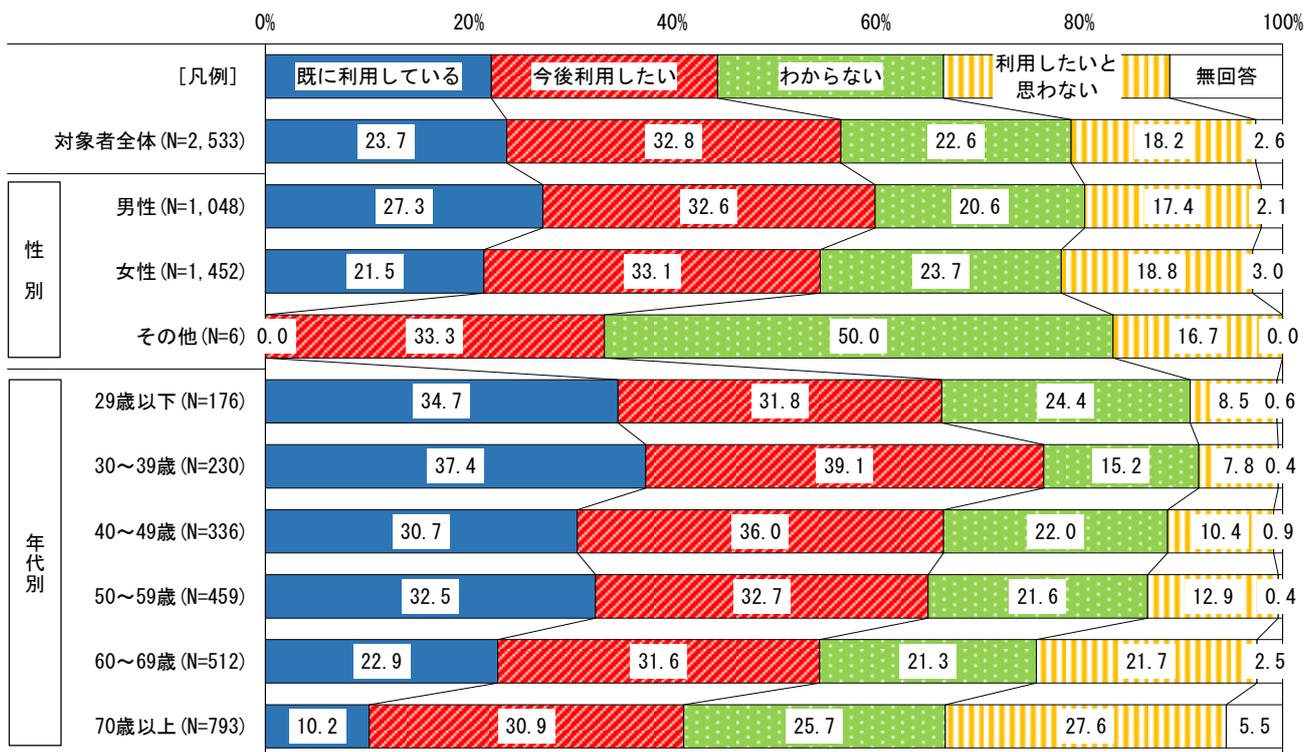
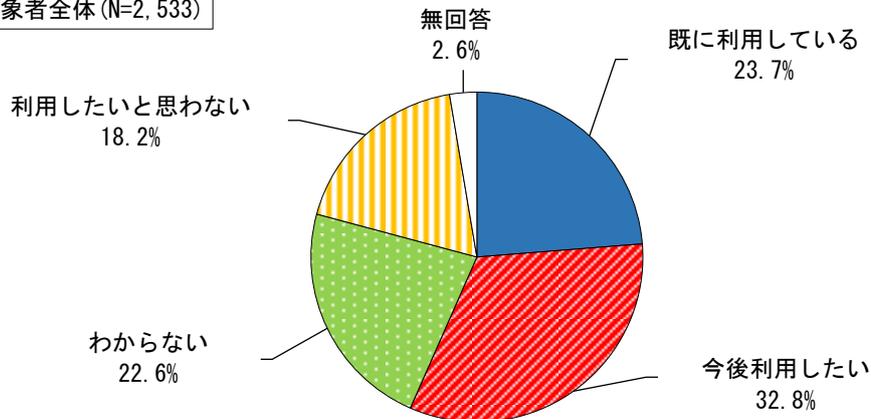
◇コンビニ交付サービスを利用したいかどうか

「皆さまにお聞きします。」

問12 あなたはコンビニ交付サービスを利用したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

コンビニ交付サービスを利用したいかどうかは、「今後利用したい」人が32.8%

対象者全体 (N=2,533)



【全体】コンビニ交付サービスを利用したいかどうかは、「今後利用したい」が32.8%、「既に利用している」が23.7%、「わからない」が22.6%となっている。

【性別】「既に利用している」は、男性が27.3%と、女性の21.5%より5.8ポイント高くなっている。

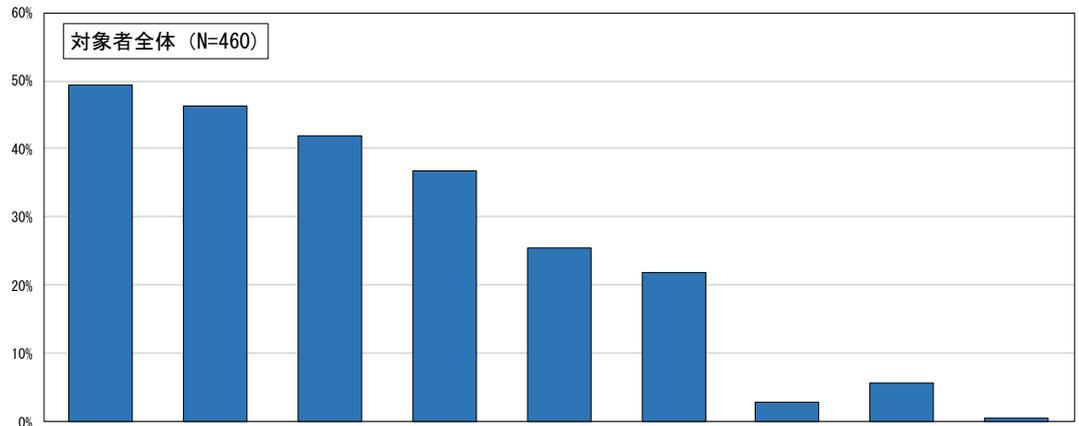
【年代別】29歳以下では「既に利用している」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「今後利用したい」が最も高くなっている。

◇コンビニ交付サービスを利用したいと思わない理由

「問12で「4 利用したいと思わない」と答えた方にお聞きします。」

問12-1 あなたがコンビニ交付サービスを利用したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものにもいくつかをつけてください。

コンビニ交付サービスを利用したいと思わない理由は、「コンビニ交付サービスのセキュリティにおける個人情報の保護に不安があるため」と回答した人が49.3%



対象者数		コンビニ交付サービスにおける個人情報のセキュリティに不安があるため	区役所や大通証明サービスコーナー等の窓口開庁時間にて、自分または代理人が取得でき、不便を感じないため	証明書を取得する頻度が高くないため	機械の操作が苦手で、不安があるため	正しい証明書を取得できないため、職員に確認したいため	マイナンバーカードを持っていないため	区役所や大通証明サービスコーナー等に定期的に行き用事があるため	その他	無回答	
対象者全体		460	49.3	46.3	42.0	36.7	25.4	21.7	2.8	5.7	0.4
性別	男性	183	47.0	49.7	45.9	25.1	23.0	25.7	2.2	4.9	0.5
	女性	272	50.7	44.9	39.7	44.1	26.8	19.5	3.3	6.3	0.4
	その他	1	100.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
年代別	29歳以下	15	66.7	6.7	33.3	26.7	26.7	40.0	-	-	-
	30～39歳	18	38.9	16.7	33.3	22.2	27.8	33.3	5.6	11.1	-
	40～49歳	35	48.6	37.1	37.1	14.3	22.9	25.7	-	8.6	-
	50～59歳	59	66.1	49.2	30.5	20.3	28.8	30.5	8.5	5.1	-
	60～69歳	110	60.9	54.5	38.2	34.5	26.4	20.9	0.9	6.4	1.8
	70歳以上	220	39.1	48.2	49.1	47.3	24.1	17.3	2.7	5.0	-

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】コンビニ交付サービスを利用したいと思わない理由は、「コンビニ交付サービスのセキュリティにおける個人情報の保護に不安があるため」が49.3%、「区役所や大通証明サービスコーナー等の窓口開庁時間にて、自分または代理人が取得でき、不便を感じないため」が46.3%、「証明書を取得する頻度が高くないため」が42.0%となっている。

【性別】「証明書を取得する頻度が高くないため」、「マイナンバーカードを持っていないため」は男性が女性より6.2ポイント高くなっている。また、「機械の操作が苦手で、不安があるため」は、女性が44.1%と、男性の25.1%より19.0ポイント高くなっている。

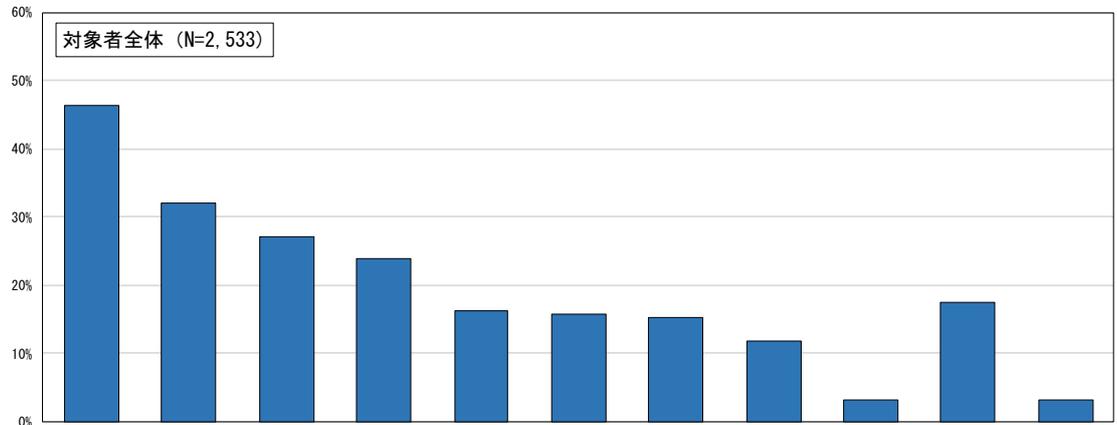
【年代別】29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「コンビニ交付サービスのセキュリティにおける個人情報の保護に不安があるため」が、70歳以上では「証明書を取得する頻度が高くないため」が最も高くなっている。

◇今後の証明発行サービスに求めること

《皆さまにお聞きします。》

問13 あなたが今後の札幌市の証明発行サービスに求めることは何ですか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

今後の証明発行サービスに求めることは、「区役所の窓口等での待ち時間の短縮」が46.3%



対象者数	対象者数	短縮	証明書を取得できる場所の増加	オンライン申請で取得可能な証明書の拡充	区役所の窓口等の受付時間の延長	証明請求書の記載箇所の減少	区役所の窓口等へのコンビニエンス機器の設置	市のホームページや記載台等での証明取得方法の分かりやすさ	職員による相談等の対面サービス	その他	特になし	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
対象者全体	2,533	46.3	31.9	27.1	23.9	16.2	15.6	15.2	11.8	3.2	17.6	3.2
性別												
男性	1,048	44.2	32.2	29.5	25.0	15.2	17.4	13.4	11.2	3.4	18.5	3.1
女性	1,452	48.1	31.5	25.3	23.1	16.9	14.4	16.5	12.4	3.0	16.9	3.3
その他	6	66.7	50.0	33.3	66.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	-	-
年代別												
29歳以下	176	44.3	32.4	38.1	33.0	10.8	17.0	18.2	6.8	4.0	19.9	1.7
30～39歳	230	60.9	50.4	54.8	31.7	18.7	24.8	17.8	5.2	3.9	7.4	-
40～49歳	336	43.2	35.4	44.0	31.5	14.6	23.5	17.0	6.3	4.8	12.8	1.8
50～59歳	459	49.0	39.0	35.5	30.5	15.5	19.4	12.6	10.7	2.8	16.1	0.2
60～69歳	512	43.9	31.8	21.5	25.6	18.0	15.2	15.0	12.3	3.9	16.0	2.3
70歳以上	793	44.4	20.4	8.3	12.0	16.6	7.6	14.9	17.8	1.9	23.8	7.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】今後の証明発行サービスに求めることは、「区役所の窓口等での待ち時間の短縮」が46.3%、「証明書を取得できる場所の増加」が31.9%、「オンライン申請で取得可能な証明書の拡充」が27.1%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「区役所の窓口等の受付時間の延長」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

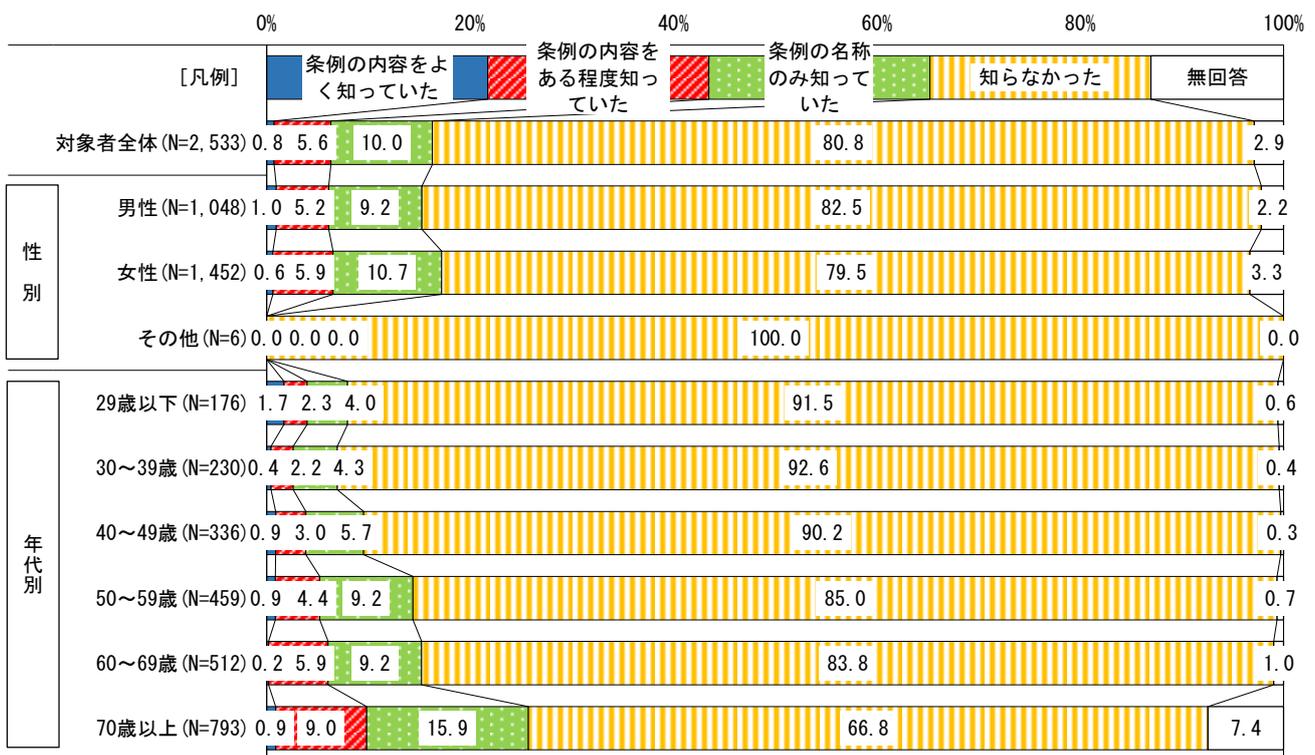
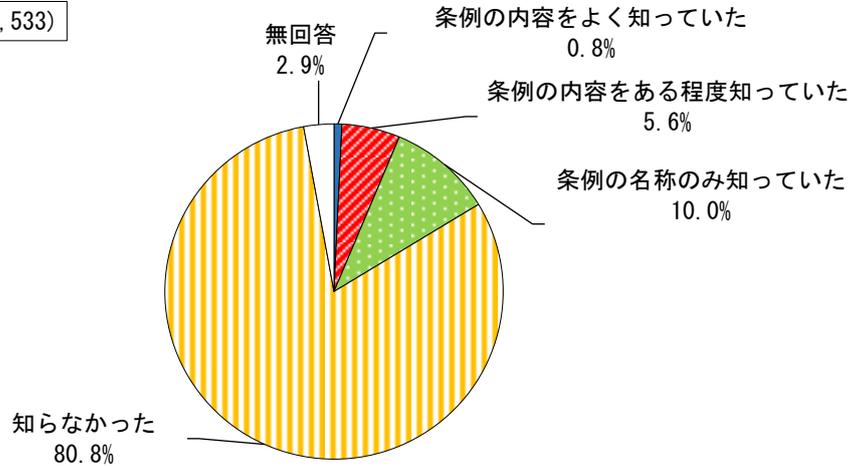
(3)障がい者コミュニケーション条例等について

◇障がい者コミュニケーション条例の認知度

問14 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がい者コミュニケーション条例の認知度は、「知らなかった」人が80.8%

対象者全体 (N=2,533)



【全体】障がい者コミュニケーション条例の認知度は、「知らなかった」が80.8%、「条例の名称のみ知っていた」が10.0%、「条例の内容をある程度知っていた」が5.6%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

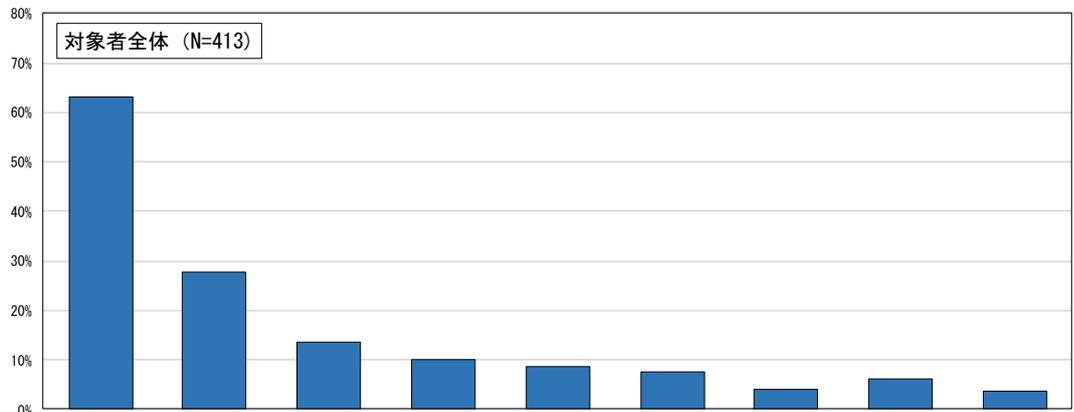
【年代別】「知らなかった」が30歳代(92.6%)で最も高く、最も低い70歳以上(66.8%)と比べると、25.8ポイントの差となっている。

◇障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけ

「問14で「1 条例の内容をよく知っていた」「2 条例の内容をある程度知っていた」「3 条例の名称のみ知っていた」と答えた方にお聞きします。」

問14-1 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を何で知りましたか。あてはまるもの(複数可)に○をつけてください。

障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけは、「広報さっぽろ」が63.2%



対象者数		広報さっぽろ	新聞・テレビなどの報道	家族、知人	ポスター・チラシ・パンフ	市役所や区役所の窓口	ホームページ	その他	覚えていない	無回答	
(%)											
対象者全体	413	63.2	27.6	13.6	10.2	8.7	7.5	3.9	6.1	3.6	
性別	男性	160	66.9	26.9	9.4	7.5	8.8	10.6	3.8	5.0	6.3
	女性	250	61.2	28.0	16.4	12.0	8.8	5.6	4.0	6.8	1.6
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	14	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1	-	14.3	14.3	-
	30～39歳	16	43.8	25.0	18.8	25.0	12.5	12.5	-	-	-
	40～49歳	32	43.8	18.8	9.4	6.3	18.8	3.1	12.5	18.8	-
	50～59歳	66	48.5	28.8	13.6	4.5	3.0	12.1	7.6	10.6	-
	60～69歳	78	60.3	16.7	12.8	19.2	12.8	11.5	3.8	5.1	9.0
	70歳以上	204	77.0	32.8	14.2	8.3	7.4	5.4	-	2.9	3.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がい者コミュニケーション条例を知ったきっかけは、「広報さっぽろ」が63.2%、「新聞・テレビなどの報道」が27.6%、「家族、知人」が13.6%となっている。

【性別】「広報さっぽろ」、「ホームページ」は、男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。また、「家族、知人」は、女性が16.4%と、男性の9.4%より7.0ポイント高くなっている。

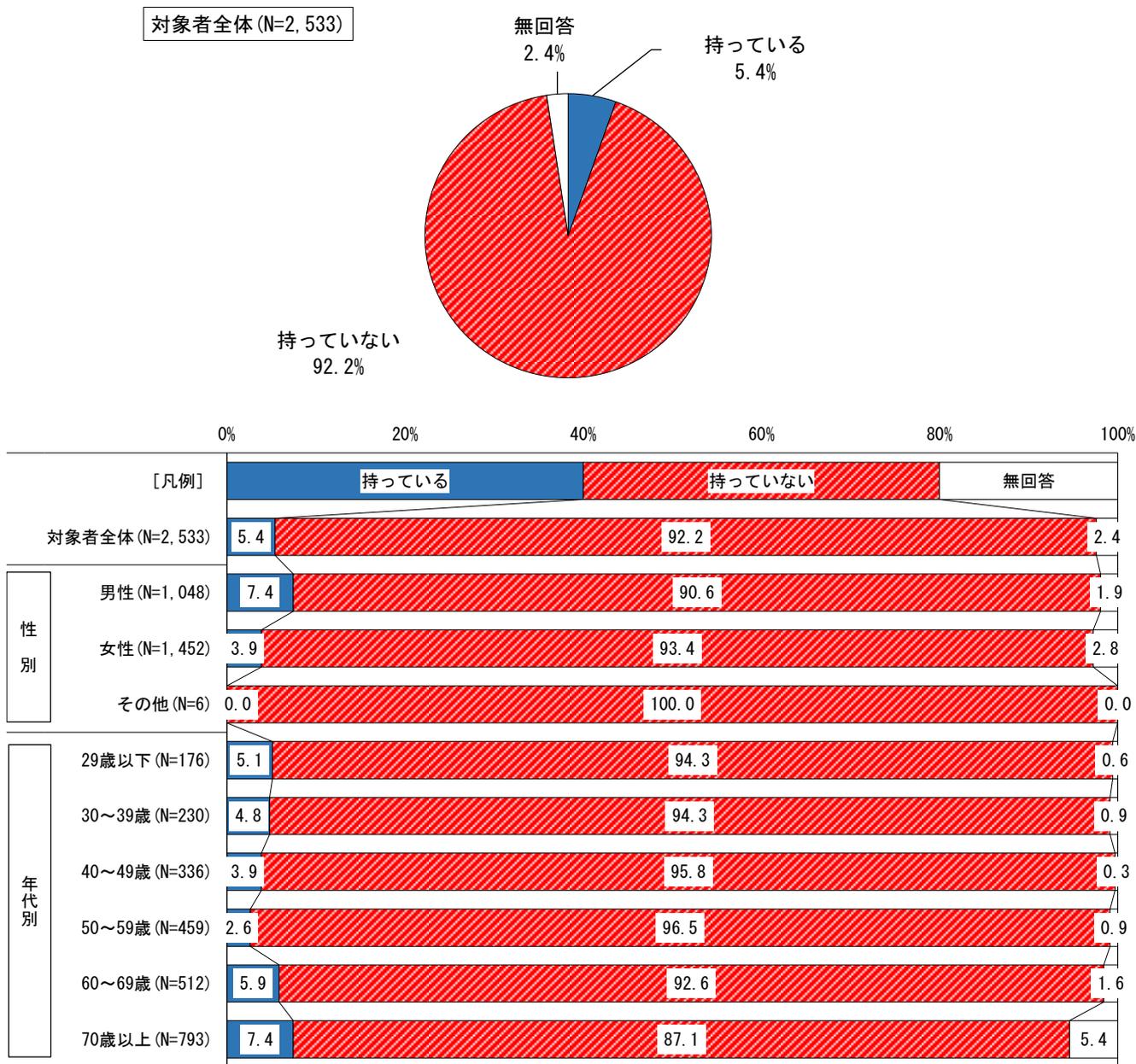
【年代別】29歳以下では「新聞・テレビなどの報道」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「広報さっぽろ」が最も高くなっている。

◇障がい者手帳の保有状況

《皆さまにお聞きします。》

問15 あなたは、障がい者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を持っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がい者手帳の保有状況は、「持っていない」人が92.2%



【全 体】障がい者手帳の保有状況は、「持っていない」が92.2%、「持っている」が5.4%となっている。

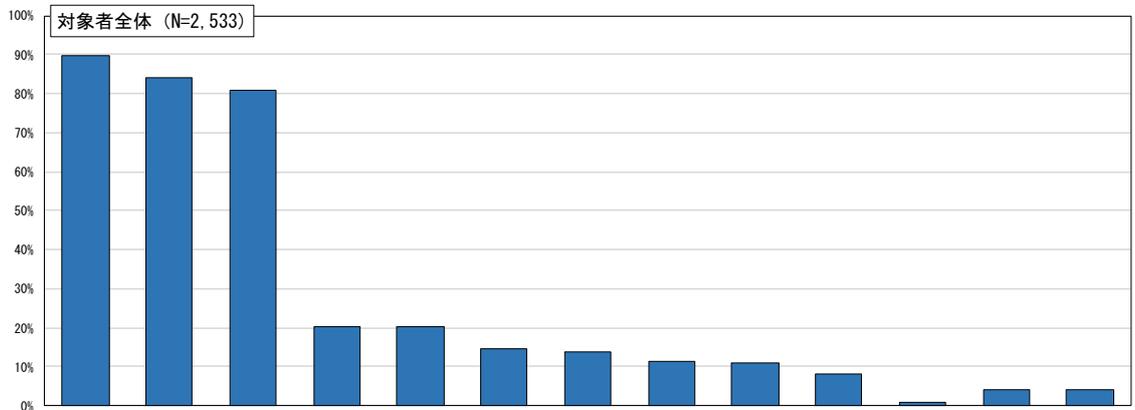
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「持っている」が70歳以上（7.4%）で最も多く、次いで60歳代（5.9%）、29歳以下（5.1%）となっている。

◇障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で知っているもの

問16 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(ご自身でその手段の表現ができなくても構いません。知っているものに○をつけてください。)

障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で知っているものは、「手話」が89.7%



対象者数		手話	点字	筆談	音訳	手のひら書き	意思伝達装置	口文字	指点字	要約筆記	触手話	その他	特になし	無回答	
(%)															
対象者全体	2,533	89.7	84.1	81.0	20.4	20.3	14.7	13.7	11.2	10.9	8.0	0.9	4.0	3.9	
性別	男性	1,048	88.5	81.7	75.6	15.5	16.2	11.7	10.6	9.5	11.4	6.5	0.9	5.2	4.1
	女性	1,452	90.8	86.3	85.3	24.0	23.2	17.2	15.9	12.4	10.7	9.2	1.0	3.0	3.6
	その他	6	100.0	100.0	100.0	33.3	66.7	-	33.3	50.0	16.7	16.7	-	-	-
年代別	29歳以下	176	96.0	91.5	84.1	22.7	36.9	18.2	24.4	25.0	9.1	11.4	-	1.1	1.1
	30～39歳	230	95.2	93.9	92.2	27.8	29.1	21.7	21.3	17.8	16.5	11.3	1.3	0.9	1.7
	40～49歳	336	94.6	92.3	90.5	20.5	27.7	16.7	12.8	8.9	11.3	7.1	3.0	1.8	1.8
	50～59歳	459	96.7	93.5	89.3	26.6	20.3	17.0	14.2	13.7	11.3	8.7	0.7	1.7	0.9
	60～69歳	512	92.6	89.5	82.0	19.9	16.8	15.8	11.7	8.2	10.2	8.8	0.6	4.5	1.8
70歳以上	793	79.2	68.2	68.5	14.8	13.6	9.6	10.6	7.9	10.1	6.1	0.6	7.1	8.8	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で知っているものは、「手話」が89.7%、「点字」が84.1%、「筆談」が81.0%となっている。

【性別】「筆談」、「音訳」、「手のひら書き」、「意思伝達装置」、「口文字」は、女性が男性より5.3ポイント以上高くなっている。

【年代別】「手のひら書き」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

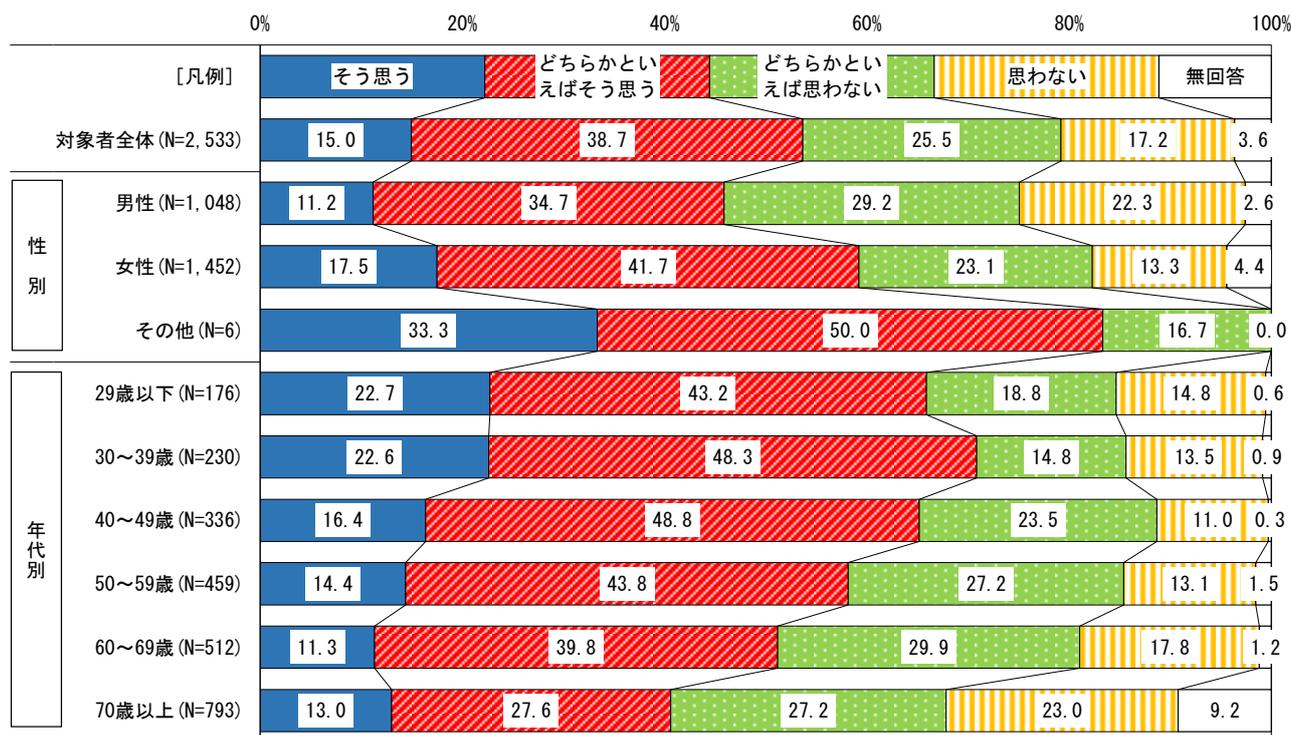
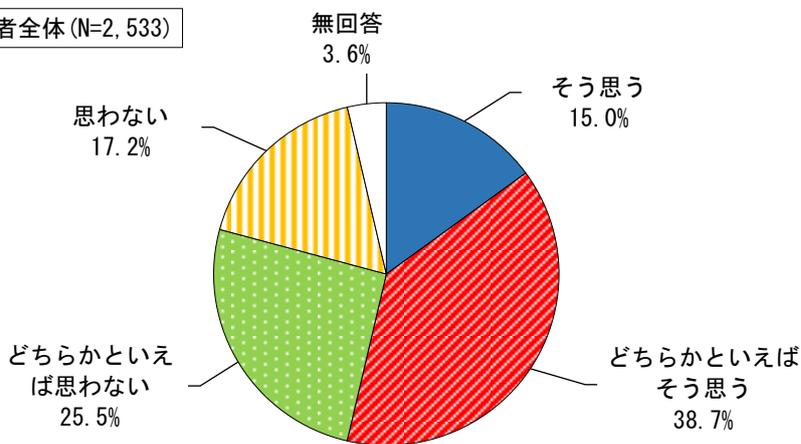
◇障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について学んでみたい・知りたいと思うか

問17 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について、あなたは学んでみたい、または、知りたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について学んでみたい・知りたいと思うかは、“そう思う”が53.7%

“そう思う” = (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)

対象者全体 (N=2,533)



【全体】障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について学んでみたい・知りたいと思うかは、「そう思う」が15.0%、「どちらかといえばそう思う」が38.7%、合わせると53.7%となっている。一方で、「どちらかといえば思わない」が25.5%、「思わない」が17.2%、合わせると42.7%となっている。

【性別】「どちらかといえば思わない」、「思わない」は、男性が女性より6.1ポイント以上高くなっている。また、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」は、女性が男性より6.3ポイント以上高くなっている。

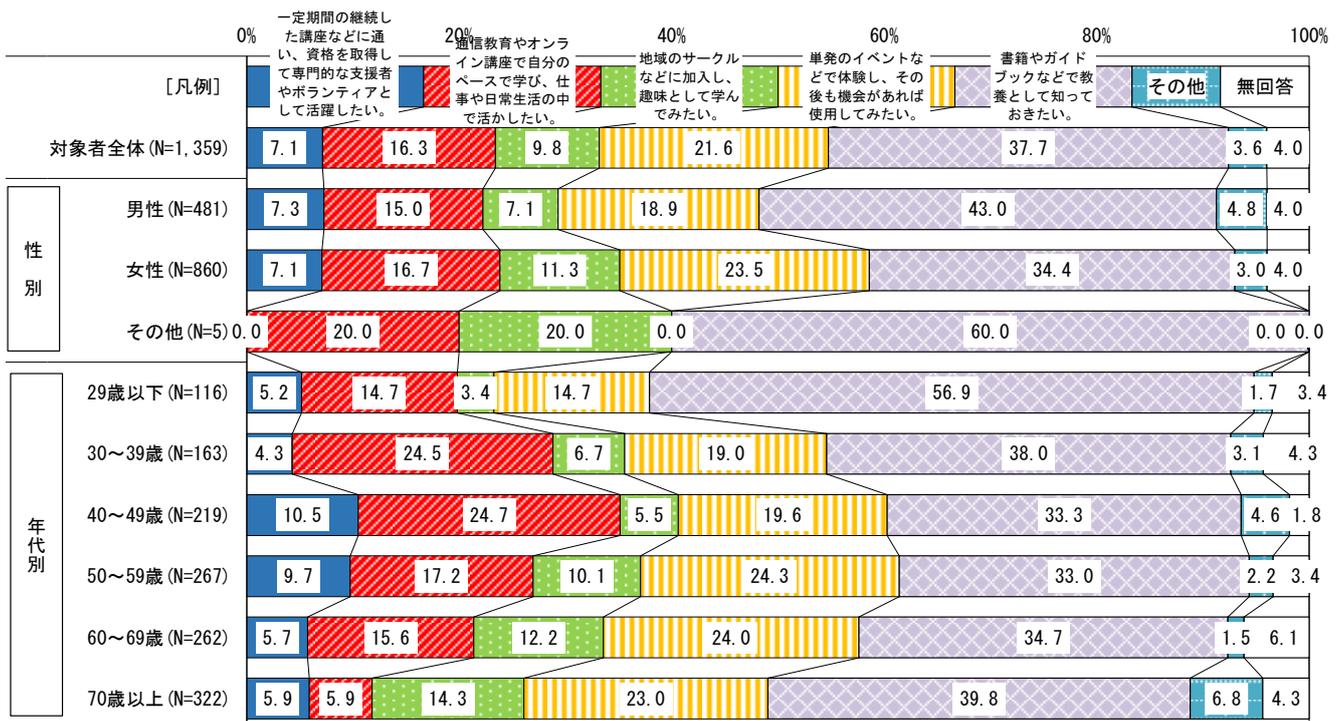
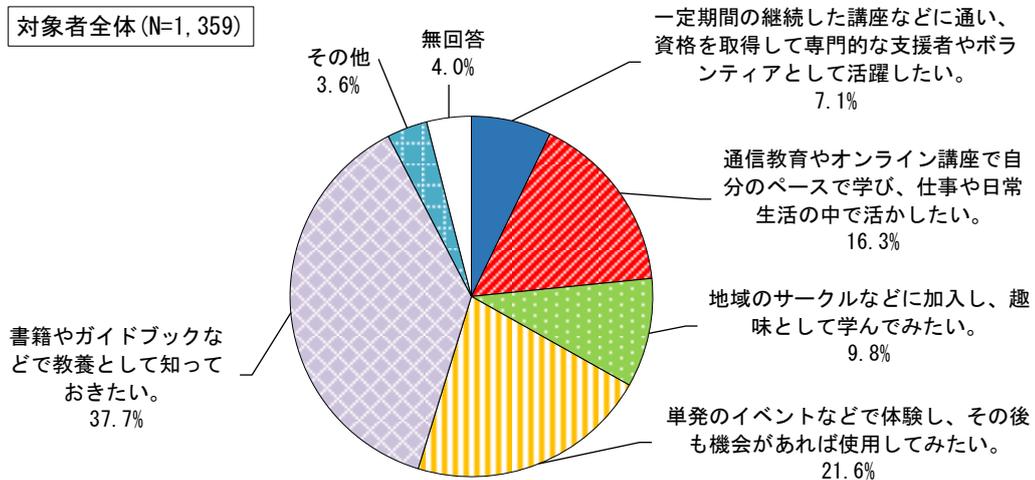
【年代別】「そう思う」が29歳以下(22.7%)で最も高く、次いで30歳代(22.6%)、40歳代(16.4%)となっている。

◇障がいのある方が使用するコミュニケーション手段についてどの程度学んでみたい・知りたいと思うか
 ≪問17で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。≫

問17-1 あなたは、障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について、どの程度学んでみたい、または、知りたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

障がいのある方が使用するコミュニケーション手段についてどの程度学んでみたい・知りたいと思うかは、「書籍やガイドブックなどで教養として知っておきたい。」と回答した人が37.7%

対象者全体 (N=1,359)



【全体】障がいのある方が使用するコミュニケーション手段についてどの程度学んでみたい・知りたいと思うかは、「書籍やガイドブックなどで教養として知っておきたい。」が37.7%、「単発のイベントなどで体験し、その後も機会があれば使用してみたい。」が21.6%、「通信教育やオンライン講座で自分のペースで学び、仕事や日常生活の中で活かしたい。」が16.3%となっている。

【性別】「書籍やガイドブックなどで教養として知っておきたい。」は、男性が43.0%と、女性の34.4%より8.6ポイント高くなっている。

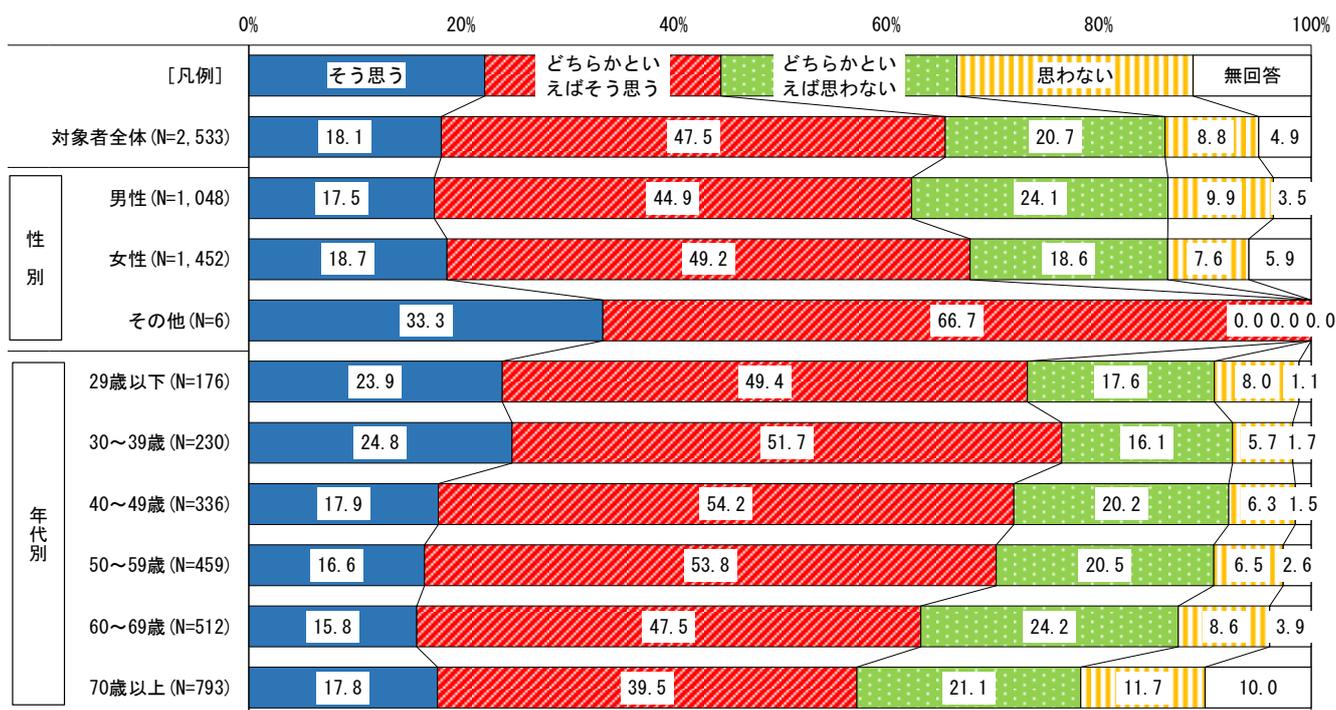
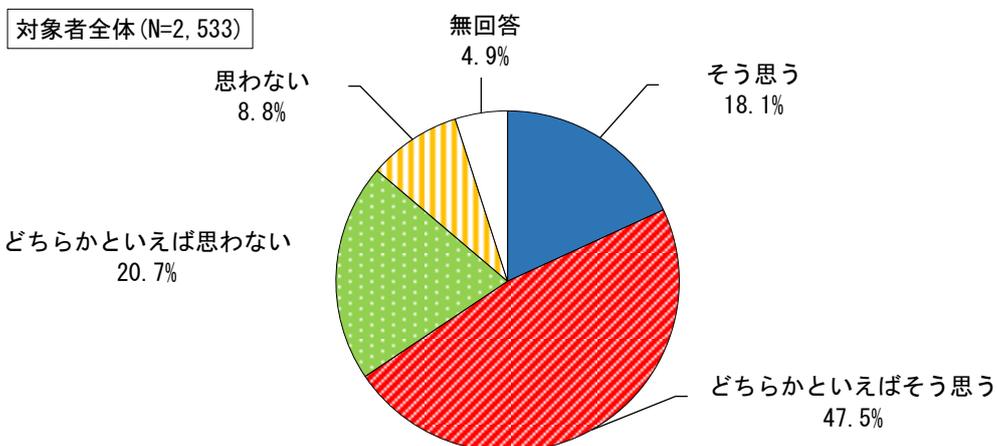
【年代別】「書籍やガイドブックなどで教養として知っておきたい。」が29歳以下(56.9%)で最も高く、最も低い50歳代(33.0%)と比べると23.9ポイントの差となっている。

◇コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うか
 ≪皆さまにお聞きします。≫

問18 あなたはコミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何かに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかは、“**そう思う**”が**65.6%**

“そう思う” = (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」)



【全体】コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、何かに取り組みたいと思うかは、「そう思う」が18.1%、「どちらかといえばそう思う」が47.5%、合わせると65.6%となっている。一方で、「どちらかといえば思わない」が20.7%、「思わない」が8.8%、合わせると29.5%となっている。

【性別】「どちらかといえば思わない」は、男性で24.1%と、女性の18.6%より5.5ポイント高くなっている。

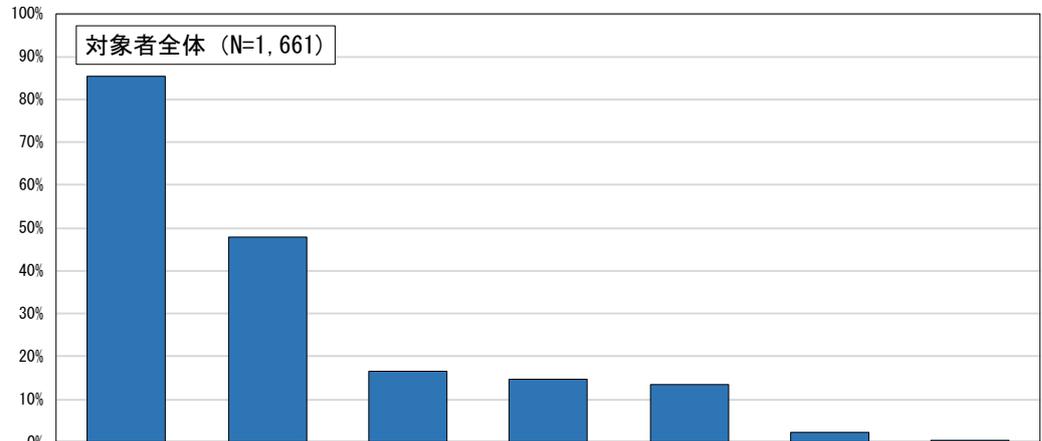
【年代別】「そう思う」が30歳代(24.8%)で最も高く、次いで29歳以下(23.9%)、40歳代(17.9%)となっている。

◇コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいこと

≪問18で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。≫

問18-1 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として具体的にどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいことは、「日常生活で困っている方がいたら助ける」と回答した人が85.3%



	対象者数	日常生活で困っている方がいたら助ける	メディア(テレビやSNSなど)の中で、障がいに関する情報があれば気を配る	障がいのある方が行う行事、催し物に参加する	ボランティア活動へ参加する	講座に参加するなど、障がいのある方のコミュニケーション手段を学習し、実践する	その他	無回答	
対象者全体	1,661	85.3	47.8	16.7	14.9	13.4	2.3	0.5	
性別	男性	654	81.5	47.1	15.1	13.5	2.6	0.5	
	女性	986	87.9	48.7	17.6	15.7	2.1	0.5	
	その他	6	83.3	50.0	33.3	50.0	33.3	-	-
年代別	29歳以下	129	85.3	42.6	14.7	19.4	16.3	2.3	0.8
	30～39歳	176	89.8	47.2	23.3	13.6	13.6	3.4	-
	40～49歳	242	86.8	48.8	16.9	13.6	15.7	2.5	-
	50～59歳	323	85.1	47.1	17.0	15.8	15.8	1.5	-
	60～69歳	324	85.8	50.6	14.2	13.3	13.0	1.5	0.3
	70歳以上	454	83.0	48.2	16.1	15.4	9.9	2.9	1.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために取り組みたいことは、「日常生活で困っている方がいたら助ける」が85.3%、「メディア(テレビやSNSなど)の中で、障がいに関する情報があれば気を配る」が47.8%、「障がいのある方が行う行事、催し物に参加する」が16.7%となっている。

【性別】「日常生活で困っている方がいたら助ける」は、女性が87.9%と、男性の81.5%より6.4ポイント高くなっている。

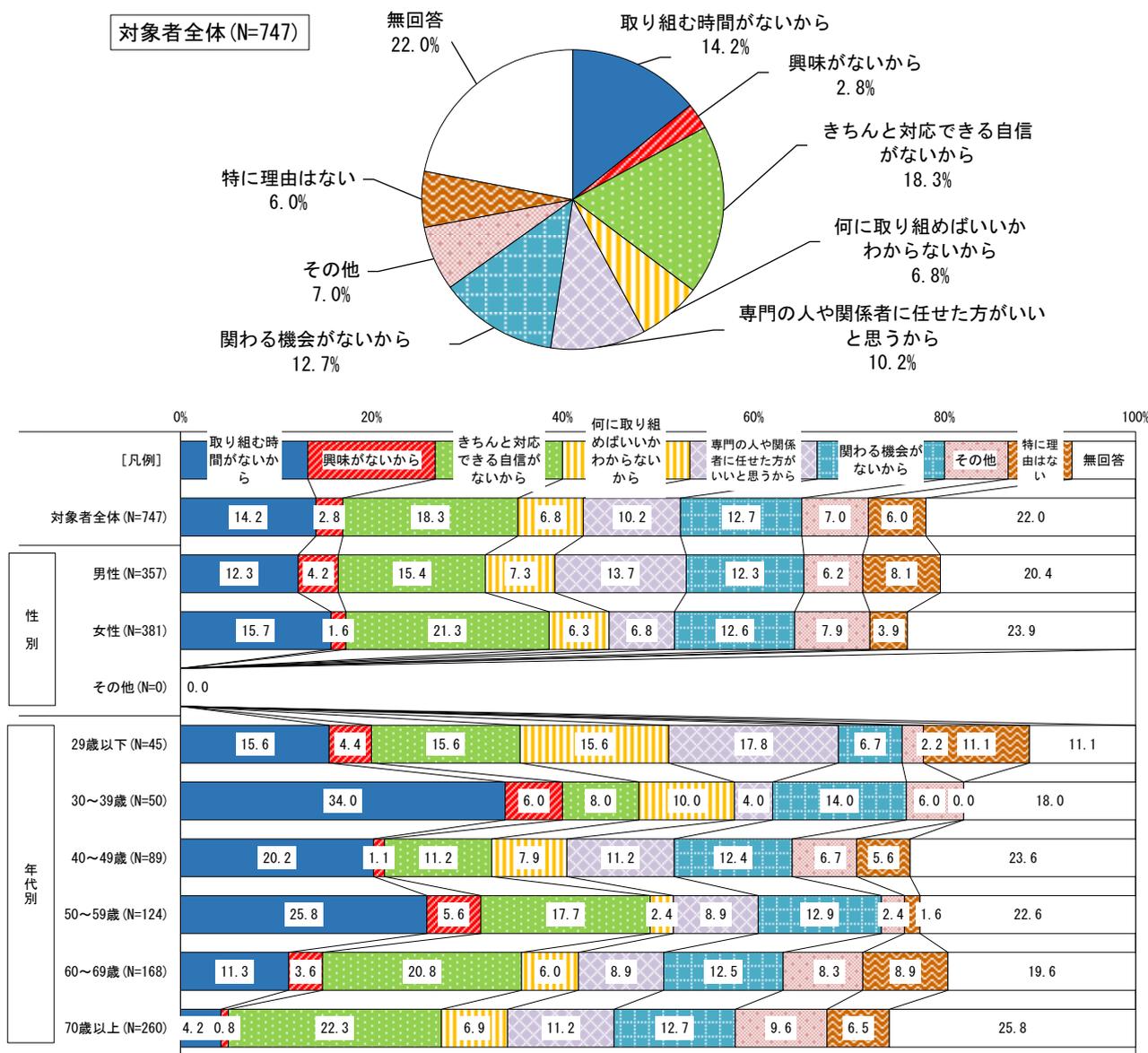
【年代別】「日常生活で困っている方がいたら助ける」が30歳代(89.8%)で最も高く、次いで40歳代(86.8%)、60歳代(85.8%)となっている。

◇コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために何か取り組みたいと思わない理由

◀問18で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」と答えた方にお聞きします。▶

問18-2 あなたが、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何か取り組みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために何か取り組みたいと思わない理由は、「きちんと対応できる自信がないから」と回答した人が18.3%



【全体】コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくために何か取り組みたいと思わない理由は、「きちんと対応できる自信がないから」が18.3%、「取り組む時間がないから」が14.2%、「関わる機会がないから」が12.7%となっている。

【性別】「専門の人や関係者に任せたいから」は、男性が13.7%と、女性の6.8%より6.9ポイント高くなっている。また、「きちんと対応できる自信がないから」は、女性が21.3%と、男性の15.4%より5.9ポイント高くなっている。

【年代別】29歳以下では「専門の人や関係者に任せたいから」が、30歳代、40歳代、50歳代では「取り組む時間がないから」が、60歳代、70歳以上では「きちんと対応できる自信がないから」が最も高くなっている。

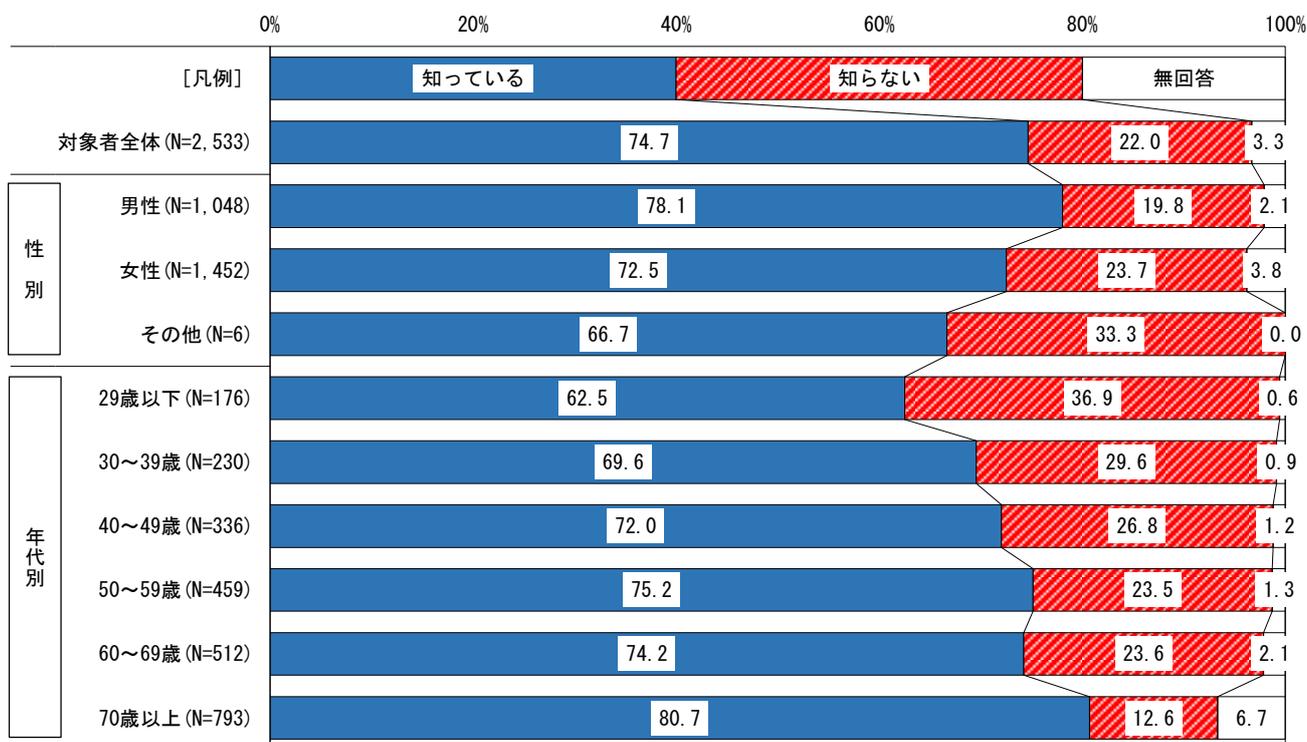
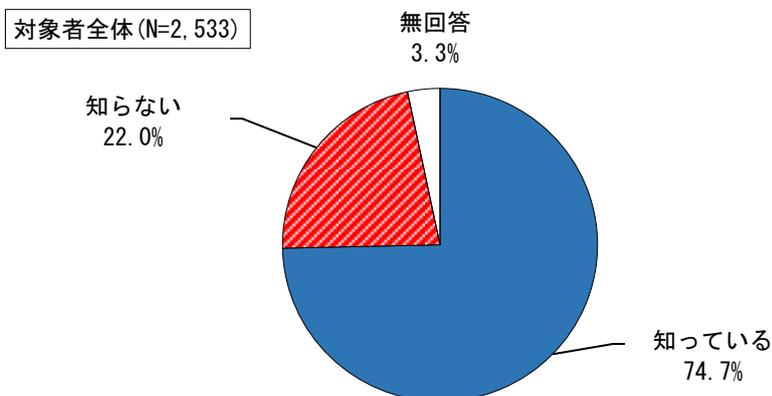
(4)雪対策に関する取り組みについて

◇札幌市による道路の除排雪作業への認知度について

問19 あなたは、以下の札幌市による道路の除排雪作業について知っていますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ○をつけてください。

ア 札幌市の新雪除雪は、道路脇に雪を寄せる「かき分け除雪」であること

新雪除雪は「かき分け除雪」であることを「知っている」人は74.7%



【全体】新雪除雪は「かき分け除雪」であることは、「知っている」が74.7%、「知らない」が22.0%となっている。

【性別】「知っている」は、男性で78.1%と、女性の72.5%より5.6ポイント高くなっている。

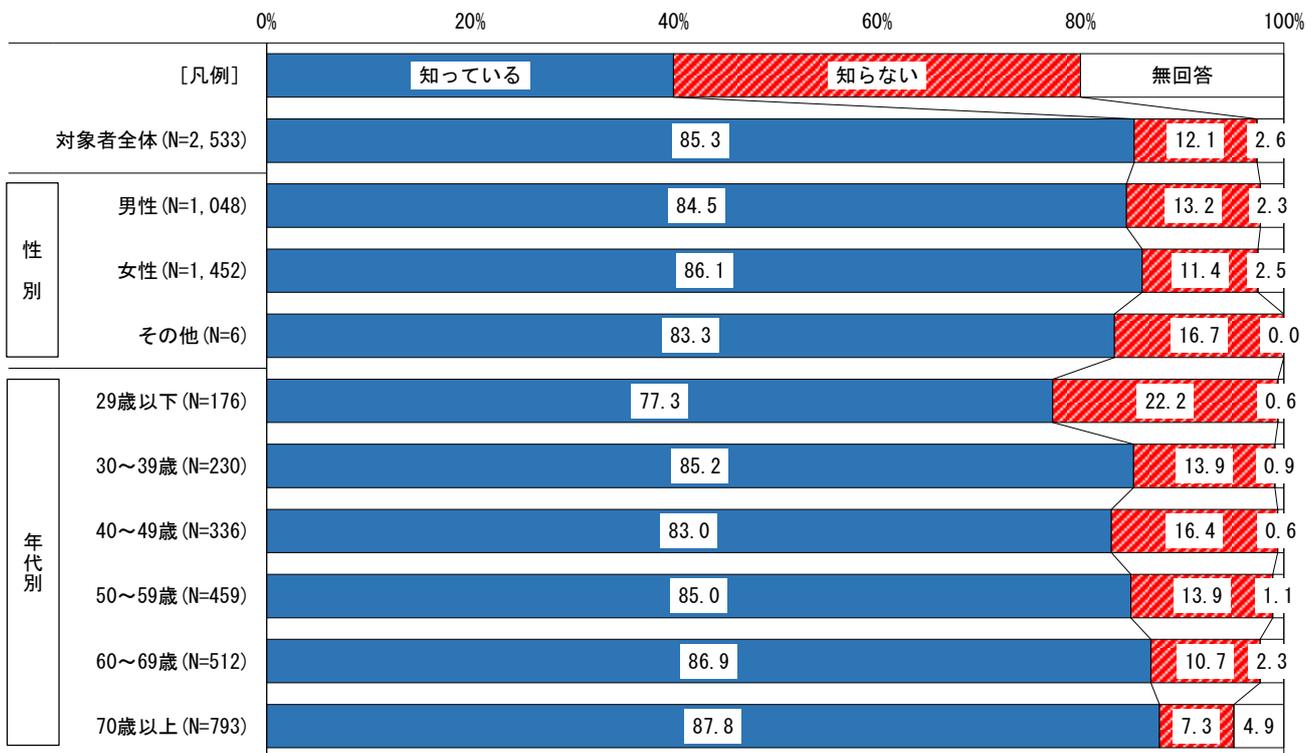
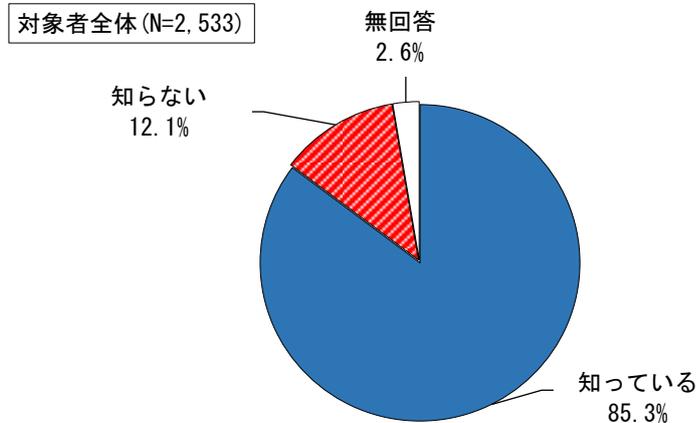
【年代別】「知っている」は70歳以上（80.7%）で最も高く、最も低い29歳以下（62.5%）と比べると18.2ポイントの差となっている。

◇札幌市による道路の除排雪作業への認知度について

問19 あなたは、以下の札幌市による道路の除排雪作業について知っていますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ○をつけてください。

イ 札幌市の新雪除雪の作業が、深夜から通勤・通学までの限られていた時間に行われていること

新雪除雪の作業が深夜から通勤・通学までの時間に行われていることを「知っている」人は85.3%



【全体】新雪除雪の作業が深夜から通勤・通学までの時間に行われていることは、「知っている」が85.3%、「知らない」が12.1%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

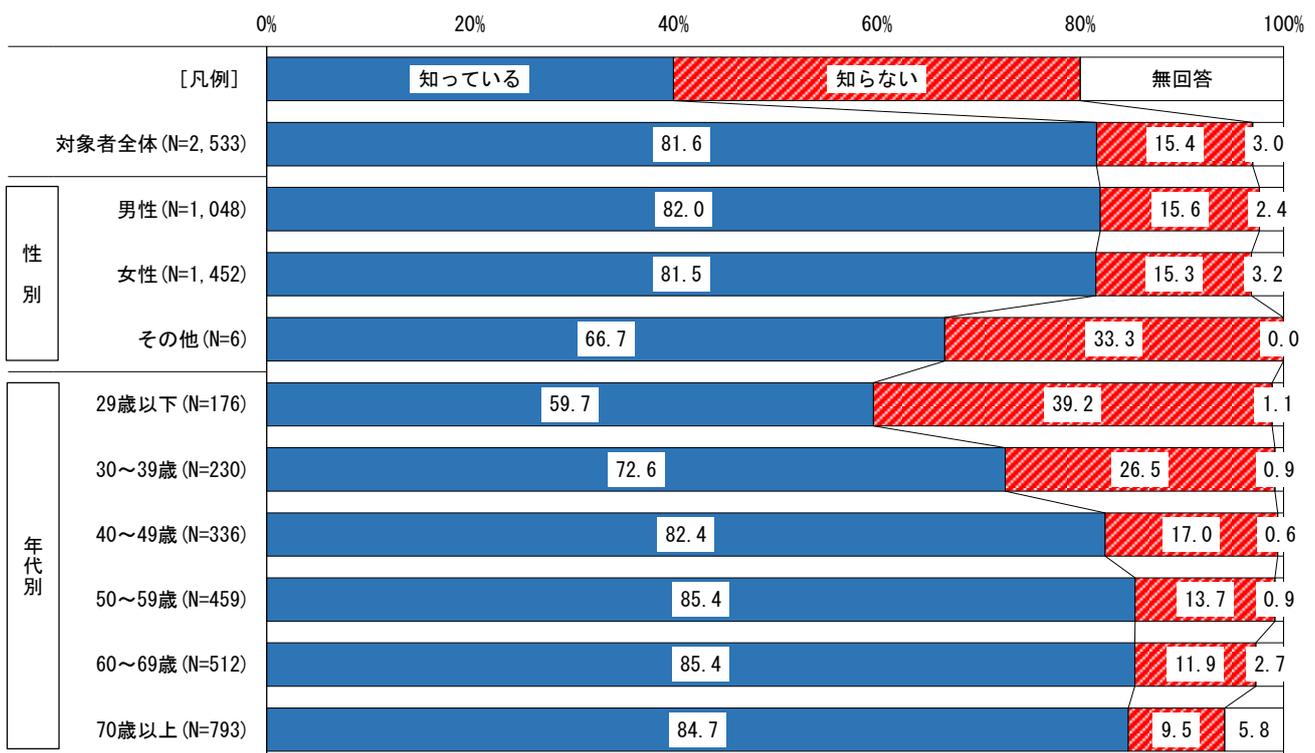
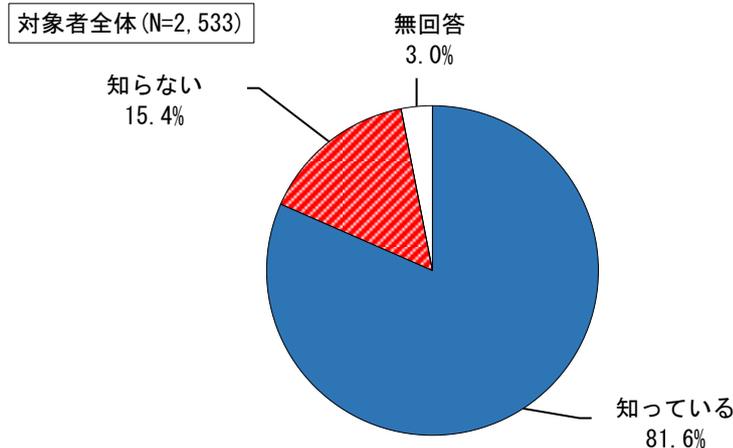
【年代別】「知っている」が70歳以上(87.8%)で最も高く、次いで60歳代(86.9%)、30歳代(85.2%)となっている。

◇札幌市による道路の除排雪作業への認知度について

問19 あなたは、以下の札幌市による道路の除排雪作業について知っていますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ〇をつけてください。

ウ 札幌市の新雪除雪により、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理は各世帯に行っていたいでいること

新雪除雪により自宅の玄関前や車庫前に寄せられた雪の処理は各世帯が行うことを「知っている」人は81.6%



【全 体】新雪除雪により自宅の玄関前や車庫前に寄せられた雪の処理は各世帯が行うことは、「知っている」が81.6%、「知らない」が15.4%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

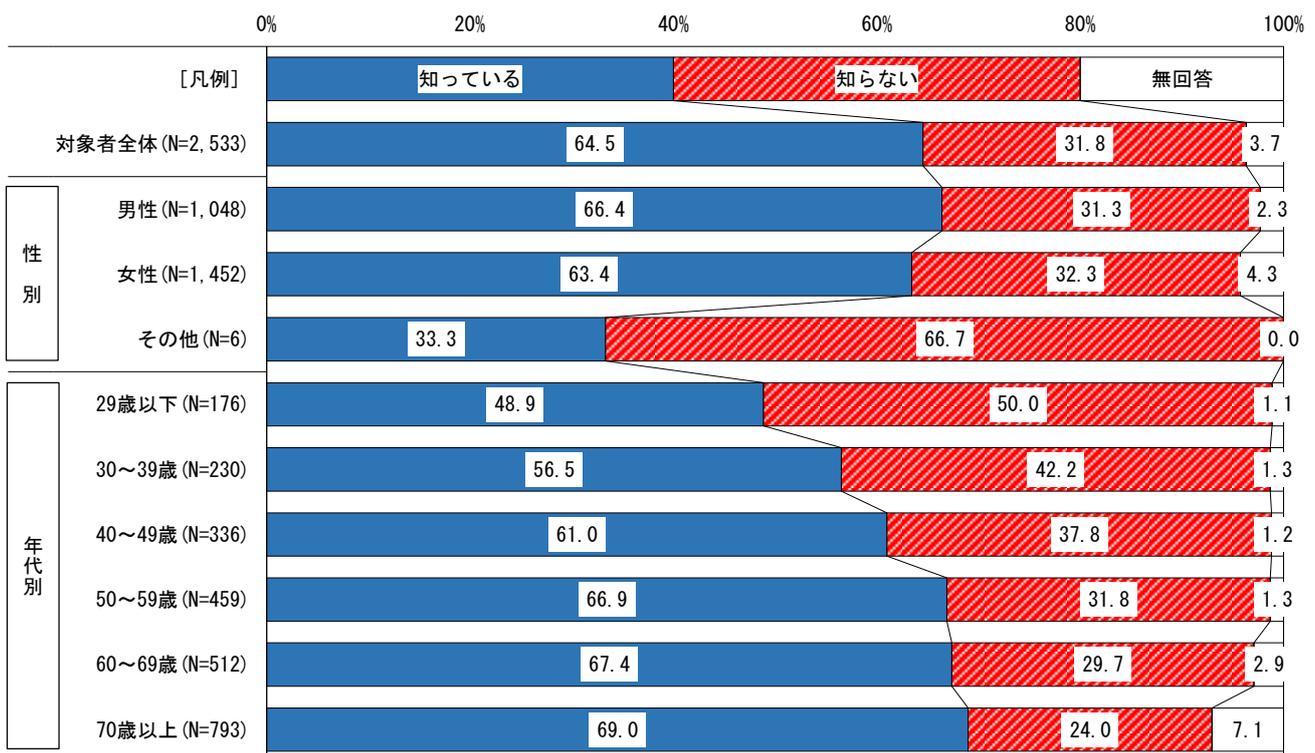
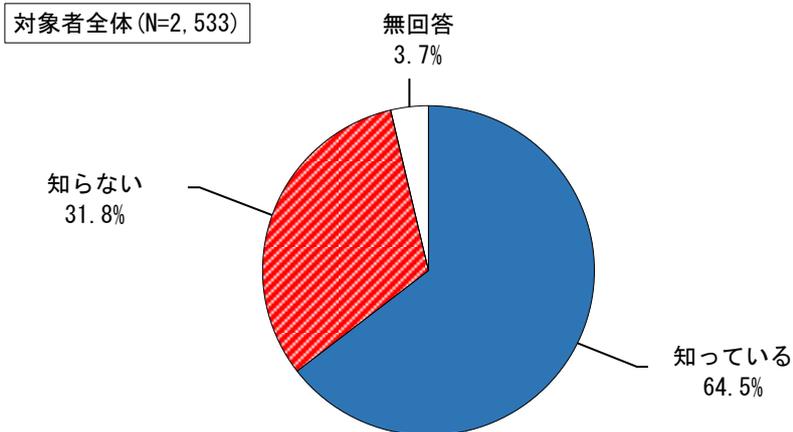
【年代別】「知らない」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌市による道路の除排雪作業への認知度について

問19 あなたは、以下の札幌市による道路の除排雪作業について知っていますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に1つずつ〇をつけてください。

エ 札幌市の排雪は、バス通りのなどの幹線道路と一部の通学路のみを対象とし、住宅街の生活道路では行っていないこと

排雪は幹線道路と一部の通学路のみで、住宅街の生活道路では行っていないことを「知っている」人は64.5%



【全体】排雪は幹線道路と一部の通学路のみで、住宅街の生活道路では行っていないことは、「知っている」が64.5%、「知らない」が31.8%となっている。

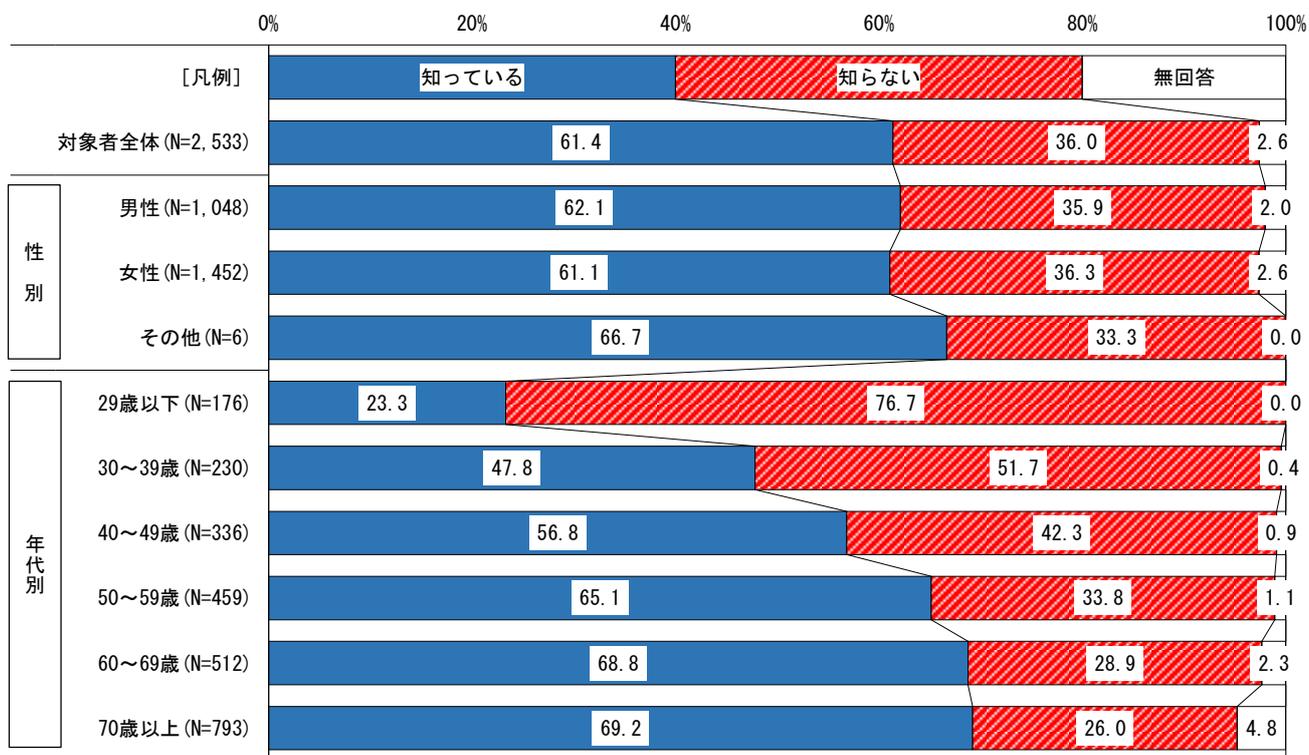
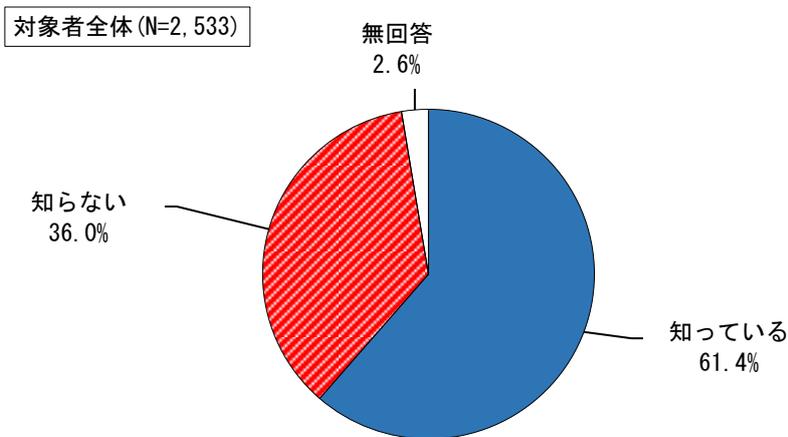
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知っている」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。「知らない」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇排雪支援制度の認知度

問20 あなたは、地域等の団体が生活道路の排雪を希望する場合、「パートナーシップ排雪」や「市民助成トラック」の排雪支援制度が利用できることを知っていますか。

排雪支援制度の認知度は、「知っている」人が61.4%



【全 体】排雪支援制度の認知度は、「知っている」が61.4%、「知らない」が36.0%となっている。

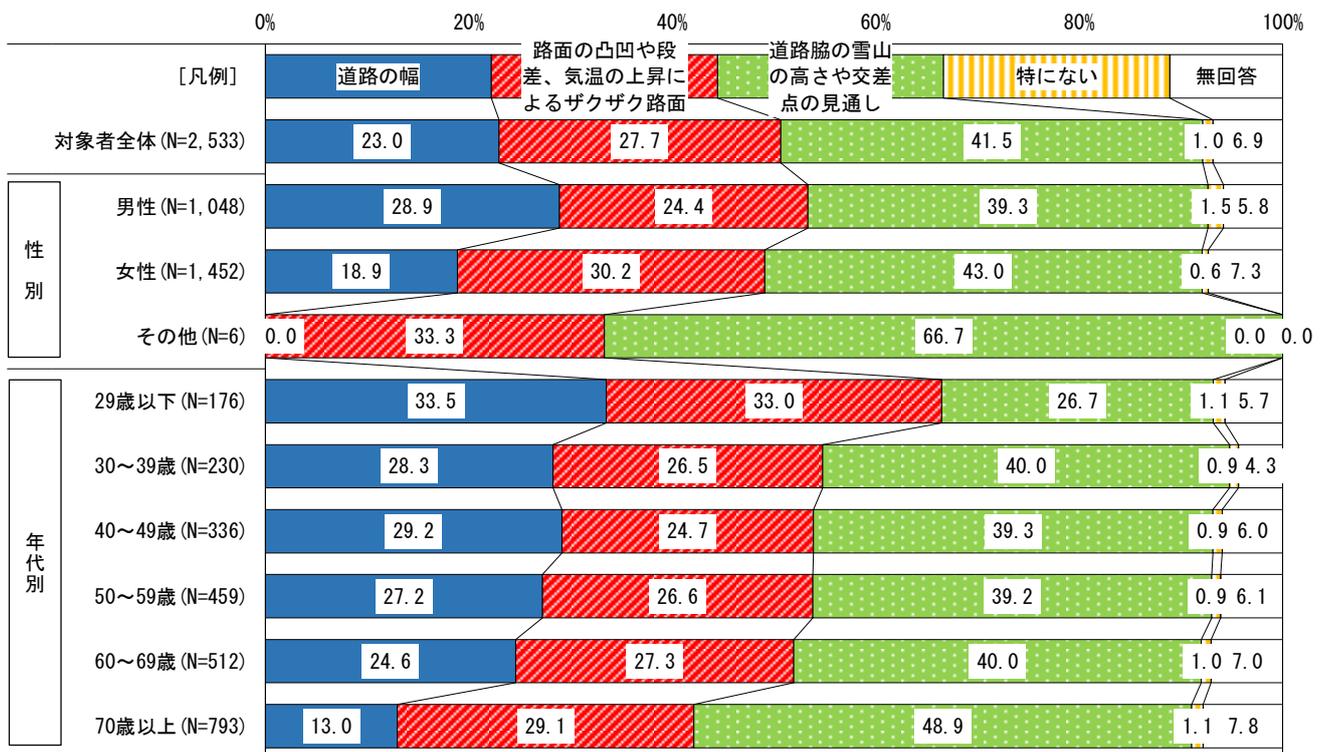
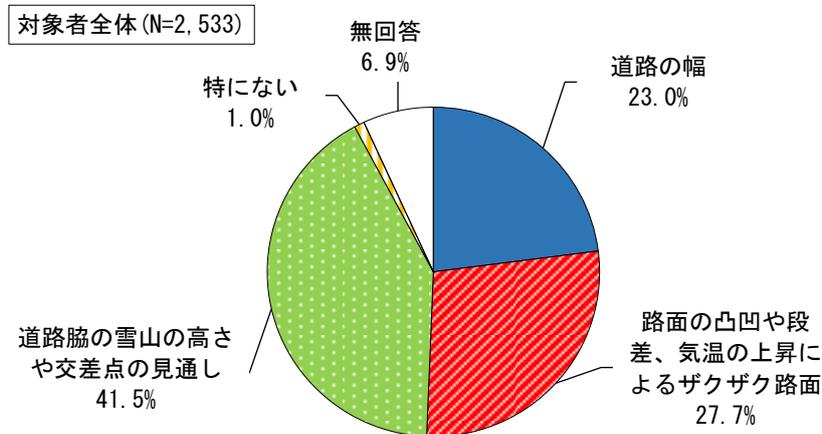
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知っている」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。「知らない」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点

問21 冬期間の生活道路の状況をより良くするために、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点は、「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し」と回答した人が41.5%



【全体】冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点は、「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し」が41.5%、「路面の凸凹や段差、気温の上昇によるザクザク路面」が27.7%、「道路の幅」が23.0%となっている。

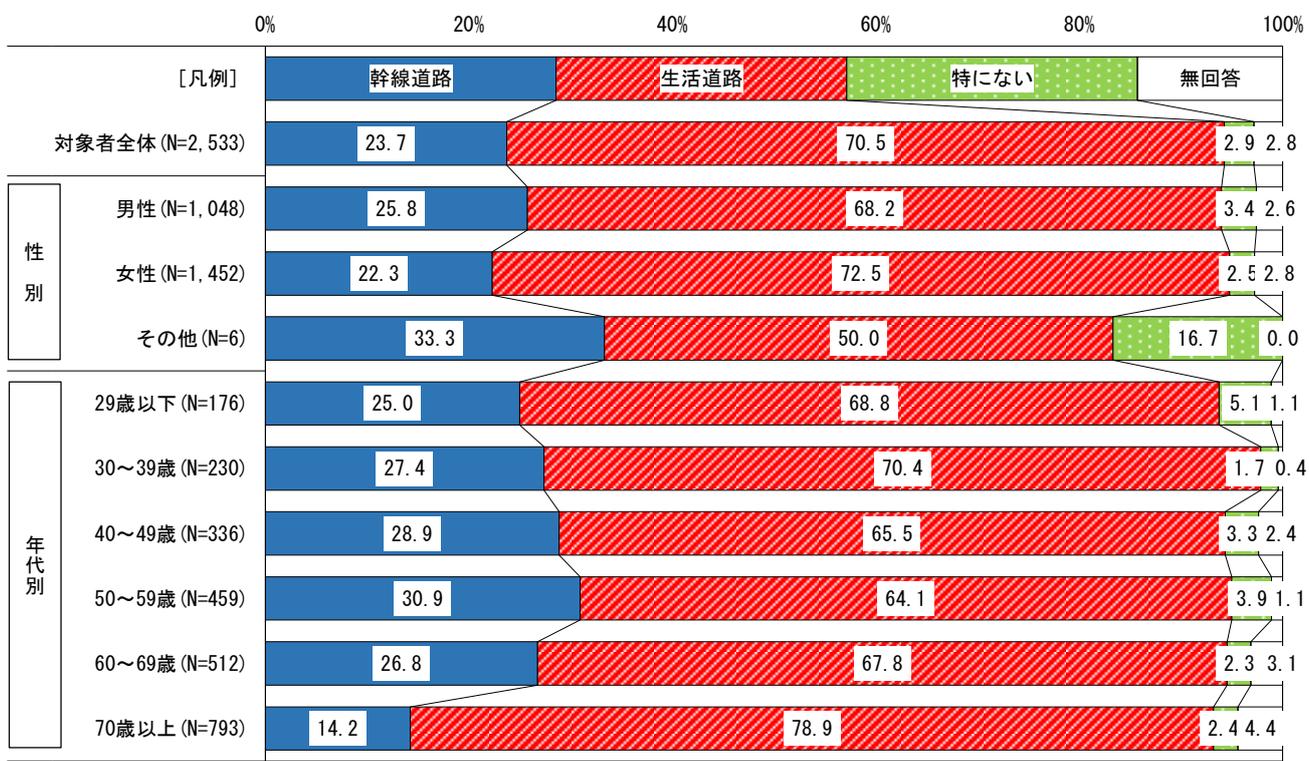
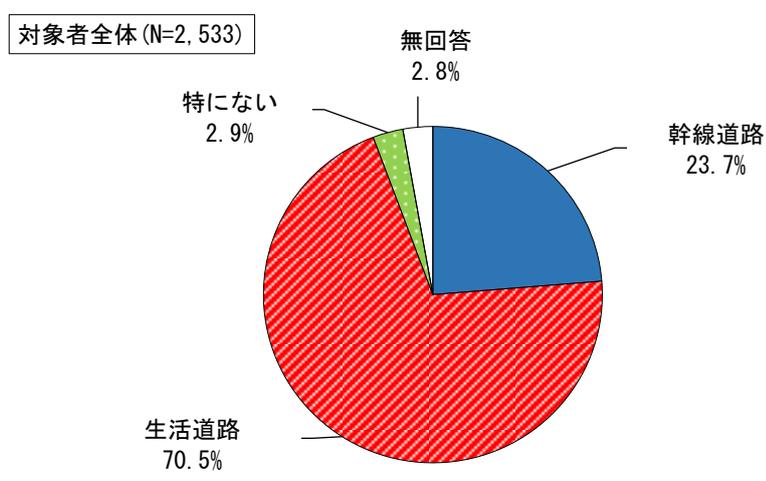
【性別】「道路の幅」は、男性が28.9%と、女性の18.9%より10.0ポイント高くなっている。また、「路面の凸凹や段差、気温の上昇によるザクザク路面」は女性が30.2%と、男性の24.4%より5.8ポイント高くなっている。

【年代別】「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し」は70歳以上(48.9%)で最も高く、最も低い29歳以下(26.7%)と比べると22.2ポイントの差となっている。

◇今後除排雪に力を入れてほしい道路

問22 あなたが、今後特に除排雪に力を入れてほしいと思う道路はどこですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

今後除排雪に力を入れて欲しい道路は、「生活道路」が70.5%



【全体】 今後除排雪に力を入れてほしい道路は、「生活道路」が70.5%、「幹線道路」が23.7%となっている。

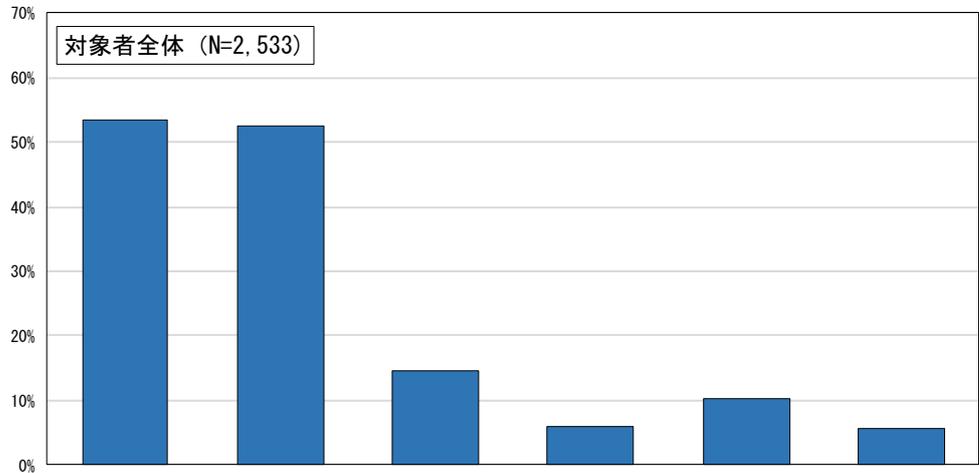
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「生活道路」が70歳以上(78.9%)で最も高く、次いで30歳代(70.4%)、29歳以下(68.8%)となっている。

◇大雪時や大雪が想定される時の行動

問23 あなたは、警報発令などの大雪時や大雪が想定されるときにどのような行動をとっていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

大雪時や大雪が想定される時の行動は、「通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている」人が53.5%



対象者数		通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている (%)	不要不急の車による外出を控えている (%)	通勤通学時に、移動手段を変更している (%)	時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務形態や授業形態を変更している (%)	特に普段と違う行動をとっていない (%)	無回答 (%)	
対象者全体		2,533	53.5	52.6	14.6	6.1	10.3	5.6
性別	男性	1,048	53.9	48.9	15.4	9.0	11.9	5.1
	女性	1,452	53.4	55.5	14.1	3.9	9.2	5.6
	その他	6	83.3	33.3	16.7	-	-	-
年代別	29歳以下	176	68.2	26.1	23.3	10.2	13.1	2.8
	30～39歳	230	76.1	42.6	24.3	8.3	8.3	1.3
	40～49歳	336	74.1	44.6	18.2	8.0	7.4	1.2
	50～59歳	459	73.0	46.4	18.1	8.5	6.5	1.7
	60～69歳	512	54.5	59.6	16.2	6.4	8.6	4.1
	70歳以上	793	23.7	64.1	5.4	1.9	14.9	11.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】大雪時や大雪が想定される時の行動は、「通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている」が53.5%、「不要不急の車による外出を控えている」が52.6%、「通勤通学時に、移動手段を変更している」が14.6%となっている。

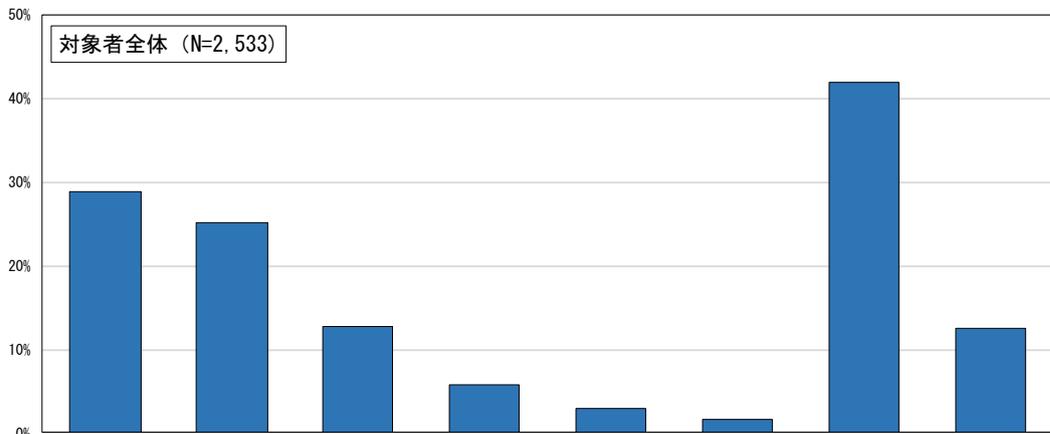
【性別】「時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務形態や授業形態を変更している」は、男性が9.0%と、女性の3.9%より5.1ポイント高くなっている。また、「不要不急の車による外出を控えている」は女性が55.5%と、男性の48.9%より6.6ポイント高くなっている。

【年代別】29歳以下、30歳代、40歳代、50歳代では「通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている」が、60歳代、70歳以上では「不要不急の車による外出を控えている」が最も高くなっている。

◇取り組んだことのある除雪ボランティア

問24 札幌市では、市民の皆さまに『除雪ボランティア』への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに取り組んだことがある除雪ボランティアについて、あてはまるものいくつでも○をつけてください。

取り組んだことのある除雪ボランティアは、「転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく」と回答した人が30.0%



対象者数		面転り止めの砂袋やペットボトルで滑る	路倒防止のため、つるつる路面に砂をまく	り止めの砂をまく	ごみステーション周りの除雪をする	近所で困っている人の除雪を自発的に手伝える	消火栓周りの除雪を行う	雪どけ後に、雪置き場として公園の回収を行う	福祉高齢者宅等の玄関前に除雪を行う	除雪ボランティアに取組まない	無回答
対象者数		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
対象者全体		2,533	28.8	25.1	12.6	5.8	2.9	1.6	41.9	12.5	
性別	男性	1,048	30.6	27.1	15.6	7.6	3.7	2.3	40.7	10.8	
	女性	1,452	27.4	23.6	10.4	4.3	2.3	1.2	43.0	13.4	
	その他	6	33.3	16.7	33.3	16.7	-	-	33.3	16.7	
年代別	29歳以下	176	21.0	13.1	13.6	3.4	1.7	2.3	61.4	1.1	
	30～39歳	230	31.7	19.6	13.0	3.5	0.9	0.4	50.4	1.7	
	40～49歳	336	28.9	22.3	14.0	5.4	2.1	1.2	50.0	3.6	
	50～59歳	459	31.8	26.4	11.3	6.3	2.8	0.9	45.3	4.4	
	60～69歳	512	30.7	27.3	14.8	5.1	2.5	2.1	43.4	10.5	
	70歳以上	793	26.7	28.2	11.2	7.3	4.3	2.1	29.3	27.2	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】取り組んだことのある除雪ボランティアは、「転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく」が28.8%、「ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする」が25.1%、「近所で困っている人の除雪を自発的に手伝える」が12.6%となっている。

【性別】「近所で困っている人の除雪を自発的に手伝える」は、男性が15.6%と、女性の10.4%より5.2ポイント高くなっている。

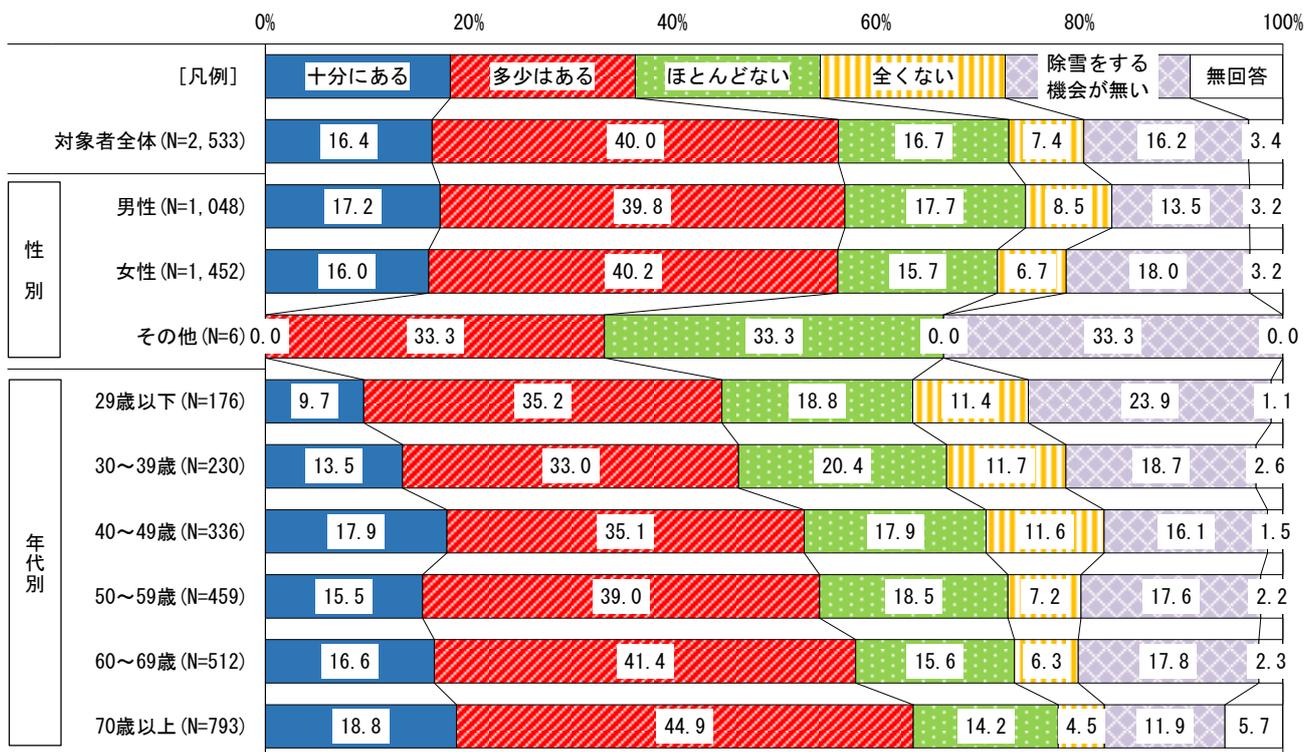
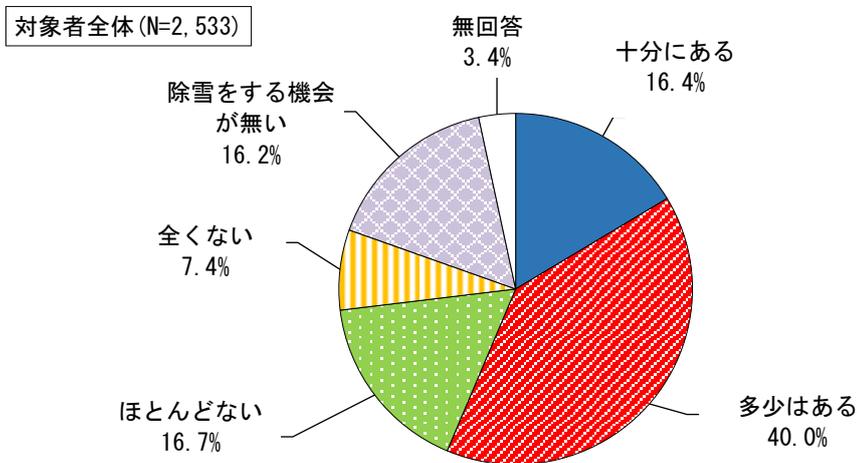
【年代別】「ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇自宅敷地内の雪置き場の有無

問25 あなたの自宅敷地内に、敷地内の雪を処理するための雪置き場はありますか。あてはまるものに1だけ○をつけてください。

自宅敷地内に雪置き場は、“ある”人が56.3%

“ある” = (「十分にある」 + 「多少はある」)



【全体】自宅敷地内の雪置き場の有無は、「十分にある」が16.4%、「多少はある」が40.0%、合わせると56.3%となっている。一方で、「ほとんどない」が16.7%、「全くない」が7.4%、合わせると24.1%となっている。

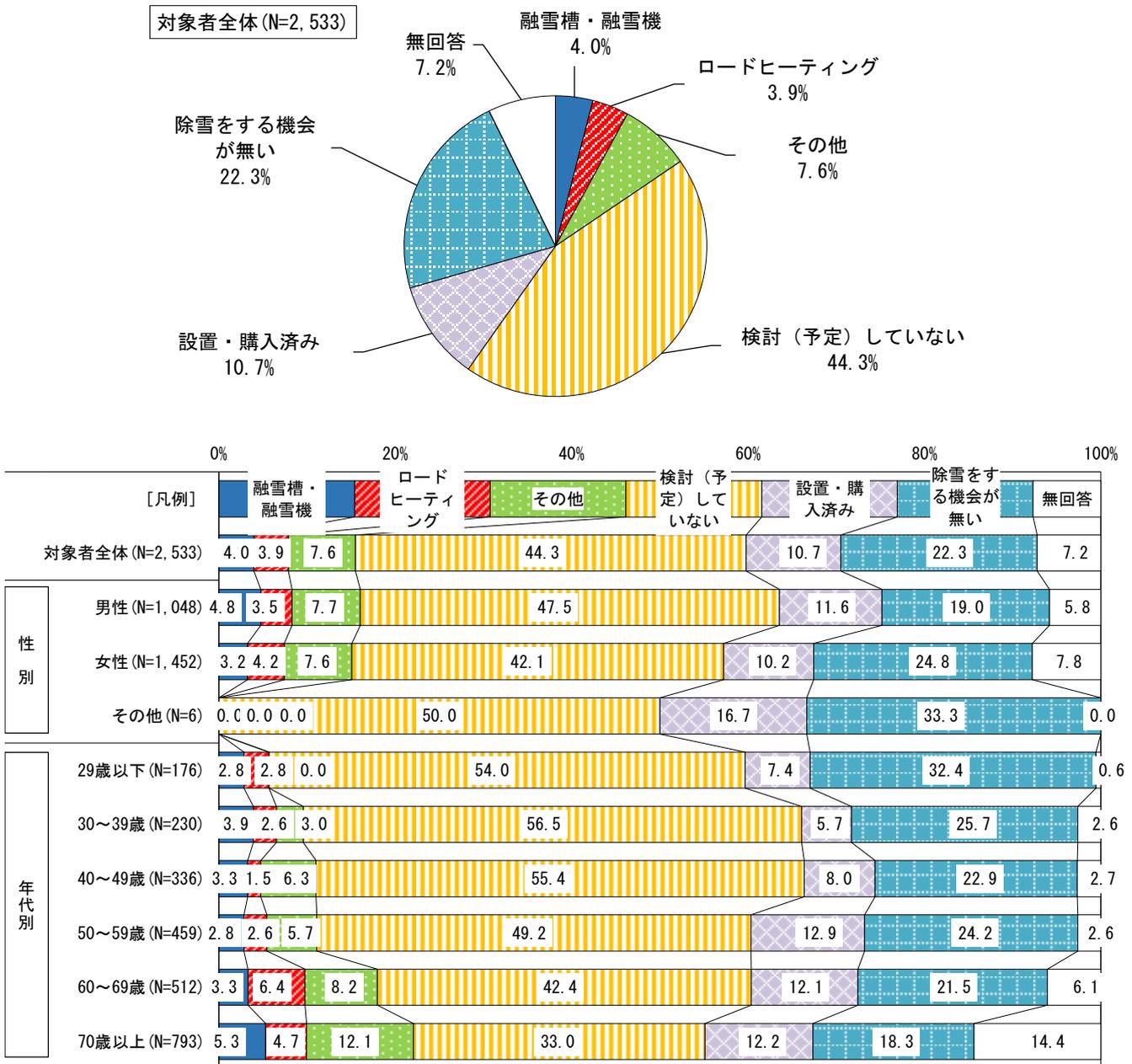
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「多少はある」が70歳以上(44.9%)で最も高く、次いで60歳代(41.4%)、50歳代(39.0%)となっている。

◇雪の処理のために設置・購入を検討している設備

問26 あなたは、冬期間に玄関等に堆積する雪を処理するため、以下について設置・購入を検討(予定)していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

雪の処理のために設置・購入を検討している設備は、「融雪槽・融雪機」が4.0%



【全体】雪の処理のために設置・購入を検討している設備は、「融雪槽・融雪機」が4.0%、「ロードヒーティング」が3.9%、「設置・購入済み」が10.7%となっている。

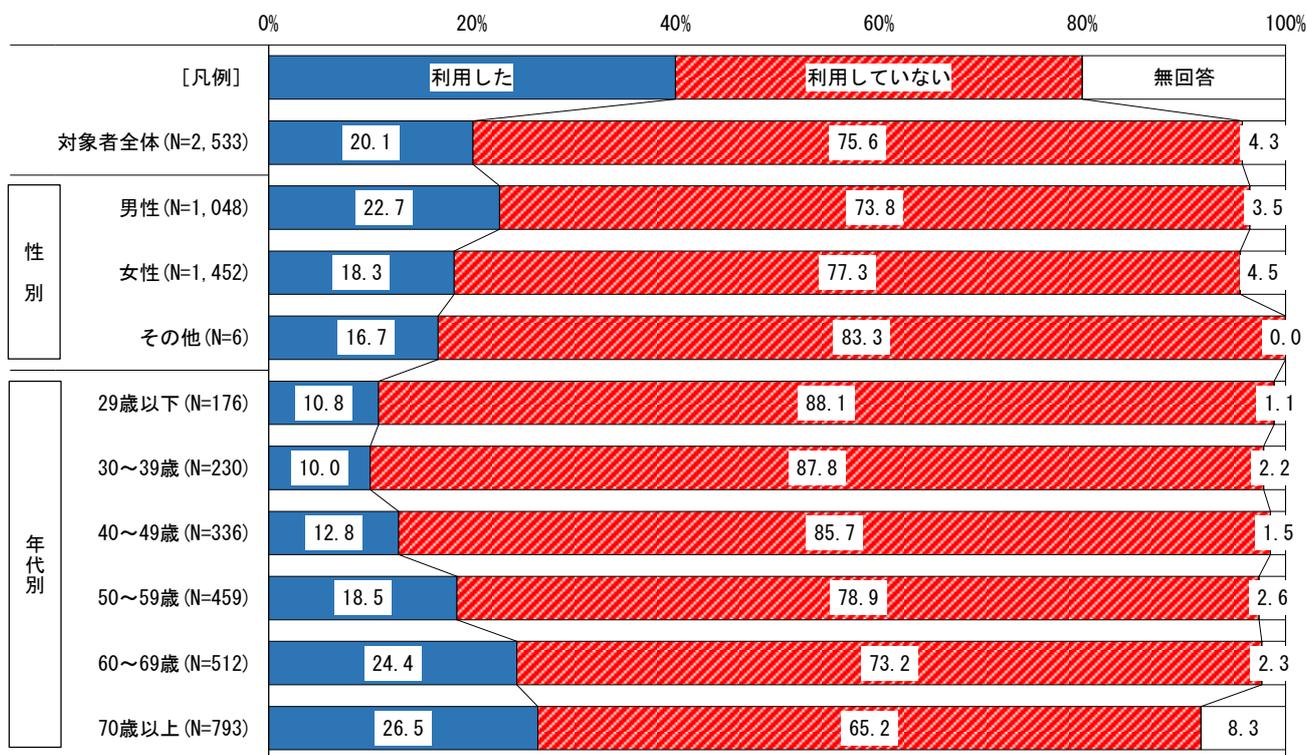
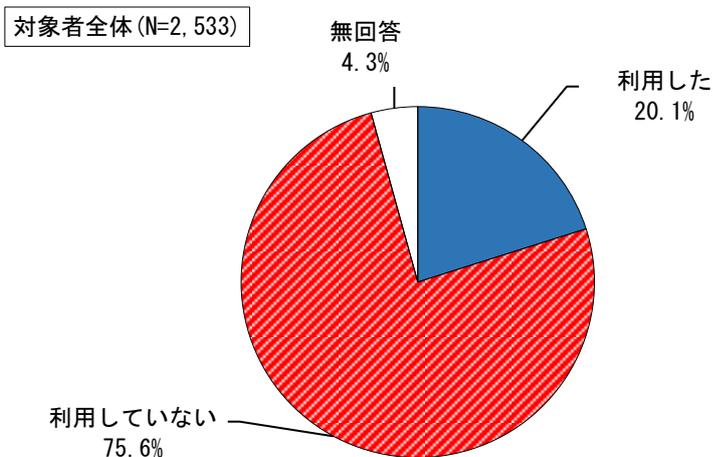
【性別】「検討(予定)していない」は、男性が47.5%と、女性の42.1%より5.4ポイント高くなっている。また、「除雪をする機会が無い」は女性が24.8%と、男性の19.0%より5.8%高くなっている。

【年代別】「融雪槽・融雪機」が70歳以上(5.3%)で最も高く、次いで30歳代(3.9%)、40歳代(3.3%)、60歳代(3.3%)となっている。

◇有料除排雪サービス利用の有無

問27 あなたは、昨年度の冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス（福祉除雪を除く）を利用しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

有料除排雪サービス利用の有無は、「利用した」人が20.1%



【全 体】有料除排雪サービス利用の有無は、「利用していない」が75.6%、「利用した」が20.1%となっている。

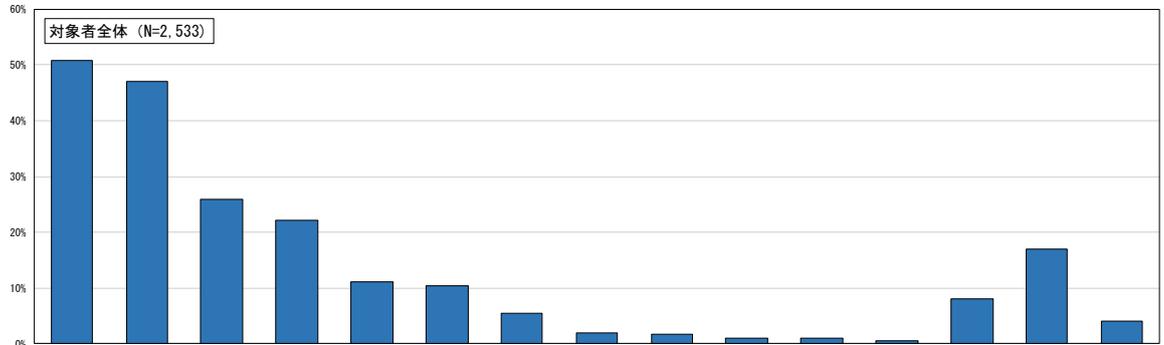
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「利用した」が70歳以上（26.5%）で最も高く、最も低い30歳代（10.0%）と比べると16.5ポイントの差となっている。

◇冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体

問28 昨年度、冬の暮らしに関する情報（札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪の出動情報など）を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあるものにいくつでも○をつけてください。

冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体は、「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」が50.8%



対象者数	冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）	テレビのニュース番組、情報番組	テレビのデータ放送（HTB、NHK、HBC、UHB）	新聞	テレビCM	札幌市公式ホームページ（冬の暮らし・除雪）	札幌市公式SNS（LINE）	空港到着口	デジタルサイネージ（チカホ、各区役所、ポラリス、SUSUKINO、新千歳）	札幌市の広報番組（じゆんきのさっぽろ世間話）	札幌市公式YouTube動画（「とも」に支え合おう。さっぽろの雪対策。）」	YouTube広告	札幌市のイベント（ジモトのシゴトワク! W O R K ! ミニさっぽろ、建設発表ふれあい展、冬と暮らしはなし発表会）	札幌市の広報番組（「とも」に支え合おう。さっぽろの雪対策。）」	その他刊行物（「啓発チラシ、パンフレット、ポスター、さっぽろ雪の絵本」など）	見たことがない	無回答
対象者全体 (N=2,533)	50.8	47.0	25.9	22.1	11.1	10.4	5.4	2.0	1.8	1.7	1.0	0.9	0.6	0.6	8.1	17.1	4.1
性別																	
男性	45.0	45.3	28.5	22.8	12.2	13.3	5.5	1.8	2.2	2.2	1.5	1.4	1.0	1.0	9.1	19.7	3.1
女性	55.4	48.7	24.3	21.8	10.4	8.6	5.4	2.1	1.4	1.4	0.7	0.6	0.4	7.4	15.1	4.5	
その他	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	16.7	-	-	-	33.3	-
年代別																	
29歳以下	17.0	25.0	21.6	6.3	10.2	9.7	5.7	3.4	1.1	1.1	-	1.1	0.6	3.4	43.8	1.7	
30～39歳	32.2	30.9	17.8	3.5	12.2	8.3	7.8	2.2	-	0.9	1.7	0.9	0.9	7.0	35.2	2.2	
40～49歳	44.9	32.4	20.8	8.0	11.0	10.7	9.2	3.3	0.9	0.6	1.2	1.2	0.6	4.2	23.2	2.4	
50～59歳	51.4	39.0	24.8	14.6	12.9	8.9	9.6	1.7	1.3	0.4	1.5	0.7	0.7	5.9	20.0	2.4	
60～69歳	56.8	53.1	28.9	24.0	12.3	11.5	4.1	2.5	1.0	1.0	0.6	-	-	7.6	11.3	2.7	
70歳以上	62.7	64.1	30.5	40.0	9.2	11.6	1.8	0.8	3.5	1.9	0.5	1.3	1.3	12.7	5.2	7.3	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体は、「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」が50.8%、「テレビのニュース番組、情報番組」が47.0%、「テレビのデータ放送（HTB、NHK、HBC、UHB）」が25.9%となっている。

【性別】「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」は、女性が55.4%と、男性の45.0%より10.4ポイント高くなっている。

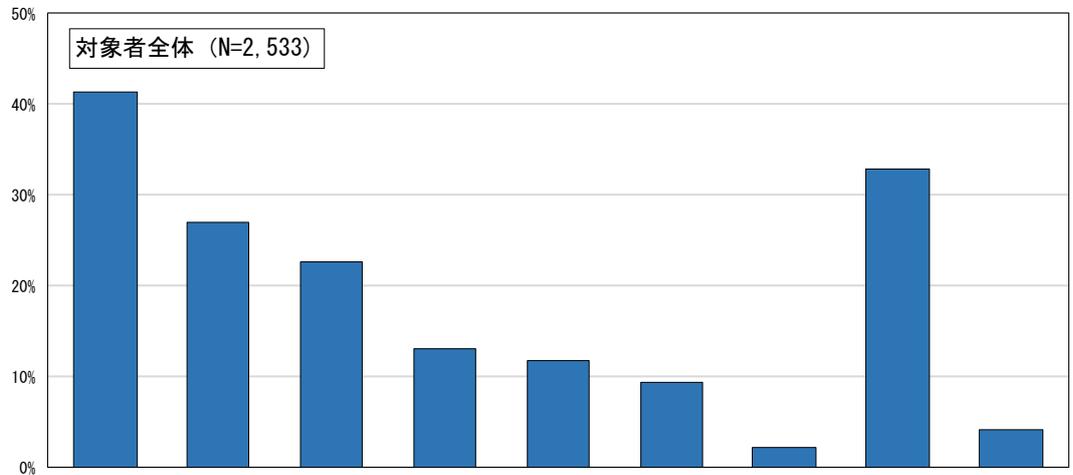
【年代別】「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」、「テレビのニュース番組、情報番組」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

(5)豊平川緑地幌平橋エリアの利活用について

◇公園をどのような時に利用するか

問29 あなたは、公園をどのような時に利用しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

公園をどのような時に利用するかは、「散歩やジョギングなど」が41.3%



対象者数 (%)		散歩やジョギングなど	休憩スペースとして	自然観察など自然と親しむ行為	遊具または広場を使った遊び	イベントへの参加	ピクニックやランチなど	その他	利用することはない	無回答	
対象者全体		2,533	41.3	26.9	22.6	13.0	11.8	9.4	2.1	32.8	4.1
性別	男性	1,048	43.8	29.2	22.3	12.3	10.8	7.6	2.2	30.6	3.4
	女性	1,452	39.8	25.6	23.1	13.2	12.6	10.6	2.1	34.6	4.1
	その他	6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-	33.3	-
年代別	29歳以下	176	39.2	30.1	20.5	18.2	12.5	17.0	1.1	31.8	1.1
	30～39歳	230	38.7	30.9	29.1	41.3	14.8	26.5	3.0	18.3	2.6
	40～49歳	336	38.7	26.8	19.9	24.4	13.7	12.2	2.1	31.0	1.8
	50～59歳	459	44.4	27.9	23.3	8.9	13.1	9.6	2.2	33.6	2.2
	60～69歳	512	40.8	25.0	21.1	9.0	9.2	6.6	2.1	36.3	2.9
	70歳以上	793	42.5	26.5	23.5	3.7	11.2	3.2	2.0	35.6	7.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】公園をどのような時に利用するかは、「散歩やジョギングなど」が41.3%、「休憩スペースとして」が26.9%、「自然観察などの自然と親しむ行為」が22.6%となっている。

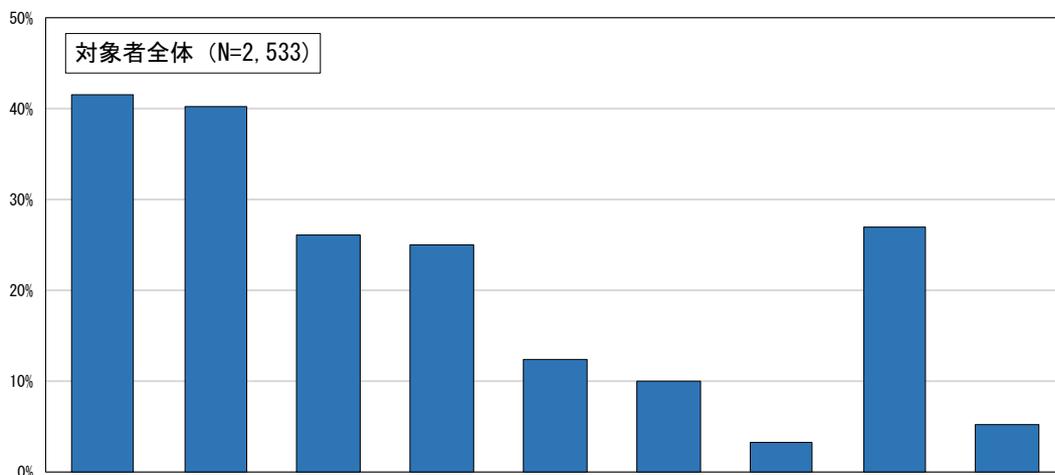
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】29歳以下、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「散歩やジョギングなど」が、30歳代では「遊具または広場を使った遊び」が最も高くなっている。

◇豊平川緑地に対して求める機能

問30 あなたが河川敷の公園である豊平川緑地に対して、求める機能はどのようなものですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

豊平川緑地に対して求める機能は、「静かで休憩ができる空間」と回答した人が41.7%



対象者数		静かで休憩ができる空間	憩いの空間	川と親しむ空間	運動ができる空間	地域住民の交流が生まれる空間	にぎわいのある空間	その他	求める機能はない・わからない	無回答	
(%)											
対象者全体		2,533	41.7	40.2	26.1	25.0	12.4	9.9	3.3	26.9	5.1
性別	男性	1,048	42.6	39.5	30.2	29.2	14.4	10.8	3.4	26.1	4.1
	女性	1,452	41.4	41.1	23.3	22.2	11.0	9.2	3.3	27.2	5.6
	その他	6	50.0	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-	33.3	-
年代別	29歳以下	176	39.8	34.1	24.4	27.3	11.4	14.2	2.8	30.7	1.7
	30～39歳	230	34.8	37.0	26.5	29.1	12.2	16.5	4.3	28.3	2.6
	40～49歳	336	34.8	37.2	26.8	31.3	12.2	13.4	5.7	26.2	2.1
	50～59歳	459	44.9	47.3	28.5	25.9	10.7	12.4	2.8	25.5	2.8
	60～69歳	512	48.0	42.8	25.6	24.4	10.5	7.4	2.9	26.0	4.1
	70歳以上	793	41.5	38.7	25.2	20.9	14.9	5.9	2.8	27.1	9.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】豊平川緑地に対して求める機能は、「静かで休憩ができる空間」が41.7%、「憩いの空間」が40.2%、「川と親しむ空間」が26.1%となっている。

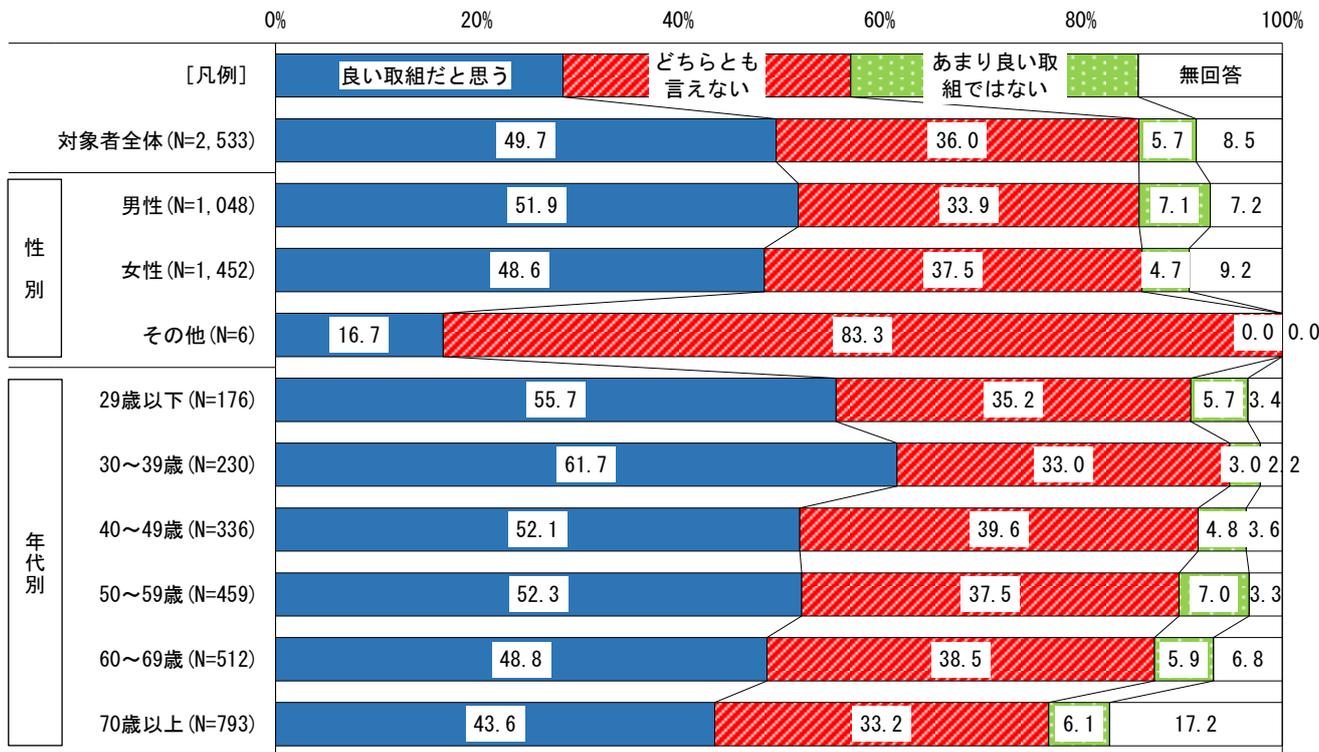
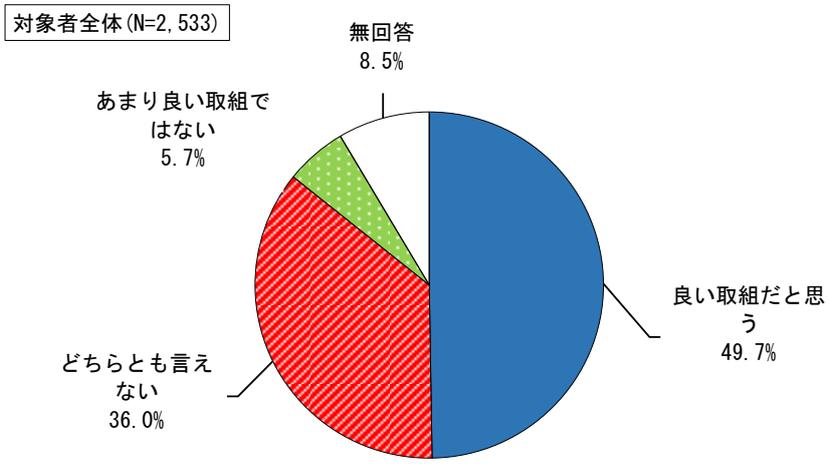
【性別】「川と親しむ空間」、「運動ができる空間」は、男性が女性より6.9ポイント以上高くなっている。

【年代別】29歳以下、60歳代、70歳以上では「静かで休憩ができる空間」が、30歳代、40歳代、50歳代では「憩いの空間」が最も高くなっている。

◇豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりに関する取組をどう思うか

問31 あなたは、豊平川緑地の幌平橋エリアについて、特区の指定を受け、河川空間のにぎわいづくりを行う取組をどのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりに関する取組は、「良い取組だと思う」人が49.7%



【全体】豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりに関する取組をどう思うかは、「良い取組だと思う」が49.7%、「どちらとも言えない」が36.0%、「あまり良い取組ではない」が5.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

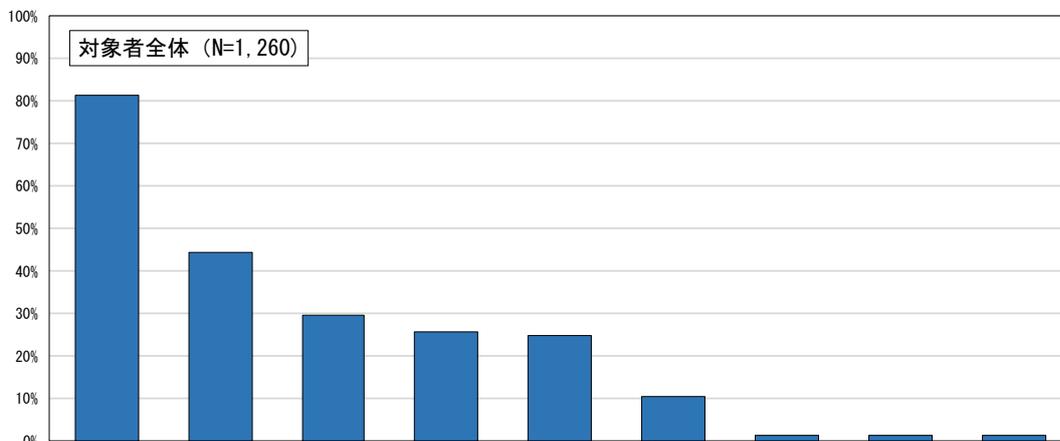
【年代別】「良い取組だと思う」が30歳代(61.7%)で最も高く、次いで29歳以下(55.7%)、50歳代(52.3%)となっている。

◇豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組を良いと思う理由

「問31で「1 良い取組だ」と答えた方にお聞きします。」

問31-1 あなたが「良い取組だ」と答えた理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組を良いと思う理由は、「自然と親しむことができる空間が整備されてほしい」と回答した人が81.2%



対象者数 (%)		自然と親しむことができる空間が整備されてほしい	市民の交流の場として発展してほしい	イベントを実施してほしい	飲食物の提供など小規模な利便提供がされる場になってほしい	多様な企業や人々に豊平川緑地をもっと活用してほしい	観光客が訪れる場になってほしい	その他	わからない	無回答
対象者全体		1,260	81.2	44.5	29.5	25.6	24.8	10.5	1.4	1.0
性別	男性	544	78.9	43.2	33.3	31.6	27.9	14.9	0.9	0.9
	女性	705	83.3	45.5	26.4	20.7	22.0	7.2	1.8	1.1
	その他	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-
年代別	29歳以下	98	69.4	28.6	31.6	33.7	17.3	15.3	1.0	3.1
	30~39歳	142	75.4	38.0	43.7	29.6	31.7	11.3	2.8	1.4
	40~49歳	175	77.7	33.7	41.7	35.4	25.1	6.9	0.6	0.6
	50~59歳	240	80.4	40.8	31.3	28.3	28.3	13.8	2.1	0.4
	60~69歳	250	82.8	42.8	24.4	20.4	23.6	11.6	0.8	1.6
	70歳以上	346	88.4	61.3	19.4	18.2	22.0	7.5	1.4	0.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組を良いと思う理由については、「自然と親しむことができる空間が整備されてほしい」が81.2%、「市民の交流の場として発展してほしい」が44.5%、「イベントを実施してほしい」が29.5%となっている。

【性別】「イベントを実施してほしい」、「飲食物の提供など小規模な利便提供がされる場になってほしい」、「多様な企業や人々に豊平川緑地をもっと活用してほしい」、「観光客が訪れる場になってほしい」は、男性が女性より5.9ポイント以上高くなっている。

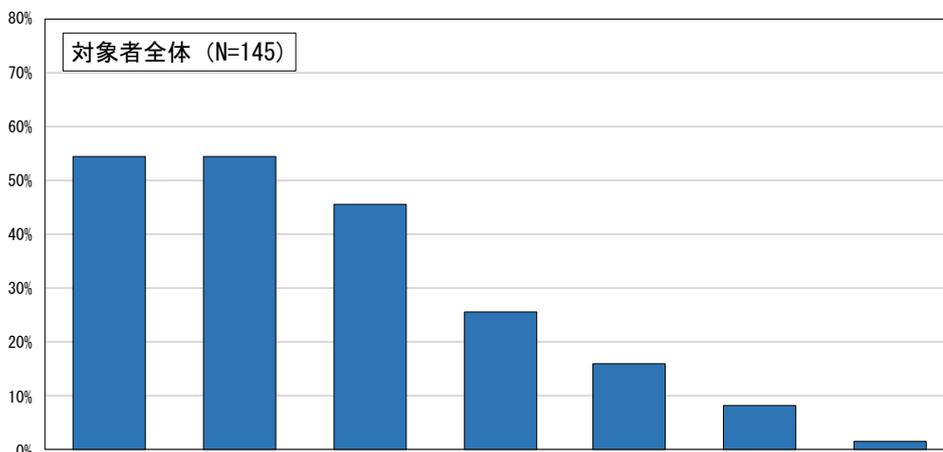
【年代別】「自然と親しむことができる空間が整備されてほしい」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組をあまり良くないと思う理由

≪問31で「3 あまり良い取組ではない」と答えた方にお聞きします。≫

問31-2 あなたが「あまり良い取組ではない」と答えた理由は何ですか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。

豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組をあまり良くないと思う理由は、「静かな空間が保たれてほしい」、「緑地が荒れる可能性がある」と回答した人が54.5%



		対象者数	静かな空間が保たれてほしい (%)	緑地が荒れる可能性がある (%)	事故等の恐れがある (%)	イベントを実施してほしい (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
対象者全体		145	54.5	54.5	45.5	25.5	15.9	8.3	1.4
性別	男性	74	54.1	44.6	50.0	27.0	20.3	10.8	1.4
	女性	68	54.4	66.2	42.6	23.5	11.8	4.4	1.5
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	10	20.0	70.0	30.0	10.0	20.0	-	10.0
	30～39歳	7	57.1	42.9	42.9	-	14.3	14.3	-
	40～49歳	16	50.0	62.5	68.8	43.8	25.0	12.5	-
	50～59歳	32	59.4	53.1	50.0	31.3	28.1	-	-
	60～69歳	30	50.0	50.0	36.7	30.0	13.3	6.7	-
	70歳以上	48	62.5	54.2	45.8	18.8	6.3	12.5	2.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】豊平川緑地の幌平橋エリアのにぎわいづくりを行う取組をあまり良くないと思う理由については、「静かな空間が保たれてほしい」、「緑地が荒れる可能性がある」が54.5%、「事故などの恐れがある」が45.5%となっている。

【性別】「事故などの恐れがある」は、男性が50.0%と、女性の42.6%より7.4ポイント高くなっている。また、「緑地が荒れる可能性がある」は、女性が66.2%と、男性の44.6%より21.6ポイント高くなっている。

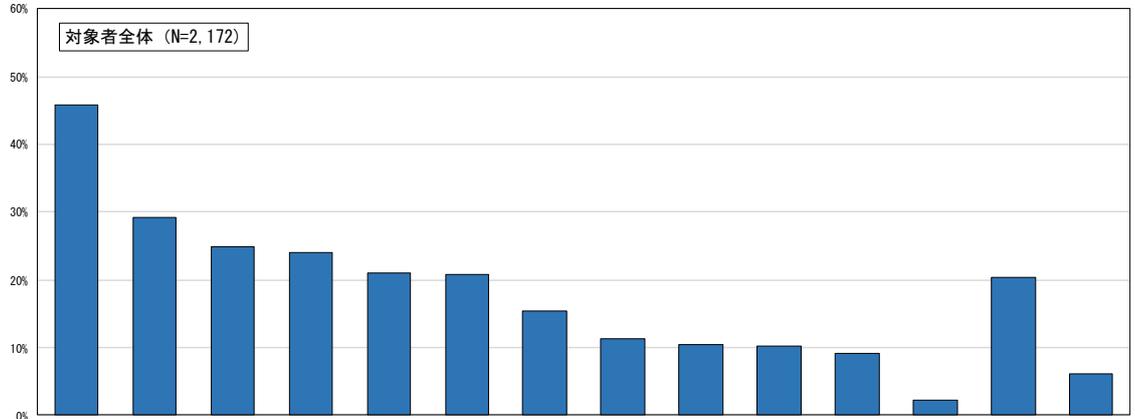
【年代別】「事故等の恐れがある」が40歳代(68.8%)で最も高く、最も低い29歳以下(30.0%)と比べると38.8ポイントの差となっている。

◇幌平橋エリアで希望する利活用方法

「問31で「1 良い取組だと思う」または「2 どちらともいえない」と答えた方にお聞きします。」

問32 あなたが幌平橋エリアで実施されることを希望する利活用方法は何か。あてはまるものにもいくつかも○をつけてください。

幌平橋エリアで希望する利活用方法は、「休憩エリアの設置」と回答した人が45.8%



		対象者数	休憩エリアの設置	地域のおまつり	川遊びのような環境学習	河川を使ったイベント	地元農産物の販売	子供向けのイベント	飲食物の販売	デイキャンプ等の体験型イベント	イベントなどの動物たちを対象とした	レンタサイクル	観光客も楽しめるイベント	その他	わからない	無回答
		(%)														
対象者全体		2,172	45.8	29.3	24.9	24.0	21.1	20.8	15.5	11.2	10.4	10.3	9.2	2.2	20.5	6.1
性別	男性	899	45.9	32.5	26.6	27.9	19.4	20.5	19.8	11.0	9.8	10.0	11.7	2.4	18.7	6.1
	女性	1,250	46.0	27.2	23.7	21.1	22.3	21.0	12.2	11.2	10.9	10.5	7.5	2.0	21.8	5.8
	その他	6	16.7	-	33.3	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	33.3	-
年代別	29歳以下	160	45.6	36.3	19.4	19.4	11.9	18.1	28.1	6.9	11.3	8.1	10.0	1.9	18.8	9.4
	30～39歳	218	40.8	51.4	32.6	29.8	24.8	44.0	25.7	22.0	15.1	14.2	11.0	1.8	13.8	4.1
	40～49歳	308	38.0	34.1	25.6	26.0	21.8	27.6	21.1	17.9	12.0	8.4	7.8	1.3	20.1	3.2
	50～59歳	412	44.2	30.3	27.7	24.5	24.8	19.4	18.4	11.9	11.7	12.6	9.7	1.9	21.1	6.1
	60～69歳	447	49.7	21.5	22.1	26.2	21.0	14.1	9.4	8.3	9.6	11.4	7.6	2.2	22.8	4.7
70歳以上	609	50.1	22.2	23.5	20.4	19.2	15.3	7.9	6.6	7.7	8.0	9.9	3.0	21.5	8.0	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】幌平橋エリアで希望する利活用方法は、「休憩エリアの設置」が45.8%、「地域のおまつり」が29.3%、「川遊びのような環境学習」が24.9%となっている。

【性別】「地域のおまつり」、「河川を使ったイベント」、「飲食物の販売」は、男性が女性より5.3ポイント以上高くなっている。

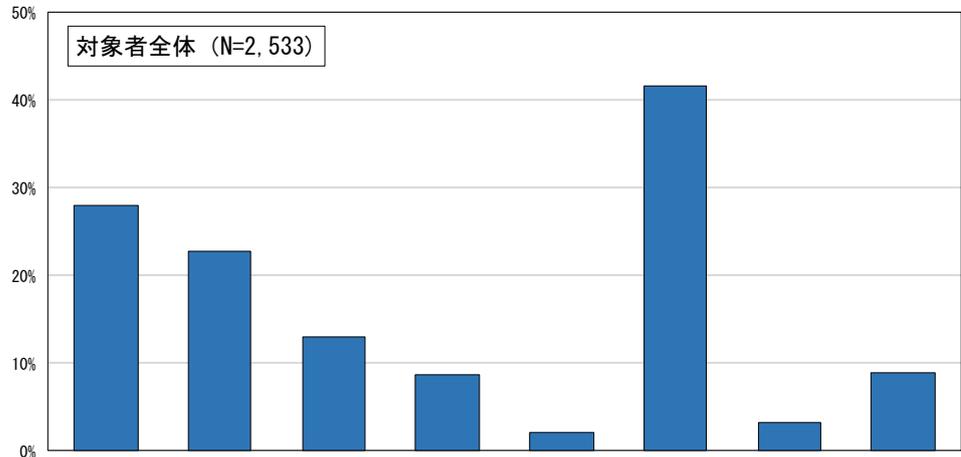
【年代別】「飲食物の販売」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇ウォーターガーデンエリアに望む利活用方法

「皆さまにお聞きします。」

問33 今後あなたが、ウォーターガーデンエリアに望む利活用方法はどのようなものですか。あてはまるものについて、いくつでも○をつけてください。

ウォーターガーデンエリアに望む利活用方法は、「地域のお祭りのようなイベント」と回答した人が28.1%



		対象者数	地域のお祭りのようなイベント (%)	河川を使った学習イベント (%)	飲食物の販売 (%)	緑の日店舗の出店 (%)	その他 (%)	特にない・わからない (%)	活用してほしくない (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,533	28.1	22.9	12.9	8.8	2.1	41.6	3.2	9.0
性別	男性	1,048	30.2	23.8	13.1	8.6	1.8	40.2	4.2	7.2
	女性	1,452	26.7	22.5	12.9	9.0	2.2	42.6	2.5	10.1
	その他	6	16.7	-	16.7	-	-	66.7	-	-
年代別	29歳以下	176	36.4	21.0	18.2	13.1	0.6	39.2	1.1	3.4
	30～39歳	230	48.7	28.3	27.8	20.4	2.6	31.3	1.7	3.0
	40～49歳	336	34.8	25.6	18.2	13.1	1.8	37.5	3.9	3.6
	50～59歳	459	31.2	24.2	16.3	9.6	2.0	43.1	4.6	2.8
	60～69歳	512	22.9	22.5	9.0	5.1	2.9	44.5	3.7	8.0
	70歳以上	793	19.3	20.6	6.1	4.8	1.8	44.1	2.6	18.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】ウォーターガーデンエリアに望む利活用方法は「地域のお祭りのようなイベント」が28.1%、「河川を使った学習イベント」が22.9%、「飲食物の販売」が12.9%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「地域のお祭りのようなイベント」が30歳代(48.7%)で最も高く、最も低い70歳以上(19.3%)と比べると29.4ポイントの差となっている。

◇ウォーターガーデンエリアにおいて販売してほしい飲食物

≪問33で「1 飲食物の販売」と答えた方にお聞きします。≫

問33-1 あなたが販売してほしい飲食物についてご自由にお書きください。

この設問には288人の方が回答を記載しました。主な意見は次の通りです。

- おまつりで売っているようなもの全般・パン・フードコートにあるお店（女性・20代）
- おまつりで販売しているような軽食。ビールなどのアルコール類（不明・40代）
- キッチンカーで、ランチ、アイス、コーヒーなどを売る。（昼のみ）親子で遊びに来て、親も子もよろこぶと思うから。ゴミの処理についてはきっちりした方がよい。（女性・30歳代）
- バナナチョコ、ラーメン、タコ焼、焼ソバ（男性・75歳以上）
- 軽食（コーヒー、パン、ドーナッツ、ソフトクリームなど）ゴミがあまり出ないような仕方で提供してほしい（女性・50代）
- やきとり、チョコバナナ、ポテト、海鮮焼き、ラムネ、りんご飴、アイス、かき氷、わたあめ、フランクフルト、おでん（女性・20代）
- 今は飲み物くらいですが、夏場はアイスやおにぎりなどの軽食があるとうれしい。（女性・30代）
- クレープ、かき氷、たこ焼、お祭りの出店のようなところ（男性・40代）
- 縁日や海の家で販売されているような軽食。焼鳥、とうきび、かき氷、フランクフルト、カレー、お好み焼き、ベビーカステラ、焼きそば、フライドポテトなど。（女性・30代）
- 子どもが食べられるホットスナック（アメリカンドック、からあげ、ポテトなど）、アイス、ソフトクリーム（女性・40代）
- サンドイッチ、おにぎり、ハンバーガー、ワンハンドで食べられる、カラアゲ棒、たこやき、ポテト、ジュース、お茶、水（女性・30代）
- 北海道B級グルメ（男性・40代）
- ジュース、アイスクリーム、クレープ、かき氷（女性・50代）
- 麦茶やスポーツ飲料の他に寒い時に買える、ホットドリンクを販売してほしい。（女性・40代）
- 有名カフェによるコーヒーやケーキの販売。札幌近郊でとれるフルーツを生かしたジュース、季節に応じた食品（ヤキイモやスイカ）（男性・30代）
- おにぎりや唐揚げ。ポテトや野菜を使ったもの。かき氷やソフトクリーム。たこやきややきとり。（女性・30代）
- クレープ、焼き鳥、ラーメン、揚げもの、そば、うどん、かき氷、ソフトクリーム、ドリンク、アルコール類。（男性・30代）
- かき氷など暑い日に涼しくなるもの。軽食など手軽に口に出来るもの。（女性・40代）
- 酒類の提供。焼肉兼ビアガーデンのような物。（男性・40代）
- リンゴあめ、ジビエ料理、おみやげにできるようなちょっとした焼き菓子（女性・30代）
- チュロス、わたあめ、かき氷、チョコバナナ、たこ焼き、クレープ、ジェラート、からあげ、ビール、ジュース系、ぎょうぎ、ラーメン、うどん、フライドポテト、どらやき、パン（女性・20代）
- 食べ歩きしやすい食べもの。手がよごれにくいなど。ベビーカステラ、ポテト（女性・30代）
- ジンギスカンとビールが食べられるようにする。ビアガーデンをやる。ひとりでも行きやすくなるように、1人分の量で売る。（女性・40代）

資料 調査票

令和6年度第1回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力をお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒、チラシ（※）

（※ チラシはPR用で市民意識調査とは関係ありません。）

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和6年7月7日（日）までに、郵便ポストへ投函してください。

ご不明な点やお問い合わせは

札幌市総務局広報部市民の声を聞く課

担当 佐藤 ☎ 011-211-2045 まで

<市民意識調査に関するよくある質問（FAQ）>

https://www.city.sapporo.jp/somu/shiminnokoe/citi_enq/faq.html



テーマ1 札幌市民の自転車利用について

札幌市では、交知道徳の向上と交通環境の改善を図るために市民運動を展開し、札幌市を明るく快適な交通安全都市とすることを目的として様々な活動を実施しております。

そこで、皆さまの自転車利用の状況をお伺いし、今後の活動の参考とさせていただきます。

問1 自転車利用時の交通ルールについてお聞きします。以下に示した正しいルールのうち、あなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

- 1 原則として、自転車は車道の左側を走る
- 2 自転車で歩道を走る時は、歩道の車道側を走る
- 3 自転車で歩道を走る時は歩行者が優先
- 4 自転車で歩道を走る際に、自転車が歩行者の妨げになりそうな時は、一時停止する
- 5 全年齢の自転車利用者が自転車乗車用ヘルメット（以下「ヘルメット」という）の着用に努めなければならない
- 6 知っているものはない

問2 あなたが自転車を利用する頻度はどのくらいですか。夏期(4月～10月)の状況について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------------|-----------------------------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週3～4日 | } ⇒ 問3 ～ 問7 へ |
| 3 週1～2日 | 4 週1回未満 | |
| 5 利用しない | ⇒ 問8 へ | |

≪**問2**で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。≫

問3 あなたの自転車の利用目的について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------|-------|---------|
| 1 通勤 | 2 通学 | 3 買い物 | 4 仕事・業務 |
| 5 通院 | 6 送迎 | 7 習い事 | 8 レジャー |
| 9 その他 () | | | |

問4 あなたの自転車利用時の様子について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ア あなたが自転車利用時に、実際に走行する機会の多い場所

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 車道 | 2 歩道 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

イ あなたが自転車で車道を走る時の走行位置

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1 左側（自動車と並走） | 2 右側（自動車と対面） | 3 その他 () |
|--------------|--------------|-----------|

ウ あなたが自転車で歩道を走る時の走行位置

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1 車道から遠い側 | 2 車道に近い側 | 3 その他 () |
|-----------|----------|-----------|

エ あなたが自転車で歩道を走る時、歩行者がいた場合のスピード

- | | | |
|---------|-------------|-----------|
| 1 いつも通り | 2 いつもより減速する | 3 その他 () |
|---------|-------------|-----------|

テーマ2 住民票の写し等の証明発行サービスについて

札幌市では、令和5年11月より、住民票などの各種証明書について、マイナンバーカードを使用して全国のコンビニエンスストア等のマルチコピー機で取得することができる「コンビニ交付サービス」の交付手数料を区役所の窓口等よりも100円減額しました。

この「コンビニ交付サービス」は、各種証明書を区役所の窓口等よりも安く、早く、簡単に取得することができるため、利用を促進していきたいと考えています。そこで、市民の皆さまが札幌市の証明発行サービスにどのような意識をお持ちなのかをお聞きし、今後の効果的な施策を検討するための参考とさせていただきます。

問9 区役所の窓口等やコンビニエンスストアで発行している証明書のうち、直近3年以内に取得したことのある証明書はどれですか(家族のものも含む)。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|----------------|-----------------------------|
| 1 住民票の写し | } | ⇒ 問9-1 問9-2 へ |
| 2 印鑑登録証明書 | | |
| 3 戸籍謄抄本・戸籍の附票(市内に本籍のある方のみ) | | |
| 4 納税・課税証明書 | | |
| 5 その他() | | |
| 6 取得していない・わからない | ⇒ 問10 へ | |

«**問9**で「1」から「5」のうち、1つでも○をつけた方にお聞きします。»

問9-1 証明書を取得するにあたり、主にどなたが手続を行いましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 本人
- 2 同一世帯(同一戸籍)の家族
- 3 委任状による代理人(別世帯(別戸籍)の家族を含む)
- 4 その他()
- 5 わからない・覚えていない

問9-2 取得した証明書の利用目的は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 住居関係(引っ越し、不動産購入等) | 2 税務関係(相続、確定申告等) |
| 3 会社関係(就職、転職、社内手続等) | 4 パスポートの取得 |
| 5 社会保険関係(年金、健康保険等) | 6 免許、資格関係(取得・変更等) |
| 7 自動車関係(購入、車庫証明、廃車等) | 8 銀行手続(ローン、口座開設等) |
| 9 教育関係(入学、進学、奨学金等) | 10 保険関係(生命保険等) |
| 11 その他() | |
| 12 わからない・覚えていない | |

《皆さまにお聞きします。》

問10 あなたはマイナンバーカードを持っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---|----------------|
| 1 持っている | ⇒ | 問11 へ |
| 2 持っていない | ⇒ | 問10-1 へ |
| 3 わからない・覚えていない | ⇒ | 問11 へ |

《**問10**で「2 持っていない」と答えた方にお聞きします。》

問10-1 あなたがマイナンバーカードを取得していない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 他に身分証明書を持っており取得する必要がないため
- 2 取得しても、使う機会やメリットがないと感じているため
- 3 申請の手続が面倒、または手続をする時間がないため
- 4 交付申請をしたいが、やり方が分からないため
- 5 紛失等による個人情報の漏洩や、悪用されないか心配であるため
- 6 交付申請をしたが、まだ受け取りに行っていないため
- 7 その他 ()

《皆さまにお聞きします。》

問11 あなたはコンビニ交付サービスを知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------------------------|---|--------------|----------------|
| 1 知っていた | } | ⇒ | 問11-1 へ |
| 2 見たり聞いたりしたことはあるが、詳細はわからない | | | |
| 3 知らなかった | ⇒ | 問12 へ | |

《**問11**で「1 知っていた」または「2 見たり聞いたりしたことはあるが、詳細はわからない」と答えた方にお聞きします。》

問11-1 あなたはコンビニ交付サービスをどのように知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------------|------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 市ホームページ | 3 ポスター・チラシ |
| 4 区役所窓口での案内 | 5 SNS | 6 街中のビジョン |
| 7 新聞・テレビ | 8 家族・友人・知人からのクチコミ | |
| 9 その他 () | | |

《皆さまにお聞きします。》

問12 あなたはコンビニ交付サービスを利用したいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---|-----------|
| 1 既に利用している | } | ⇒ 問13 へ |
| 2 今後利用したい | | |
| 3 わからない | | |
| 4 利用したいと思わない | | ⇒ 問12-1 へ |

《問12で「4 利用したいと思わない」と答えた方にお聞きします。》

問12-1 あなたがコンビニ交付サービスを利用したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 区役所や大通証明サービスコーナー等の窓口開庁時間にて、自分または代理人が取得でき、不便を感じないため
- 2 正しい証明書を取得できるよう、職員に確認したいため
- 3 機械の操作が苦手で、不安があるため
- 4 コンビニ交付サービスのセキュリティにおける個人情報の保護に不安があるため
- 5 証明書を取得する頻度が高くないため
- 6 マイナンバーカードを持っていないため
- 7 区役所や大通証明サービスコーナー等に定期的に行く用事があるため
- 8 その他 ()

《皆さまにお聞きします。》

問13 あなたが今後の札幌市の証明発行サービスに求めることは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 区役所の窓口等の受付時間の延長
- 2 証明書を取得できる場所の増加
- 3 区役所の窓口等での待ち時間の短縮
- 4 証明請求書の記載箇所の減少
- 5 職員による相談等の対面サービス
- 6 市ホームページや記載台等での、証明書取得方法の分かりやすい案内
- 7 オンライン申請で取得可能な証明書の拡充
- 8 区役所の窓口等へのコンビニ交付サービスが利用できるマルチコピー機の設置
- 9 その他 ()
- 10 特になし

テーマ3 障がい者コミュニケーション条例等について

札幌市では、障がい特性に応じたコミュニケーション手段の理解及び利用を促進し、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することを目的とした「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」に基づき、コミュニケーション手段の講座や体験イベントなどさまざまな施策を行っております。

そこで、障がいのある方が使用するコミュニケーション手段に対する認知度や意識などをお伺いし、今後の施策の参考にさせていただきます。

問14 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を知っていましたか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|------------------|
| 1 条例の内容をよく知っていた | } | ⇒ 問14-1 へ |
| 2 条例の内容をある程度知っていた | | |
| 3 条例の名称のみ知っていた | | |
| 4 知らなかった | ⇒ 問15 へ | |

《**問14**で「1 条例の内容をよく知っていた」「2 条例の内容をある程度知っていた」「3 条例の名称のみ知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問14-1 あなたは、「札幌市障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を何で知りましたか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 ポスター・チラシ・パンフレット |
| 3 ホームページ | 4 新聞・テレビなどの報道 |
| 5 家族、知人 | 6 市役所や区役所の窓口 |
| 7 その他 () | 8 覚えていない |

《皆さまにお聞きします。》

問15 あなたは、障がい者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)を持っていますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

問16 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段で、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。(ご自身でその手段の表現ができなくても構いません。知っているものに○をつけてください。)

- | | | |
|-------|------------|----------|
| 1 手話 | 2 要約筆記 | 3 触手話 |
| 4 点字 | 5 指文字 | 6 手のひら書き |
| 7 音訳 | 8 口文字 | 9 意思伝達装置 |
| 10 筆談 | 11 その他 () | 12 特になし |

問17 障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について、あなたは学んでみたい、または、知りたいと思いますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------|---|------------------|
| 1 | そう思う | } | ⇒ 問17-1 へ |
| 2 | どちらかといえばそう思う | | |
| 3 | どちらかといえば思わない | } | ⇒ 問18 へ |
| 4 | 思わない | | |

《**問17**で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。》

問17-1 あなたは、障がいのある方が使用するコミュニケーション手段について、どの程度学んでみたい、または、知りたいと思いますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 一定期間の継続した講座などに通い、資格を取得して専門的な支援者やボランティアとして活躍したい。
- 2 通信教育やオンライン講座で自分のペースで学び、仕事や日常生活の中で活かしたい。
- 3 地域のサークルなどに加入し、趣味として学んでみたい。
- 4 単発のイベントなどで体験し、その後も機会があれば使用してみたい。
- 5 書籍やガイドブックなどで教養として知っておきたい。
- 6 その他 ()

《皆さまにお聞きします。》

問18 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何かに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------|---|------------------|
| 1 | そう思う | } | ⇒ 問18-1 へ |
| 2 | どちらかといえばそう思う | | |
| 3 | どちらかといえば思わない | } | ⇒ 問18-2 へ |
| 4 | 思わない | | |

《**問18**で「1 そう思う」または「2 どちらかといえばそう思う」と答えた方にお聞きします。》

問18-1 あなたは、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として具体的にどのようなことに取り組みたいと思いますか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

- 1 メディア（テレビやSNSなど）の中で、障がいに関する情報があれば気を配る
- 2 講座に参加するなど、障がいのある方のコミュニケーション手段を学習し、実践する
- 3 ボランティア活動へ参加する
- 4 障がいのある方が行う行事、催し物に参加する
- 5 日常生活の場面で困っている方がいたら助ける
- 6 その他 ()

《問18で「3 どちらかといえば思わない」または「4 思わない」と答えた方にお聞きします。》

問18-2 あなたが、コミュニケーション上の障がいのある方が暮らしやすいまちをつくっていくため、市民として何か取り組みたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---|-----------------------|--|
| 1 | 取り組む時間がないから | |
| 2 | 興味がないから | |
| 3 | きちんと対応できる自信がないから | |
| 4 | 何に取り組めばいいかわからないから | |
| 5 | 専門の人や関係者に任せた方がいいと思うから | |
| 6 | 関わる機会がないから | |
| 7 | その他 () | |
| 8 | 特に理由はない | |

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

札幌の旬な市政情報や魅力をお伝える 札幌市広報番組のご案内			
テレビ 			
ウォッチング札幌NEXT100 〈TVh〉 第1/3日曜 17:15-17:20 次世代を担う学生が、札幌の「今」をレポートします。 	札幌ふるさと再発見 〈STV〉 毎週土曜 11:35-11:39 地域を元気にする取り組みをお届けし、札幌の魅力を再発見します。 	サッポロスマイル 〈HBC〉 第2/4日曜 16:24-16:30 食や自然、イベントなど、札幌の「笑顔の源」となる魅力を紹介いたします。 	いい人、いい街 #まいにち金メダル 〈uhb〉 第1/3日曜 6:25-6:30 すてきな人や魅力的な場所など、札幌にあふれている「まいにち金メダリスト」を紹介いたします。 
ラジオ 			
スマイルさっぽろリターンズ 〈HBCラジオ〉 第2/4月曜 9:35-45ごろ 「気分上昇ワイド ナルミッツ!」内 札幌の旬な情報を真面目な楽しさでお届けします。 	じゅんきのさっぽろ世間話 〈STVラジオ〉 毎週水曜 12:18-28ごろ 「工藤じゅんきの十人十色」内 知っておきたい話題や、誰かに話したくなる情報を語り合ってお知らせします。 	突撃! サッポロッティ 〈AIR-G〉 第2/4木曜 15:25-30ごろ 「Be My Radio」内 札幌のとおきおきな場所やイベントに突撃取材して、街の魅力を引き出します。 	Groove SAPP_RO (グルーブサッポロスマイル) 〈NORTH WAVE〉 第2/4金曜 12:15-25ごろ 「Move on up!」内 「サッポロスマイルパートナーズ」の皆さんの活動を紹介します。 

テーマ4 雪対策に関する取り組みについて

札幌市では、安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現に向けて、市民の皆さまや企業などと協働して雪対策に取り組んでいます。そこで、札幌市による道路の除雪作業に関する認識や、市民の皆さまによる取り組みの現状などについてお聞きし、今後の雪対策の参考とさせていただきます。

札幌市による道路の除排雪作業は、道路の種類や状況によって異なります。

- **新雪除雪**：まとまって降り積もった路面の雪(新雪)を道路脇に寄せ、通行幅を確保する作業
- **排 雪**：除雪で積み上げた道路脇の雪を、雪堆積場や融雪施設などへ運搬する作業
- **幹線道路**：バス路線のように地域間や主要な地点を結ぶ、交通量の多い道路
- **生活道路**：住宅地などから幹線道路に出るまでの間の道路

問19 あなたは、以下の札幌市による道路の除排雪作業について知っていますか。次のア～エのそれぞれの項目について、数字に**1つずつ**○をつけてください。

札幌市による道路の除排雪作業		知っている	知らない
ア	札幌市の新雪除雪は、道路脇に雪を寄せる「かき分け除雪」であること	1	2
イ	札幌市の新雪除雪の作業が、深夜から通勤・通学までの限られた時間に行われていること	1	2
ウ	札幌市の新雪除雪により、自宅の玄関前や車庫前などに寄せられた雪の処理は各世帯に行っていたこと	1	2
エ	札幌市の排雪は、バス通りなどの幹線道路と一部の通学路のみを対象とし、住宅街の生活道路では行っていないこと	1	2

札幌市では、より快適な冬期生活環境を要望する地域の声に応えるため、生活道路の排雪支援制度として、排雪を希望する地域と札幌市が費用を負担し合い協働で取り組む、パートナーシップ排雪制度と市民助成トラック制度を設けています。

- **パートナーシップ排雪**：地域と札幌市の双方が費用を負担し、除雪事業者を含めた三者が協力しながら、生活道路の排雪を行う制度
- **市民助成トラック**：地域住民が主体となって、生活道路の排雪を行う場合に、札幌市からトラックを貸し出す制度

問20 あなたは、地域等の団体が生活道路の排雪を希望する場合、「パートナーシップ排雪」や「市民助成トラック」の排雪支援制度が利用できることを知っていますか。

1 知っている

2 知らない

問2 1 冬期間の生活道路の状況をより良くするために、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 道路の幅
- 2 路面の凸凹や段差、気温の上昇によるザクザク路面
- 3 道路脇の雪山の高さや交差点の見通し
- 4 特にない

問2 2 あなたが、今後特に除排雪に力を入れてほしいと思う道路はどこですか。あてはまるものに**1つだけ**○をつけてください。

- 1 幹線道路
- 2 生活道路
- 3 特にない

札幌市では、札幌管区気象台が発表する大雪警報や暴風雪警報時において、広報媒体を活用し市民の皆さまへの注意喚起を図っています。

問2 3 あなたは、警報発令などの大雪時や大雪が想定されるときにどのような行動をとっていますか。あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

- 1 通勤通学時に、移動手段を変更している
- 2 通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている
- 3 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務形態や授業形態を変更している
- 4 不要不急の車による外出を控えている
- 5 特に普段と違う行動をとっていない

札幌市では、市民の皆さまと協力して快適な冬を過ごせるよう、冬の暮らしのルールに関する情報発信を行っています。

- 敷地内の雪を道路に出してはいけない
- 除雪作業の支障になるため、路上駐車をしてはいけない

問2 4 札幌市では、市民の皆さまに『除雪ボランティア』への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに取り組んだことがある除雪ボランティアについて、あてはまるものに**いくつでも**○をつけてください。

- 1 転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく
- 2 ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする
- 3 福祉除雪の地域協力員に登録し、高齢者宅等の玄関前除雪を行う
- 4 近所で困っている人の除雪を自発的に手伝う
- 5 消火栓周りの除雪を行う
- 6 雪どけ後に、雪置き場として利用した公園の清掃や、滑り止めの砂の回収を行う
- 7 除雪ボランティアに取り組んだことはない

問25 あなたの自宅敷地内に、敷地内の雪を処理するための雪置き場はありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 十分にある
- 2 多少はある
- 3 ほとんどない
- 4 全くない
- 5 除雪をする機会が無い

問26 あなたは、冬期間に玄関前等に堆積する雪を処理するため、以下について設置・購入を検討(予定)していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 融雪槽・融雪機
- 2 ロードヒーティング
- 3 その他 ()
- 4 検討(予定)していない
- 5 設置・購入済み
- 6 除雪をする機会が無い

問27 あなたは、昨年度の冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス(福祉除雪を除く)を利用しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 利用した
- 2 利用していない

問28 昨年度、冬の暮らしに関する情報(札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪の出動情報など)を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあるものにいくつでも○を付けてください。

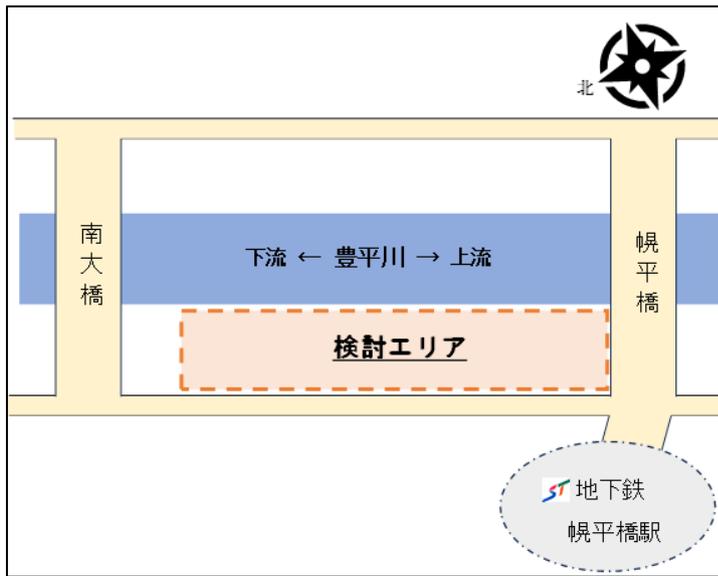
- 1 冬の暮らしガイド(広報さっぽろ12月号綴じ込み)
- 2 札幌市公式ホームページ(冬の暮らし・除雪)
- 3 テレビのデータ放送(HTB、NHK、HBC、UHB)
- 4 札幌市公式SNS(X(旧Twitter)、LINE)
- 5 札幌市公式Youtube動画(「ともに支え合おう。さっぽろの雪対策。」、「札幌市民の皆さまへ大雪時のご協力のお願い」)
- 6 Yahoo トップページ広告、YouTube 広告
- 7 札幌市の広報番組(じゅんきのさっぽろ世間話)
- 8 テレビのニュース番組、情報番組
- 9 テレビCM
- 10 新聞
- 11 デジタルサイネージ(チカホ、各区役所、ポラリス、COCONOSUSUKINO、新千歳空港到着口)
- 12 札幌市のイベント(ジモトのシゴト ワク!WORK!、ミニさっぽろ、建設産業ふれあい展、雪と暮らすおはなし発表会)
- 13 その他刊行物(啓発チラシ、パンフレット、ポスター、「さっぽろ雪の絵本」など)
- 14 見たことがない

テーマ5 豊平川緑地幌平橋エリアの利活用について

河川関係法令の改正により、国から「特区」（都市・地域再生等利用区域）の指定を受けた河川敷のエリアについては、制限が緩和され、一部条件のもと営利活動ができる制度が新設されました。

札幌市では、にぎわいづくりや観光振興のため、豊平川河川敷を使用した公園である豊平川緑地のうち幌平橋エリアについて令和7年度に「特区」の指定を受けることを検討しています。

皆様のご意見を参考として、「特区」の指定可否や運用方法についての方向性を決める予定です。



（参考）他都市の事例

- ・氷上ファットバイク（網走市）
- ・レンタサイクル（福島県桑折町）
- ・地元農産物の販売（砂川市）
- ・川遊びによる環境学習（栗山町）
- ・地域の祭り（長野県諏訪市）

問29 あなたは、公園をどのような時に利用しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 散歩やジョギングなど | 2 遊具または広場を使った遊び |
| 3 休憩スペースとして | 4 ピクニックやランチなど |
| 5 自然観察など自然と親しむ行為 | 6 イベントへの参加 |
| 7 その他（ | ） |
| 8 利用することはない | |

問30 あなたが河川敷の公園である豊平川緑地に対して、求める機能はどのようなものですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 静かで休憩ができる空間 | 2 憩いの空間 |
| 3 運動ができる空間 | 4 にぎわいのある空間 |
| 5 地域住民の交流が生まれる空間 | 6 川と親しむ空間 |
| 7 その他（ | ） |
| 8 求める機能はない・わからない | |

問31 あなたは、豊平川緑地の幌平橋エリアについて、特区の指定を受け、河川空間のにぎわいづくりを行う取組をどのように思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 良い取組だと思う | ⇒ 問31-1 へ |
| 2 どちらともいえない | ⇒ 問32 へ |
| 3 あまり良い取組ではない | ⇒ 問31-2 へ |

《**問31**で「1 良い取組だと思う」と答えた方にお聞きします。》

問31-1 あなたが「良い取組だと思う」と答えた理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1 自然と親しむことができる空間が整備されてほしい | } ⇒ 問32 へ |
| 2 観光客が訪れる場になってほしい | |
| 3 飲食物の提供など小規模な利便提供がされる場になってほしい | |
| 4 多様な企業や人々に豊平川緑地をもっと活用してほしい | |
| 5 イベントを実施してほしい | |
| 6 市民の交流の場として発展してほしい | |
| 7 その他 () | |
| 8 わからない | |

《**問31**で「3 あまり良い取組ではない」と答えた方にお聞きします。》

問31-2 あなたが「あまり良い取組ではない」と答えた理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 静かな空間が保たれてほしい | } ⇒ 問33 へ |
| 2 イベントを実施してほしくない | |
| 3 緑地が荒れる可能性がある | |
| 4 事故等の恐れがある | |
| 5 その他 () | |
| 6 わからない | |

《**問31**で「1 良い取組だと思う」または「2 どちらともいえない」と答えた方にお聞きします。》

問32 あなたが幌平橋エリアで実施されることを希望する利活用方法は何かありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 地域のおまつり | 2 休憩エリアの設置 |
| 3 レンタサイクル | 4 子供向けのイベント |
| 5 河川を使ったイベント | 6 観光客も楽しめるイベント |
| 7 飲食物の販売 | 8 地元農産物の販売 |
| 9 川遊びのような環境学習 | 10 ペットなどの動物たちを対象としたイベント |
| 11 デイキャンプ等の体験型イベント | 12 その他 () |
| 13 わからない | |

豊平川上流にあるウォーターガーデンエリアは、遊水路や遊具があり、夏場は子どもにとっても人気のあるスポットです。

このエリアは令和2年に特区に指定され、営利活動が可能となっておりますが、これまでの利活用はキッチンカーによる飲食物の提供に留まっている状況です。

《皆さまにお聞きします。》

問33 今後あなたが、ウォーターガーデンエリアに望む利活用方法はどのようなものですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 飲食物の販売 ⇒ **問33-1** ハ
- 2 ヨーヨー釣りや輪投げなど縁日店舗の出店
- 3 河川を使った学習イベント
- 4 地域のお祭りのようなイベント
- 5 その他 ()
- 6 特にない・わからない
- 7 活用してほしくない

《**問33**で「1 飲食物の販売」と答えた方にお聞きします。》

問33-1 あなたが販売してほしいと思う飲食物についてご自由にお書きください。

【市政広告】 ※この広告は、市民意識調査とは関係ありません。

大型ごみの申し込みは、簡単便利な
インターネット受付 ですよ！



大型ごみの収集は、事前申込制です。

これまでの電話・FAXでの申し込みに加え、令和5年11月1日からインターネット受付を始めました！

24時間365日、いつでも大型ごみ収集のお申し込みができ、電子決済も利用可能です。ぜひご利用ください！

札幌市 大型ごみ 



最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F2 あなたの年齢は（令和6年6月1日現在）

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳 4 40～49歳
5 50～59歳 6 60～69歳 7 70～74歳 8 75歳以上

F3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F4 あなたのご職業は（もっとも近いもの1つに○をつけてください。）

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F5 あなたの同居しているご家族は（あてはまるものにいくつでも○をつけてください。）

- 1 配偶者 2 乳幼児（0～2歳程度）
3 就学前児童（3～5歳程度） 4 小学生（6～12歳程度）
5 中学生（13～15歳程度） 6 高校生（16～18歳程度）
7 大学（院）・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

F6 あなたのお住まいの形態は

- 1 戸建住宅 2 集合住宅（アパート、マンション等）
3 その他（ ）

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに令和6年7月7日（日）までに、郵便ポストへ投函してください。

SAPPORO